



# 明治学院大学 履修要項

2026年度生用  
～履修の方法を知るために～

文学部

MEIJI GAKUIN UNIV.  
COURSE GUIDE  
2026

履修要項は再配布しません。  
卒業するまで大切に保管してください。

# 2026年度 明治学院大学 学暦(年間スケジュール)

※最新の情報は本学ウェブサイトを確認してください。

4月入学式	【白金校舎】 4月1日(水) 10時00分 文学部, 12時30分 経済学部, 15時00分 社会学部 【白金校舎】 4月2日(木) 10時00分 法学部, 12時30分 心理学部 【横浜校舎】 4月3日(金) 10時00分 国際学部, 12時30分 情報数理学部
健康診断	3月下旬～4月上旬
新入生・編入生オリエンテーション 編入生単位認定	4月1日(水)～7日(火)
春学期授業開始	4月8日(水)
始業礼拝	4月8日(水)
春学期履修登録最終期限	4月15日(水)
3年修了者卒業式	【白金校舎】 4月15日(水) 10時30分
新入生歓迎イースター礼拝【注1】	【白金校舎】 4月16日(木) 通常チャペル 【横浜校舎】 4月16日(木) 12時20分～13時10分/授業短縮
休講日	4月30日(木), 5月1日(金), 2日(土)
戸塚まつり	5月23日(土), 24日(日)
春学期補講	平日補講【下記注2参照】 5月18日(月)～5月29日(金), 6月15日(月)～6月26日(金)
特別学修日(春学期)【注3】	7月15日(水)～21日(火)
春学期授業終了	7月21日(火)
春学期期末補講および定期試験	7月22日(水)～31日(金)
夏季休暇	8月1日(土)～9月19日(土)
夏季講座(第一期)	8月3日(月)～7日(金)
春学期追試験	8月18日(火)～20日(木)
夏季講座(第二期)	8月24日(月)～28日(金)
9月卒業生発表	9月4日(金)
春学期成績発表	9月8日(火)
9月卒業式	【白金校舎】 9月17日(木) 10時30分
9月入学式	【横浜校舎】 9月18日(金) 10時30分
秋学期授業開始	9月24日(木)
秋学期履修登録最終期限	10月1日(木)
白金祭に伴う休講	10月31日(土), 11月2日(月), 4日(水)
創立記念日(大学が定める休日)	11月1日(日)
白金祭	11月1日(日)～3日(火)
休講日	11月5日(木)
秋学期補講	週末補講【土曜日3・4・5時限】 10月24日, 11月7日, 12月5日, 12日 平日補講【下記注2参照】 11月9日(月)～20日(金), 12月7日(月)～18日(金)
クリスマス行事【注1】	【白金校舎】 点灯式 11月13日(金) 16時45分～17時15分/授業短縮 クリスマス礼拝 12月11日(金) 18時30分～19時30分/授業短縮 【横浜校舎】 点灯式 11月20日(金) 16時45分～17時15分/授業短縮 クリスマス礼拝 12月10日(木) 16時45分～17時45分/授業短縮
休講日	12月24日(木)
降誕日(大学が定める休日)	12月25日(金)
冬季休暇	12月29日(火)～2027年1月4日(月)
授業開始	1月5日(火)
特別学修日(秋学期)【注3】	1月8日(金), 9日(土), 12日(火)～14日(木), 18日(月)
大学入学共通テストによる休講	1月15日(金), 16日(土)
秋学期授業終了	1月18日(月)
秋学期期末補講および定期試験	1月19日(火)～29日(金)
秋学期追試験	2月9日(火), 10日(水), 12日(金)
春季講座	2月15日(月)～20日(土)
3月卒業生発表	3月5日(金)
秋学期成績発表	3月9日(火)
3月卒業式	【白金校舎】 3月16日(火) 9時30分 文学部, 12時30分 経済学部, 15時00分 社会学部 【白金校舎】 3月17日(水) 9時30分 法学部, 12時30分 心理学部 【横浜校舎】 3月18日(木) 10時00分 国際学部

【祝日授業日】 単位修得に必要な学修時間を確保するため、以下の祝日を授業日とする。

春学期:4月29日(昭和の日), 7月20日(海の日), 秋学期:10月12日(スポーツの日), 11月23日(勤労感謝の日)

【休講日】 4月30日, 5月1日, 2日, 10月31日・11月2日・4日(白金祭に伴う休講), 11月5日, 12月24日, 2027年1月15日・16日(大学入学共通テストによる休講)

【大学が定める休日(事務取扱休止)】 11月1日(創立記念日), 12月25日(降誕日)

【大学一斉休暇期間(事務取扱休止)】 夏期:8月8日(土)～17日(月), 冬期:12月29日(火)～1月4日(月)

【注1】 新入生歓迎イースター礼拝・クリスマス行事による授業短縮措置

4月16日の横浜校舎の2時限を10時55分～12時10分(25分繰上げ終了), 3時限を13時45分～15時15分(10分繰下げ開始)とする。

11月13日の白金校舎の4時限を15時30分～16時35分(35分繰上げ終了)とする。

12月11日の白金校舎の5時限を17時20分～18時25分(35分繰上げ終了), 6時限を19時40分～20時50分(30分繰下げ開始)とする。

11月20日の横浜校舎の4時限を15時30分～16時35分(35分繰上げ終了), 5時限を17時30分～19時00分(10分繰下げ開始)とする。

12月10日の横浜校舎の4時限を15時30分～16時35分(35分繰上げ終了), 5時限を17時55分～19時00分(35分繰下げ開始)とする。

【注2】 平日補講(月曜日～金曜日)

横浜校舎の6時限(19時10分～20時50分)のみの実施を原則とするが、条件が許す場合は白金校舎の6時限, 横浜校舎5時限での実施も可。

【注3】 特別学修日

当該学期に学んだ内容の確実な定着を図ることを目的とした「学生の自主学修」の期間。授業によっては、通常の授業(遠隔または対面)、授業内試験を実施する。



# 明治学院大学履修要項 文学部 2026 年度生用

## 目次

### 全学共通事項

明治学院大学の目標と方針	1
人材養成上の目的・教育目標	1
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	1
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	1
はじめに	2
情報の伝達	5
学修の手引き	7
カリキュラム	9
単位制	11
履修	12
科目ナンバリングについて	16
授業	18
試験	21
成績	26
卒業と学位	29
単位認定	30
明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム	32
AI・データサイエンス教育プログラム	33
海外協定校連携科目群	34

### 学部事項

明治学院共通科目	35
明治学院共通科目の目標と方針	37
人材養成上の目的・教育目標	37
期待される学修成果	37
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	37
能力要件表（明治学院共通科目 文学部）	39
履修上の注意	50
はじめに	51
1. [必修科目（明治学院・Do for Others教養系科目）]	52
2. [必修・選択必修科目（言語系科目群）]	52

科目の分類	53
1. [基盤教養科目群]	55
2. [MG教養科目群]	57
3. [国際総合科目群]	59
4. [単位認定科目群]	59
5. [特別学科科目]	60
<b>英文学科</b>	61
文学部の目標と方針	63
人材養成上の目的・教育目標	63
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	63
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	63
英文学科の目標と方針	64
人材養成上の目的・教育目標	64
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	64
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	64
英文学科 カリキュラムツリー	66
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と授業科目の関連表（能力要件表）	68
〔1〕卒業までに必要な単位数	75
〔2〕年間履修上限単位数等について	76
〔3〕複数履修の制限について	76
〔4〕履修中止除外科目について	76
〔5〕再試験	76
〔6〕明治学院共通科目	76
〔7〕学科科目	76
英文学科 年次別科目一覧	78
〔8〕英語教員養成プログラム	85
〔9〕大学独自の認証資格について	86
<b>フランス文学科</b>	89
文学部の目標と方針	91
人材養成上の目的・教育目標	91
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	91
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	91
フランス文学科の目標と方針	92
人材養成上の目的・教育目標	92
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	92
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	92
フランス文学科 カリキュラムツリー	94
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と授業科目の関連表（能力要件表）	96
〔1〕卒業までに必要な単位数	103
〔2〕超過して修得した単位の扱い	104
〔3〕年間履修上限単位数等について	104
〔4〕複数履修の制限について	104

〔5〕 履修中止除外科目について	105
〔6〕 再試験	105
〔7〕 明治学院共通科目	105
〔8〕 学科科目	105
フランス文学科 年次別科目一覧	106
〔9〕 大学独自の認証資格について	111
〔10〕 文学部他学科の学科科目	111
〔11〕 教職に関する科目	113
〔12〕 フランス語既習者の履修	113
〔13〕 再履修クラス	113
<b>芸術学科</b>	115
文学部の目標と方針	117
人材養成上の目的・教育目標	117
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	117
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	117
芸術学科の目標と方針	118
人材養成上の目的・教育目標	118
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	118
教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	118
芸術学科 カリキュラムツリー	120
卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と授業科目の関連表（能力要件表）	124
〔1〕 卒業までに必要な単位数	133
《音楽学コース 学科科目》	135
《映像芸術学コース 学科科目》	136
《美術史学コース 学科科目》	137
《芸術メディア論コース 学科科目》	138
《演劇身体表現コース 学科科目》	139
《総合芸術学コース 学科科目》	140
〔2〕 年間履修上限単位数等について	141
〔3〕 複数回履修の制限について	141
〔4〕 履修中止除外科目について	141
〔5〕 再試験	142
〔6〕 明治学院共通科目	142
〔7〕 学科科目	142
芸術学科 年次別科目一覧	143
〔8〕 大学独自の認証資格について	149
〔9〕 文学部他学科の学科科目	150
学芸員	151
<b>諸資格</b>	153
社会福祉主事任用資格	155
<b>学部学科等の科目群・学問分野コード表</b>	157



# 明治学院大学の目標と方針

## 人材養成上の目的・教育目標

明治学院大学は、建学の精神すなわち「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎とし、教育理念“Do for Others（他者への貢献）”を実現するため、広く教養を培うとともに、各学部学科において専門分野に関する知識・技能および知的応用能力を身につけた人間を育成することを目的とする。

このような目的のもと、5つの教育目標を定める。

- 1 他者を理解する力を身につける。
- 2 分析力と構想力を身につける。
- 3 コミュニケーション力を身につける。
- 4 キャリアをデザインする力を身につける。
- 5 共生社会の担い手となる力を身につける。

## 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

明治学院大学は、建学の精神すなわち「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎とし、教育理念“Do for Others（他者への貢献）”の実現を目指し、「人材養成上の目的・教育目標」に定める人間を育成するため、次のとおり「卒業の認定・学位授与に関する方針」を定める。

以下の能力を身につけ、各学部学科に所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し学位を授与する。

- 1〔知識・理解〕他者への洞察力を養い人間の多様性を理解するため、歴史、文化、社会、自然、健康などに関する幅広い教養および専門分野に関する基本的知識を有し、これらを体系的に理解する力を身につけている。
- 2〔汎用的技能〕知識を獲得し、これを活用することにより人間を取り巻く諸現象を分析し、よりよい社会を構想する力とともに、自らの考えを他者に伝えることのできるコミュニケーション力などの技能・応用能力を身につけている。
- 3〔態度・志向性〕大学での学びを通じて、主体的に自らの将来を切り拓き、社会に生起する問題に積極的に取り組む責任感、倫理観、協働性など他者と共に生きる力を身につけている。
- 4〔統合的な学習経験と創造的思考力〕在学期間を通じて獲得した知識・技能・態度などを総合的に活用し、自ら課題を発見しこれを解決する能力を身につけている。

## 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

明治学院大学は、「卒業の認定・学位授与に関する方針」に掲げる知識および能力を修得させるために、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 他者と共に生きることのできる人材を育成するために、専攻する学問分野にかかわらず卒業までに共通して身につける「明治学院共通科目」と専攻する学問分野に応じた「学科科目」とを開設する。
- 2 「明治学院共通科目」および「学科科目」双方を4年間にわたって関連付けて学ぶことができるよう、履修の機会を提供する。
- 3 初年次導入教育から学年進行にしたがって体系的・順次性をもって編成し、履修科目に応じて講義、演習、実習等の授業形態を採用する。
- 4 授業は、その内容に応じて最適な効果を得ることができるよう効果的な教育方法をもって展開する。
- 5 学修成果の評価にあたっては、あらかじめ定められた評価方法および評価基準により、適切に行う。

## はじめに

履修要項は、大学における学修のルールや履修についての規則、卒業に必要な単位など重要な事項を記載しています。配布は入学時のみで、卒業するまで使用しますので、学生ひとりひとりが掲載内容について熟読のうえ、大切に保管し、活用してください。なお、教職課程履修者は、毎年度最新の履修要項を確認するようにしてください。

卒業までの間、新規科目の開設、科目の廃止、卒業要件の変更など、変更が生じる場合があります。変更時は、在学生用ポータルサイトPort Hepburn（ポートヘボン）の新旧対照表でお知らせします。

## 教務部案内

教務部では、授業・履修・成績の相談、学生証の再発行、住所・保証人・氏名の変更、転学科試験、学籍関係の相談（休学・復学・退学・再入学）等を取り扱っています。

どうしたらよいか迷った時は次頁の「こんな時どうする？」を参考に教務部にご相談ください。

## 教務部の場所

白金校舎：本館南ウイング2階

横浜校舎：1号館1階

## 教務部窓口事務取扱時間

実際の取扱時間とは異なる場合がありますので、最新の情報は本学ホームページより「窓口事務取扱時間」をご確認ください。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/office/educational/schedules.html>



	白金校舎		横浜校舎	
	月～金	土	月～金	土
授業期間	9:30～11:45 12:30～17:00	9:30～11:45	9:30～11:45 12:30～16:30	9:30～12:00
授業期間外	9:30～11:45 12:30～16:00	9:30～11:45		

問い合わせや相談は、原則下記のとおり受け付けます。

**【文学部・経済学部・社会学部・法学部・心理学部の各学部生】**

1～2年次：横浜教務課

3～4年次：白金教務課

**【国際学部・情報数理学部の各学部生】**

すべて横浜教務課

## こんな時どうする？

※明治学院大学 MG教務アプリ内のチャットボットでも教務関連の問い合わせに回答します。

※表中、「教務部窓口」に「届け出」あるいは「提出」と記載のあるものについて、内容によってはメール等で受付を行うことがあります。手続きの際には、事前に最新の方法を確認してください。

※表中、★印については、PortHepburn(5頁参照)のダウンロード>教務部>学籍関係に手続きのための各種「手引き」や一部様式を公開しています。手続きの前にそちらも確認してください。

こんな時	どうする？
学生証を紛失した★	初めに、落とし物として学生部に届出がないか確認してください。届出がない場合、教務部窓口で「学生証再交付願」に記入し、届け出てください。翌日交付します（ただし、事務休止日を除く）。手数料は1,500円です。
住所・電話番号を変更した★	「教務Web」上で変更の申請を行ってください。古い届出のままでは、大学からの連絡・配布物が届かなくなりますので、必ず手続きしてください。（保証人の住所・電話番号変更の場合も同じ）
保証人を変更した	「保証人変更届」に記入し、教務部窓口へ届け出てください。保証人の変更は、新保証人の方の署名・捺印が必要です。
氏名を変更した★	「諸事項変更届」に記入し、変更の内容と変更日を証明する書類（戸籍抄本等）を添えて教務部窓口へ届け出てください。また、学生証も再発行しますので、上記「学生証を紛失した」に準じて手続きしてください。
通称名を使用したい	外国籍または二重国籍の方が通称名の使用を希望される場合は、住民票に記載されている通称名に限り使用することができます。住民票に通称名の記載がない方で事情により使用を希望する場合は、教務部窓口へご相談ください。
転学科試験を受験したい	所定の願書（保証人連署）に記入し、教務部窓口に提出してください。提出期日はPort Hepburnにて通知します。審査料は35,000円です。
休学したい★	病気その他の事情により授業期間中に引き続き2ヵ月以上登校困難な場合は、休学を願い出ることができます。保証人連署・捺印済の「休学願」および事由証明書を期日までに提出し、教授会の許可を受けなければなりません。休学の期間は1学期または2学期です。なお休学期間は在学年数に通算されません。提出期日は、 <u>春学期が5月末日</u> 、 <u>秋学期が11月末日</u> です。
復学したい	休学している者が復学を願い出の場合は、期日までに保証人連署・捺印済の「復学願」を提出し、教授会の許可を受けなければなりません。提出期日は、 <u>春学期が2月末日</u> 、 <u>秋学期が8月末日</u> です。[留学生は提出期日が異なります]
退学したい★	退学を希望する者は、期日までに保証人連署・捺印済の「退学願」を提出し、教授会の許可を受けます。ただし、その学期分の学納金を納入しなければなりません。提出期日は、 <u>春学期が9月20日</u> 、 <u>秋学期は3月末日</u> です。
再入学したい★	願い出により退学した者は、退学した日が属する学期の次の学期から数えて6学期以内、学納金未納による除籍者は、除籍となった日が属する学期から数えて6学期以内に再入学を願い出た場合、選考の上許可されることがあります。再入学の手続きは期日までに保証人連署・捺印済の「再入学願」を提出し、教授会の許可を受けなければなりません。再入学を許可された者は、再入学科および再入学する学期の学納金を再入学前の指定された期日までに納入してください。提出期日は、 <u>春学期が2月末日</u> 、 <u>秋学期が8月末日</u> です。[留学生は提出期日が異なります]

こんな時	どうする？
授業を欠席した	<p>「学修の手引き」の授業『6. 授業の欠席』に記載されている理由に限り、欠席連絡票の発行ができます。まず、担当教員に必要なの有無を確認してください。必要な場合は、所定用紙に記入の上、欠席事由を証明する書類（「学修の手引き」の授業『6. 授業の欠席』を確認）を添付し、教務部窓口に届け出てください。教務部への電話連絡は不要です。</p> <p>なお、学校感染症に罹患した場合は、「学修の手引き」の授業『7. 学校感染症に罹患した場合』を確認してください。</p>
定期試験を欠席した	<p>大学が追試験申込事由として掲示した理由で定期試験を欠席した場合は、追試験を申し込むことができます。所定の申込用紙に記入の上、欠席事由を証明する書類を添付して、教務部窓口に提出してください。追試験の実施要項はPort Hepburnに掲示します。詳細は、「学修の手引き」の試験『3. 追試験』を確認してください。</p>
学納金を期限までに払えない	<p>納入期限前の延納手続きはありません。期日内に学納金の納入が確認できなかった方で、延納に手続きを要する方には郵送にてお知らせします。お知らせが届いた方は同封されている学納金延納願を期日までに提出し、延納期限内の納入をお願いいたします。</p>
在学証明書、成績証明書がほしい	<p>各校舎に設置された「証明書自動発行機」を利用してください。「証明書自動発行機」の利用には学生証が必要です。「証明書自動発行機」の場所は、白金校舎が本館1階中央守衛所近く、横浜校舎が1号館1階横浜教務課前です。</p> <p>本学の様式以外や特殊な証明書が必要な場合は教務部窓口でご相談ください。</p>

## 情報の伝達

教務部では、学生へのお知らせや必要な事項の伝達は、原則として在学生用ポータルサイトPort Hepburn（ポートヘボン）にて行います。学生は、1日1回以上、必ずアクセスしてください。Port Hepburnの見落としにより不都合が生じる場合もありますので、十分な自覚を持って情報収集に努めてください。

### 1. Port Hepburnについて

#### ① Port Hepburnへのログイン方法

大学のコンピュータ実習室では、パソコンの初期画面に個人ID・パスワードを入力すれば、Port Hepburnにログインできます。自宅やスマートフォンからアクセスする場合は、大学Webサイトの在学生のページのメニューを選択するか、以下のURLまたは二次元コードからログイン画面を表示してください。

<https://porthepburn.meijigakuin.ac.jp>



#### ② Port Hepburnで確認できる内容

項目
学科別伝達事項
学生個人宛の連絡事項
教務Web（履修登録、履修確認、成績照会、住所・連絡先変更・シラバス検索）
履修要項（新旧対照表含む）・履修の手引き・学修の手引き（映像）
時間割表
夏季講座・春季講座
教室割・教室変更情報
休講・補講情報
定期試験時間割・試験教室情報
レポート情報
追試験情報
オフィスアワー情報
学校感染症に罹患した場合
気象警報等発令および交通機関不通時の休講措置基準
「地震注意情報」・「警戒宣言」発表時の措置

※Port Hepburnの操作方法、パスワードの再発行等詳細については、情報センターで確認してください。

## 2. 明治学院大学 MG教務アプリ

明治学院大学生専用のMG教務アプリがあります。入学後、必ずスマートフォンにインストールしてください。インストール方法、操作方法等は以下サイトから確認してください。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/campuslife/app/index.html>



### MG教務アプリの主な機能

- 時間割の確認
- 成績の確認
- 休講・補講、教室変更等のお知らせ確認
- 学内MAPの確認
- 履修した授業の出席登録・出席情報の確認
- チャットボットでの教務関連の問い合わせ

※新機能の追加や不具合の修正が定期的に行われますので、常に最新版にアップデートすることを推奨します。

※複数教員が担当し、複数のクラスがある授業は休講のお知らせがアプリへ配信されないことがあります。

該当授業で休講があった場合は、Port Hepburnのお知らせで通知しますのであわせてご確認ください。

## 3. その他

### ① チャットボットについて

明治学院大学 MG教務アプリ内のチャットボットでも教務関連の問い合わせに回答します。問い合わせがあるときは、まずチャットボットをご利用ください。

### ② 授業、試験、成績等の問い合わせ方法について

教務課窓口への来課、またはMGメール（大学が付与した学籍番号のアドレス）からのメールにてお問い合わせください。電話での履修・成績相談は受け付けておりません。

MGメールによる問い合わせ先

白金教務課      kyomu@mguad.meijigakuin.ac.jp

白金学務教職課   mgkyomu2@mguad.meijigakuin.ac.jp

横浜教務課      kyomuy@mguad.meijigakuin.ac.jp

### ③ オフィスアワーについて

学生の主体的な学習を支援する一環として、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などを担当教員に相談できる「オフィスアワー」を全学的に行っています。教員ごとに設定曜時限や相談方法が指定されています。詳細はPort Hepburnで確認し、必要に応じて手続きをしてください。非常勤の教員に質問等がある場合は、授業終了後に相談することができます。

（オフィスアワーは、成績評価について問い合わせることはできません）。

# 学修の手引き



# カリキュラム

各学部・学科の教育上の目的に従って、授業科目を体系的に編成したものを「カリキュラム（教育課程）」といいます。みなさんは、自分が所属する学部・学科のカリキュラムをよく理解した上で、授業内容を修得することを目指してください。カリキュラムは入学年度別・コース別に定められており、原則として卒業まで変更はありません（ただし、科目の新設・廃止をする場合があります）。また、カリキュラムで定められた範囲で、自ら履修を希望する学問分野や授業科目を選択できますが、卒業に至るまでの過程は自己責任であるということを常に念頭に置いてください。

なお、各学部・学科では、

①人材養成上の目的・教育目標

②卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

卒業認定・学位授与に関する基本方針であり、卒業時に学生が修得しているべき知識・能力・行動等を示している

③教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

教育の実施に関する基本方針であり、卒業時に学生が修得しているべき知識・能力・行動等を育成するための学修段階に応じた教育計画、指導の方針等を示している

を定めています（他に「入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」も定めています）。詳細は、各学科のページを参照してください。

## 1. 授業科目の種類

本学の授業科目は、「明治学院共通科目」「学科科目」「教職に関する科目」の3分野があり、学修上の必要に応じて以下のように分類されます。

科目の種類	科目の内容
必修科目	履修して必ず単位を修得しなければならない科目。 未修得科目がある場合卒業できない。
選択必修科目	特定の科目のグループから一定の単位数を修得する必要がある科目。 修得単位不足等、条件を満たさない場合卒業できない。
選択科目	特定の科目のグループから自由に選択して履修する科目。
要求科目	履修する必要があるが単位修得は問わない科目。
その他	学科により特に指定された科目。詳細は学科のページを参照。

## 2. 履修年次

履修年次とは、各授業科目を履修できる最低の年次を表し、4年間の学修を系統的に行えるように、カリキュラムに基づいて定められています。

現在の年次より上級の年次に配置されている授業科目を履修することは原則できません。現在の年次より下級の年次に配置されている授業科目であれば履修することができます（例：科目の履修年次が「2」の学科科目は、2～4年次生が履修できます）。

学部学科によっては「自分の年次より上級の学年の科目を履修できる制度」「指定の年次のみ履修できる科目」など特例がありますので、学科のページで確認してください（「履修年次」という言葉は学科により、「配当年次」や「開講年次」と表すこともあります）。

### 3. セメスター制

本学では下表のとおり、1つの年次を春学期と秋学期にわけ、学期（セメスター）ごとに単位を修得し、8セメスター（4年間）を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。年次は入学年度からの年数をカウントし、休学期間や修得単位数を考慮しません。

年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
学期 (セメスター)	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期	第6学期	第7学期	第8学期
春学期入学	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
秋学期入学	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期

各学期は、学則で次のように定められています（年度によっては実際の期間が異なる場合があります。毎年度の学暦で確認してください）。

春学期：4月 1日～9月20日

秋学期：9月21日～3月31日

授業は、以下の①～③のいずれかの形態で開講します。このうち、①の開講形態にあつては、週に1回授業を行う場合と週に2回以上授業を行う場合があります。

①春学期のみ、または秋学期のみに授業を行い、その期間内で完結

②春学期と秋学期の2学期間連続で、1年間を通して授業を行い完結

③夏季休暇または春季休暇中に期間を定めて授業を行い、その期間内で完結

①の開講形態をとる授業科目をそれぞれ「春学期開講科目」「秋学期開講科目」、②の開講形態をとる授業科目を「通年開講科目」、③の開講形態をとる授業科目を「夏季講座」「春季講座」といいます。

## 単位制

大学における学修は、単位制で行われています。単位制とは、各授業科目に定められた単位を修得する制度です。

### 1. 単位とは

単位とは、授業科目を履修し、平常試験・定期試験またはレポート、そのほか担当教員が必要と認める学修の結果等によって、その授業科目に合格したと担当教員が評価したとき、所定の単位が与えられるものです。

本学では学則において、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とすると規定しています。学修の時間には、授業時間だけではなく、特別学修回や予習・復習等教室外での自主学修も含まれます。

### 2. 授業時間と単位数

本学では、1時限100分の授業が、春学期14週、秋学期14週で行われます。単位数は、それぞれの授業科目ごとに定められており、授業形態によって算定方法が異なります。

講義・演習科目：15時間から30時間までの授業、特別学修回での学修、予習・復習等の自主学修をあわせて45時間で1単位

実験・実習・実技科目：30時間から45時間までの授業をもって1単位

特別学修回について

各学期の14週目の授業は、特別学修回となります。

特別学修回は、当該学期に学んだ内容の確実な定着を図ることを目的とした授業回で、担当教員の指導に基づき、定期試験に備えた学修、レポート等課題の作成、授業内試験などが行われます。

通常授業が行われる場合もありますので、詳細は、各科目担当の教員の指示に従ってください。なお、特別学修回の期間は学暦に定められています。

授業科目に定められた単位数（目安）

学期科目 (春学期開講科目、 または、秋学期開講科目)	14週で完結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義科目は2単位</li> <li>ただし週2回授業が行われる場合は4単位</li> <li>・演習科目は2単位または1単位</li> <li>・実験・実習・実技科目は1単位</li> </ul>
通年開講科目 (一年を通して行われる科目)	28週で完結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義科目は4単位</li> <li>・演習科目は4単位または2単位</li> <li>・実験・実習・実技科目は2単位</li> </ul>

2単位の修得に必要な学修時間の考え方（例）

2単位の講義・演習科目		
予習 2時間	週1回授業	復習 2時間

# 履 修

授業を受けるためには、事前に履修登録を行う必要があります。履修登録には注意事項がありますので、大学からのお知らせには十分注意してください。

## 1. 履修計画

学生は、各学部・学科のカリキュラムに沿って、履修登録期間に1年間に受講したい授業科目を選択します。1年間に履修できる総単位数は学科ごとに定められています（年間履修上限単位数）ので、各学科のページで確認してください。原則として、年間履修上限単位数を超えて登録できません。

授業科目には、「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」等があります。学びたい分野や開講曜時限に合わせて、これらの科目を自ら組み合わせて履修計画を立てる必要があります。

履修計画を立てる際には、履修要項（新旧対照表含む）、履修の手引き、シラバス、時間割表（開講科目情報）、履修ハンドブック等を参考にしてください（これらの情報はPort Hepburnで提供します）。

シラバスは、その授業科目の「授業内容」「担当教員」「開講校舎・曜時限」「成績評価の基準」「教科書」等の情報が授業科目ごとに確認できます。「教務Web」の学生メニューの「シラバス検索」からも参照可能です。ただし「シラバス検索」は、全学部全学科および大学院の授業科目が参照可能であるため、表示された授業科目であっても所属学部・学科・学年・コースによっては履修できない場合があります。各自が履修できる授業科目かどうかは履修要項や時間割表で確認してください。

シラバスの内容は、授業の進行状況等により変更が生じる場合がありますので、学暦に定められた授業開始日から各自の履修計画に基づいて授業に出席してください。履修を考えている授業は、履修登録を行い初回授業から出席してください。

## 2. 履修登録

履修登録とは、自ら立てた履修計画に基づき、受講する授業科目を大学に申請することをいいます。履修登録をしていない授業科目は、授業に出席し、試験を受けても、当該科目の単位を修得することはできません。

履修登録は、毎年度春学期初めの定められた期日までに、基本的にその年度の春・秋両学期に履修するすべての授業科目について行わなければなりません。秋学期の初めにも履修登録の機会は設けられていますが、履修計画の変更に伴う秋学期科目（春季講座を含む）の追加・削除のみとなるよう年間を通じた計画を立て、春学期のうちに登録を行うようにしてください。

※春学期科目・通年開講科目・夏季講座は春学期の履修登録期間にのみ登録可能です。履修登録期間を過ぎた後は、理由の如何を問わず履修登録できません。

履修登録期間は学暦で定めていますが、スケジュールの詳細は、学期ごとにPort Hepburnでお知らせします。

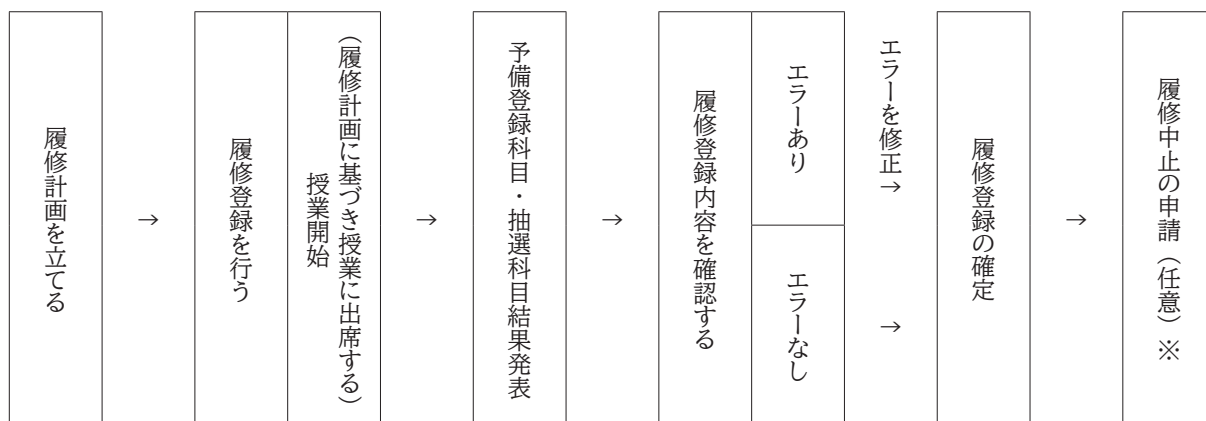
本学では、履修登録は「教務Web」を利用します。ただし、以下のような科目は登録方法が異なるので、履修の手引きやPort Hepburnの掲示等をよく確認して手続きを行ってください。

クラス指定科目	複数開講するクラスのうち、事前に指定されたクラスで履修する。
予備登録科目	少人数教育科目、教室の規模や施設・設備等の都合で定員を設定した科目。事前に募集を行い、書類選考や面接等により履修者を決定する。
抽選科目	人数制限等の関係から、抽選により履修者を決定する。担当教員の履修許可が必要となる科目もある。

抽選等の結果については、各自で各科目の指示に従って確認してください。

また、抽選等を行う授業科目を申し込む場合には、履修できなかった場合のことも考慮して履修計画を立ててください。

### 3. 履修登録の流れ



※『7. 履修中止制度』参照

### 4. 教務Webによる履修登録方法

履修登録の具体的な方法は、履修ハンドブックで確認してください。Port Hepburnにログインした後、「教務Web」メニューをクリックすると、学生メニューが表示されます。トップページのメッセージを確認した後、「履修申請」をクリックして、履修登録を行う「履修申請 申請状況画面」に進んでください（科目を追加しただけでは履修登録は完了していません。必ず「履修申請」のボタンをクリックしてください）。

履修登録が完了したら、同じ学生メニューの「履修登録確認表・成績通知書印刷」より「履修登録確認表」を出力し確認してください。

### 5. 履修相談窓口

履修に関する相談は、白金・横浜の教務課で受け付けます。

**【文学部・経済学部・社会学部・法学部・心理学部の各学部生】**

原則、授業科目が開講されている校舎の教務課

**【国際学部・情報数理学部の各学部生】**

すべて横浜教務課

※ 2年次生で履修する科目がすべて白金校舎の場合は、白金教務課で対応します。

※ 3年次以上で履修する科目がすべて横浜校舎の場合は、横浜教務課で対応します。

※ 教職課程に関する相談は、年次によらず白金・横浜どちらでも対応します。

## 6. 履修登録の注意事項

- ① 履修登録をしなかった学生は、その学期における授業の受講および単位修得の権利を放棄したものとみなします。授業に出席し、試験を受験しても、単位を修得することはできません。
- ② 履修申請画面でエラーがなく終了した場合でも、その後予備登録科目、抽選科目等を教務課が登録することによりエラーが発生することがあります。履修申請の都度、必ず履修登録内容を確認してください。エラーが表示されたままになっている場合、すみやかに修正の手続きを行ってください。これを放置すると、当該科目の登録は無効となり履修は削除されます。
- ③ 予備登録科目の履修登録は教務課が行いますので、その曜時限に別の授業科目を履修登録することはできません。また、これらの授業科目は、学生自身で履修変更することはできません。
- ④ 同一学期の同一曜時限には、複数の授業科目を登録することはできません。
- ⑤ 履修方法に誤りがないか、卒業見込、資格取得見込等の確認は、最終的には学生自身の責任において確認するものとします。履修登録確認表や教務課でエラーがないと判定された場合でも、履修要項等を参照して必ず自分で確認してください。
- ⑥ 1日の内に横浜校舎と白金校舎の両方で授業を履修する場合は、以下の点に注意してください。

### 【対面授業】

両校舎の授業時限の間に、移動時間として、必ず1時限以上空けなければなりません。これは昼休みをはさんでいても同様で、横浜校舎の第2時限の授業と白金校舎の第3時限の授業（またはその逆）を続けて履修することはできません。

### 【遠隔授業】

両校舎で連続する授業のうち、一方または両方が遠隔授業であれば履修登録が可能です。

ただし、遠隔授業で定期試験を行う場合は、対面授業と同様に両校舎の授業時限の間に、移動時間として必ず1時限以上空けなければなりません。

#### 遠隔授業の履修例

##### 履修登録可能

- ① 第1時限に横浜校舎対面授業、第2時限に白金校舎遠隔授業
- ② 第1時限に横浜校舎対面授業、第2時限に白金校舎遠隔授業（※）、第3時限に白金校舎対面授業

##### 履修登録不可

- ① 第1時限に横浜校舎対面授業、第2時限に白金校舎遠隔授業（定期試験実施）

※「履修登録可能②」の履修例においては、第2時限の授業を校舎移動の時間に受講することとなります。遠隔授業は静穏な環境で受講することを前提としているので、不都合が起きないように、自身の責任のもと履修するよう注意してください。

## 7. 履修中止制度

履修中止制度とは、履修登録期間終了後に、授業内容が勉強したいことと異なっている等の理由により履修をとりやめたい場合に、授業期間の途中で履修を中止できる制度です。なお履修中止をした科目については、GPA（成績『3.GPA（Grade Point Average）』の項を参照）の算出には含まれなくなります。

この制度は履修登録期間に行う履修科目の削除・修正とは異なります。また、履修を中止した授業科目は、いかなる理由があっても、履修中止の取り消しや、教科書・テキスト代等の返金はできません。履修を中止した授業科目を、次学期以降に改めて履修することは可能です。

① 各学期に履修中止の申請が可能な科目

春学期：春学期開講科目・通年科目・夏季講座

秋学期：秋学期開講科目・春季講座

ただし、下記の授業科目については、履修中止の申請ができません。

履修中止できない科目
必修科目
明治学院共通科目「言語系科目群」の選択必修である初習語
予備登録科目
単位互換科目
許可履修科目
教育実習
要求科目
各学科で定める履修中止できない科目

② 履修中止の申請

履修中止は、所定の期間に「教務Web」の学生メニューで「履修中止」をクリックし、「履修中止 申請状況画面」より申請してください。申請期間後の申請および履修中止の取り消しは一切できません。また、履修中止を行った場合、履修中止申請画面に授業科目名の前に履修中止を示す「止」マークが反映されていることを確認してください。ただし、履修上のエラーを履修中止申請期間前に解消していない学生は履修中止の申請はできません。また、卒業の見込が立っている卒業年次生が履修中止の申請をする場合、卒業不可となってしまう履修中止の申請はできません。

履修中止申請期間

春学期：5月中の定められた期間

秋学期：10月中の定められた期間

※各学期の履修中止期間はPort Hepburnのお知らせで確認してください。

③ 履修中止の申請をした授業科目の単位の扱い

履修中止を申請した授業科目の単位数は、当該年度の年間履修上限単位数に含まれます。履修中止した授業科目の単位分で他の科目を追加履修することはできません。

④ 履修中止を申請した授業科目の表示

画面・帳票	教務Webでの表示
履修登録画面	止
履修登録確認表	履修中止
成績通知書	W
成績証明書	(表示なし)

# 科目ナンバリングについて

## 1. 科目ナンバリングとは

科目名称の先頭に8桁の英数字を付けて表現します。これは教育課程（カリキュラム）の構造・体系を容易に理解できるように、科目間の関係、科目の難易度・性格、履修順序を表すことで、その科目がカリキュラム全体でどう位置付けられているかを明示するものです。

本学では、教務Web、シラバス、履修要項、履修登録確認表、成績通知書、授業/試験時間割・教室割等で使用します。

## 2. 対象年度

学科科目：2020年度以降の入学生が対象

明治学院共通科目：2018年度以降の入学生が対象

（対象外の年度の学生は従来の科目名称を参照してください）

## 3. ナンバリングルール

本学で開講する科目には、科目ナンバリングが付番されます。そのルールは下記のとおりです。

	① 責任 開講学科	② 科目群 学問分野	③ 科目のレベル または配当年次	④ 連続番号	⑤ 科目名称
表記 ルール	アルファベット 大文字2文字	アルファベット 大文字3文字	数字1文字	数字2文字	

例	MG	CHR	1	01	キリスト教の基礎A
	MGCHR101キリスト教の基礎A				

### ①責任開講学科

授業を開講する学部学科等を2文字の大文字アルファベットで表します。

学科記号	学科名称	学科記号	学科名称
LE	文学部 英文学科	SG	社会学部 社会学科
LF	文学部 フランス文学科	SW	社会学部 社会福祉学科
LA	文学部 芸術学科	J-	法学部共通
LX	文学部共通	KS	国際学部 国際学科
TC	文学部 教職課程	KC	国際学部 国際キャリア学科
EE	経済学部 経済学科	PS	心理学部 心理学科
EB	経済学部 経営学科	PE	心理学部 教育発達学科
EG	経済学部 国際経営学科	MS	情報数理学部 情報数理学科
		MG	明治学院共通科目

②学部学科等の科目群または学問分野

3文字のアルファベットで表します。一覧表はこの履修要項の巻末に記載しています。

③科目のレベル・配当年次

下記に基づき数字1文字で科目の難易度・順番・種類等（学科によっては配当年次）を表します。

科目のレベル		配当年次	
記号	内容	記号	内容
1	基礎	1	1年次
2	応用	2	2年次
3	発展	3	3年次
4	展開	4	4年次
9	資格要件	9	資格要件
0	その他	0	その他

④連続番号

各学部・学科等のカリキュラム体系に基づき、順次性を考慮して、数字2文字（00～99）で表します。

# 授 業

## 1. 授業

授業で学習管理システム「manaba」を使用する場合があります（manabaにはPort Hepburnからログインできます）。

### ①授業の形態

授業は「対面授業」、または「遠隔授業」のいずれかの方法で行われます。各科目の授業形態については、シラバスの〔授業形態〕で確認することができます。

遠隔授業においても、対面で定期試験を実施することがあります。また遠隔授業で修得した単位が卒業単位として認められるのは、60単位までとなりますのでご注意ください。

本学における「遠隔授業」の形態は以下となります。

#### ・オンデマンド型

講義動画や資料等の教材を自身の端末で視聴する授業です。開講曜日、時限の定めがないため、配信期間内であれば、いつでも任意の場所から受講することができます。

#### ・同時双方向型

リアルタイムで配信される講義を自身の端末で視聴する授業です。授業の開講曜日、時限が定められているので、所定の曜時限に任意の場所から受講するものとなります。

### ②授業の教室

自分の履修する授業の教室はPort Hepburnの教室割やMG教務アプリで確認してください。授業開始後に教室が変更される場合がありますので、Port Hepburnの授業教室割、MG教務アプリ、教室扉の変更掲示に注意してください。

### ③授業の出席

授業では教員が出席を確認することがあります。出席確認では、紙の出席票やリアクションペーパーを配布したり、MG教務アプリを使用した出席管理システムが用いられる場合があります。履修している授業はすべて出席し、学修に励んでください。授業を欠席する場合は、『6. 授業の欠席』を参照してください。

### ④授業の出席・授業内課題における不正

下記に該当する行為は、当該科目を失格とするなどの処分の対象となります。絶対にしないでください。

- ・本人が授業に出席していないにもかかわらず、出席票（MG教務アプリによる出席登録を含む）やリアクションペーパーを他人によって記入し提出すること。
- ・他人のスマートフォンや学生証を所持・使用すること。
- ・授業内課題の不正（剽窃、盗用、AI自動生成文の流用等）。

### ⑤授業中

授業中は私語をせず、集中し、積極的に参加してください。グループワークやプレゼンテーションなど、発言が求められる授業も多数あります。授業中は教員の指示に従い、他の学生の迷惑になる行動や授業の運営に支障が出る行為は慎んでください。授業の動画撮影や板書の写真撮影の可否は、必ず教員に確認してください。

## 2. 授業時間

本学の授業は、1回あたり100分で行います。授業時間帯は下表のとおりです。

時限	白金・横浜校舎共通	備考
第1時限	9:00~10:40	土曜日の開講 白金：第1~5時限のみの開講 横浜：第1~2時限のみの開講 (ただし、週末補講は第3~5時限) チャペルアワー 月~金曜日 12:40~13:00 補講 詳細は「5. 補講」を参照
第2時限	10:55~12:35	
昼休み	12:35~13:35	
第3時限	13:35~15:15	
第4時限	15:30~17:10	
第5時限	17:20~19:00	
第6時限	19:10~20:50	

## 3. 祝日授業日

授業日数を確保するため、特定の「国民の祝日」に授業を行うことがあります。毎年度の学暦で確認してください。

## 4. 休講

休講情報は、Port Hepburn、MG教務アプリ、manaba等でお知らせします。授業開始時刻後に連絡があった場合は、教務課員が直接教室に赴くか、Port Hepburnやmanaba等で連絡します。授業開始時刻から30分を過ぎても授業が開始されず、担当教員または教務課から指示がない場合は「自然休講」となります。

## 5. 補講

本学では、主に休講になった授業の内容を補うために、学暦で補講日を定めています。補講の実施は、各授業科目の担当教員が決定します。

平日（月～金）補講 ※	週末（土）補講	期末補講
横浜校舎のみ第6時限	両校地ともに第3～5時限	両校地ともに第1～6時限

※平日補講は、白金校舎は第6時限、横浜校舎は第5時限に実施されることがあります。

### ①実施形態とお知らせ方法

補講は対面、遠隔（オンデマンド型、同時双方向型）のいずれかの形態で実施されます。

実施形態、実施日時、教室は、補講の実施が決まり次第、Port Hepburn、MG 教務アプリ、manaba等でお知らせします。実施形態、曜時限、教室は、通常の授業と異なる場合がありますので注意してください。

### ②別の授業（補講）と日時が重なった場合

補講と別の科目の通常授業が重なった場合、原則として通常の授業の受講が優先されます。複数科目の補講が重なった場合は、各自の判断で出席する補講を選んでください。

なお、補講では成績評価を伴う試験等の実施はありません。

### ③試験への出題について

補講で扱った内容は試験の出題範囲に含まれませんが、オンデマンド型、または同時双方向型で補講を録画した動画が公開された場合は、試験出題範囲に含まれます。

なお、期末補講期間に扱った内容は、実施形態にかかわらず、試験出題範囲に含まれません。

## 6. 授業の欠席

授業を欠席する際、『7. 学校感染症に罹患した場合』を除いて大学への連絡は不要です。次に出席したときに、担当教員に事情を説明して、欠席連絡票が必要かどうかを確認してください。教務課では、本人の病気や怪我、または、忌引（3親等以内）、福島県出身者の甲状腺検査により授業を欠席した場合、裁判員候補者等に指名された場合、骨髄バンクドナー候補となった場合に限り、欠席連絡票の発行ができます。必要な場合は、所定用紙に記入の上、欠席事由を証明する書類（いずれもコピー不可）を添付し、教務課窓口へ届け出てください。最終申請期限は、各学期の定期試験最終日です。

欠席事由	必要書類
病気・怪我	医療機関の発行した証明書（診断書・治癒証明書など）の原本で、以下の事項が明記されているもの ①傷病名                      ②通院・安静等の日時・期間（欠席した日を含むこと） ③証明書作成日              ④医療機関名と医師名・印（医療機関または医師） ⑤問い合わせ先の電話番号
忌引（3親等以内）	葬儀案内状、会葬礼状などの原本 ※忌引は通夜、葬儀、告別式に限る（〇回忌等の法事は対象外）
福島県出身者の甲状腺検査	検査の通知文書
裁判員候補者等（裁判員・ 検察審査員）への指名	裁判員：選任手続期日のお知らせ（呼出状） 検察審査員：選定通知及び招集状
骨髄バンクドナー候補 となった場合	公益財団法人日本骨髄バンクが発行する証明書

## 7. 学校感染症に罹患した場合

「学校において予防すべき感染症※」に学生が罹患した場合は、学内感染を予防するため「学校保健安全法」「学校保健安全法施行規則」により出校停止になります。

この場合は、直ちに通学する校舎の健康支援センターに連絡して、指示を受けてください。

所定の手続きを行った学生については、授業・定期試験の欠席が不利益とならないように配慮します。

※手続き方法については、Port Hepburnの「学校感染症に罹患した場合」を参照すること

「学校において予防すべき感染症」は、以下のとおりです。

種別	感染症
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、特定鳥インフルエンザ
第二種	インフルエンザ、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（ノロウイルス等を含む感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症）

# 試 験

試験には、平常試験（担当教員が通常の授業内において必要に応じて実施する試験）、定期試験、レポート、追試験があります。

試験の形式は筆記試験を原則としていますが、レポートまたは口頭試問等を課すこともあります。また、これらの形式を組み合わせて実施することもあります。

不正行為について（MG DIARY 『不正行為』懲戒基準のガイドライン』参照）  
 試験およびレポートにおいて不正行為があった場合、学則に沿った厳しい処分（退学・停学等）が科されます。不利益を被らないためにも、普段の授業から各自注意して臨んでください。

## 1. 定期試験

学期ごとに、試験期間を設けて実施します。試験期間は学暦で定めます。

定期試験を行う授業科目、試験の時間割や試験教室等は、試験期間の2～3週間前までにPort Hepburnで発表します。

- ① 定期試験の時間割は授業の時間割に基づいて発表します。原則として通常授業時と同じ曜時限です。ただし、やむを得ず通常授業時とは異なる曜時限で試験を実施することがあるため、必ず発表を確認してください。なお、遠隔授業で定期試験を白金・横浜各校舎で行う場合の時間割も同時に発表しますので必ず確認してください。
- ② 定期試験の試験教室は、通常授業時の教室とは異なります。また、同一授業の試験を二つ以上の試験場に別けて実施する場合があります。必ず指定の試験場で受験してください。
- ③ 定期試験によっては座席が指定されている場合があります。試験教室で座席表を掲示しますので、必ず自分の学籍番号の座席で受験してください。
- ④ 履修登録していない授業科目の試験を受験することはできません。
- ⑤ 定期試験時間

時限	白金校舎	横浜校舎
第1時限	9：00～10：00	
第2時限	10：55～11：55	
第3時限	13：35～14：35	
第4時限	15：30～16：30	
第5時限	17：20～18：20	
第6時限	19：10～20：10	

定期試験が重複した場合、以下のとおり取り扱います。

- ① 本学が協定を結ぶ大学との単位互換履修生であって、その大学の定期試験と本学定期試験が重複した場合は、相手先大学の試験を受験して、本学の試験は追試験とします。
- ② 本学の定期試験において、試験時間割が授業時間割とは異なるため試験が同一時間帯に重複した場合、定められた期日までに教務部窓口で手続きをすることにより重複対応試験として、試験当日に重複した二つの試験を受験できます。ただし、本人の履修状況によっては重複対応試験ではなく追試験となる場合もあるため、必ず手続きをしたうえで指示を受けてください。

## 《教室試験の受験心得》

定期試験・平常試験・追試験に際して下記の事項に注意してください。

- ① 学生証のない者および学生証を忘れた者の受験は認めません。試験当日は学生証を忘れないように十分注意してください。万が一、学生証を提示できない学生は、教務部が交付する仮学生証（交付当日のみ有効）を提示すれば受験することができます（手数料200円必要）。  
※学生証を紛失した者（または印字面が摩耗し本人確認できない場合）は必ず定期試験の開始以前に教務部で再発行手続きを済ませてください（手数料1,500円必要）。再発行学生証は手続き日の翌日渡し（ただし、事務休止日を除く）になるので注意してください。
- ② 試験教室への入室は、前の時限の受験者および監督者の退室が完了するまでできません。
- ③ 注意事項等もあるので、教室には試験開始10分前に入室してください。
- ④ 遅刻をしないでください。ただし、試験開始後20分以内に限り監督者の許可を得て入場することができます。
- ⑤ 試験科目、試験教室および試験クラスを確認してください（履修登録したクラスの試験を受験してください）。試験教室は、通常授業の教室と異なることがあるので注意してください。
- ⑥ 監督者の指示がない限り、一人置きに教室の前から着席してください。座席指定がある場合は、その指示に従ってください。
- ⑦ 着席と同時に学生証の表を<sup>おもて</sup>上にして置き、認められたもの以外はすべてカバン等に入れ、横の椅子の上に置いてください。
- ⑧ 学生証にシールや写真などが貼ってある場合、不正行為とみなします。
- ⑨ 机の下の棚には何も置いてはいけません。もし、ゴミ等自らの責任に属さないものがあれば、試験開始前にゴミ箱に捨ててください。
- ⑩ 机に書き込まれている文字等はすべて消去し、誤解を受けないようにしてください。消去できない場合は監督者に申し出てください。
- ⑪ 試験開始の合図があるまでは、問題・解答用紙は裏返しにしておいてください。
- ⑫ 試験開始の合図後、ただちに、解答用紙・受験票に学籍番号・氏名を記入してください。解答用紙（答案）・受験票を提出する前にも、学籍番号・氏名の記入を確認してください。
- ⑬ 監督者の指示があるまでは試験場から退室できません。指示後に退出する場合、他の受験者の迷惑にならないよう静粛かつ迅速に退出してください。
- ⑭ 答案の持ち帰りはできません。
- ⑮ 携帯電話やスマートウォッチ等の電子情報機器類の電源を切ってカバン等に入れてください。時計機能の使用は認めません。
- ⑯ 不正行為を厳禁とします。不正を行った学生に対しては、学則に定めた厳しい処分を科します。

以下のような行為を行った者は、『MG DIARY』に示してあるとおり不正行為者とみなされます。

(a) 使用を許可されていない資料等を所持または使用した者、またはこれと同等とみなされる不正を行った者

- 事例
1. カンニングペーパーの用意または使用
  2. 答案の交換
  3. 使用が許可されていない文献等の使用や貸借
  4. 使用が許可されている文献等の、授業科目担当者による了解の無い貸借
  5. 机、学生証、所持品、壁等への解答およびそれに類するものの書き込み
  6. 答案の盗み見
  7. 声、動作等による解答の伝達、その受信
  8. 携帯電話等の使用

(b) 試験監督者の指示に従わなかった者またはこれと同等とみなされる不当な行為を行った者

## 2. レポート

レポートは、担当教員へ直接提出することを原則とします。ただし、担当教員が提出先を別途指定する場合があります。manabaやPort Hepburnのレポートメニューもあわせて提出前に十分確認してください。

### 《レポート作成・提出心得》

レポートの作成および提出に際しては下記に注意してください。

① レポートの作成にあたって、著作物やWeb上の情報を参照・引用した場合は、引用箇所と出典を明記する。

② 著作物やWeb上の情報を参照・引用した場合の引用箇所と出典は以下を参考に明記する。

**【図書の場合】**

著者名『書名』（出版社、発行年）、ページ

**【雑誌等の論文の場合】**

執筆者名「論文名」（『所収雑誌名』巻、号、発行年月）、ページ

**【ホームページの場合】**

URL、取得年月日

**【新聞記事の場合】**

新聞名、発行年月日、朝夕刊の別、面

↓左上を綴じる

【表紙見本】

○曜○限「科目名」  
○○○ 先生

『レポートのタイトル』

年 月 日提出  
学籍番号  
氏 名

③ 引用をしたにもかかわらず、どこからどこまでが引用なのかを示さず、また出所の記載もなく、あたかも自分で作成したようにすること（剽窃）は「不正行為」とみなす。特にWeb上の文章をそのまま引用する行為は、「不正行為」に当たるので、注意する。また、AI自動生成文の流用や、知人等の他者が執筆したレポートを、承諾の有無によらず一部分でも複製し自らのレポートとすること（盗用）も、「不正行為」とみなす。不正を行った者および不正行為を幫助した者に対しては、学則に定めた厳しい処分を科す。

④ レポートは、各人が個別に作成し、指示がない限りグループで作成してはならない。また、他者の文章やWeb上のデータを参考にした場合でも、最終的には自らの評価や主張をきちんと述べる。

⑤ 紙で提出する場合のレポートの体裁は、上の図のとおり表紙をつけ、授業曜時限・科目名・担当教員名・レポート題名・学籍番号・氏名を必ず明記する。レポートは特に指示がなければ左上をステープラーで綴じて提出する。manaba、メール等によりファイルデータで提出する場合も、表紙の体裁は同様とする。

⑥ 提出先、提出日、受付時間を厳守する。

**・授業時提出**

授業教室で提出の場合、授業開始時に回収することがあるため、必ず授業開始時から着席する。

**・manaba、メール等のファイルデータで提出**

manabaでの提出の場合は、当該授業のコースの「レポート」画面から提出する。提出後は、ポートフォリオで提出済になっているか必ず確認する（「提出」ボタンを押下していない場合は、提出とはみなさない）。

メールの場合は必ず送受信の確認を行い、メールの発信記録を保管しておく。なお、再提出や成績評価確認の申請で必要な場合があるため、成績発表までファイルデータを削除せずに保存しておく。

**・その他（共同研究室等への提出）**

提出先によって受付時間が異なるため、十分に確認する。

### 3. 追試験

追試験とは下記①に該当し、所定の期間内に申請し、受験許可が出た学生に対して実施する試験をいいます。追試験は申請した学生のためだけに特別に準備をして行うため、申請をした場合、必ず受験することが義務づけられます。

① 追試験申請資格

次ページの表に記載されている理由で定期試験を受験できなかった者

※定期試験期間外に行われる試験（集中講座における試験を含む）は、追試験の対象外です。

- ② 追試験は担当教員の判断に基づき、筆記試験またはレポートで行います。
- ③ 追試験の申請時は、学生証と申請理由に応じた必要書類を提示してください。必要書類が所定期間に整わない場合は、原則受け付けません。
- ④ 申請理由が次ページに記載されている申請理由に該当しない場合、受け付けません。
- ⑤ 追試験を申請しても担当教員が追試験受験を認めない場合があります。また、追試験受験が認められ、受験したとしてもN評価とする場合があります。
- ⑥ 追試験申請期間の案内は、春学期は6月下旬、秋学期は12月上旬にPort Hepburnで掲示します。
- ⑦ 追試験は学暦で定める期間に実施し、その時間割は別に定めます。個別の事情があった場合でも試験日時の指定はできません。
- ⑧ 追試験を何らかの理由で受験できなかった場合、再度の追試験は実施しません。

申請理由	申請時必要書類
本人の病気・けが	医療機関の発行した証明書（診断書・治癒証明書など）の原本で、以下の事項が明記されているもの ①傷病名 ②通院・安静等の日時・期間（欠席した日を含むこと） ③証明書作成日 ④医療機関名と医師名・印（医療機関または医師） ⑤問い合わせ先の電話番号
忌引 （3親等以内）	通夜、葬儀、告別式に限る（○回忌等の法事は対象外） 葬儀案内状、会葬礼状等の原本（葬儀の日付が確認できる書類） ※忌引期間は教務課に相談すること
交通機関遅延	当該交通機関が発行した遅延証明書 （遅延日付・路線が明記されたもの、対象は通学路線に限る） ※遅延があった場合でも、他路線での振替乗車による移動が可能な場合、試験開始時刻までに明らかに到着できた場合は対象外 ※交通機関遅延を理由とした申請の場合は、できる限り当日に申請すること
就職試験 （筆記・実技・面接試験） 内定者イベント （内定式、採用前健康診断、研修） ※選考を伴わないもの、参加日時を 変更できる場合は対象外	企業担当者が証明し作成した受験証明書 ただし、以下の事項が明記されているもの（大学所定の様式は教務課にて配布。企業所定の様式でも可） ①学籍番号・氏名 ②就職試験実施日時 ③当該学生が就職試験を受験していた旨の文面 ④会社名・住所・電話番号・担当者名・会社印（担当者印は不可）
職場のやむを得ない事情	教務課所定の証明書、雇用関係が確認できる書類（社員証、雇用契約書等）の提示（専任勤務員〈派遣勤務員を含む〉としての就業証明を含む。アルバイト、フリーランス、家事手伝い等雇用関係が確認できない場合は対象外）
教員免許状取得のための介護等体験	申請のみ必要（教務課確認のため書類は不要）
学芸員資格取得のための 博物館実習（芸術学科のみ）	芸術学科共同研究室または実習先の博物館が発行した「博物館実習受入れ回答書」で、以下の事項が明記されているもの（コピー可）。 ①実習期間 ②実習先（住所・施設名・押印等） ③実習受入れ学生氏名
社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験受験資格取得に 必要な2年次・4年次の実習 （社会福祉学科のみ）	社会福祉実習センターが発行した実習期間証明書 対象科目：【社会福祉士】ソーシャルワーク実習1・ソーシャルワーク実習2 【精神保健福祉士】精神保健福祉援助実習
単位互換大学の 定期試験との重複	相手先大学が発行する定期試験受験証明書
定期試験の重複	申請のみ必要（教務課確認のため書類は不要） ※定期試験の重複対応試験の手続きをして追試験を指示されたものに限る。
災害（地震・台風・水害など）	官公庁発行の罹災（被災）証明書
福島県出身者の甲状腺検査	検査の通知文書（コピー不可）
裁判員候補者等 （裁判員・検察審査員）への指名	裁判員：選任手続期日のお知らせ（呼出状） 検察審査員：選定通知及び招集状
骨髄バンクドナー候補となった場合	公益財団法人日本骨髄バンクが発行する証明書
その他（学部長が特別に 認めたとき）	教務課所定の許可願用紙（窓口で交付）と理由が明記されている書類、証明書等 ※受験許可・不許可が出るまで時間を要するため、できる限り申請期間よりも前に相談または申請すること

#### 4. 再試験

文学部、法学部、心理学部、情報数理学部には再試験制度があります。詳細は履修要項の学部・学科のページまたは教務課で確認してください。

# 成績

## 1. 成績評価

成績は、各授業科目の担当教員が下記のとおり本学の定めた成績評価基準にしたがって、試験（レポート等を含む）の得点、平常点、授業への取り組み方等に基づいて評価して決定します。合格の評価を得た学生には、所定の単位が与えられます。

成績確認画面（成績通知書）には、全履修科目について、下記の評価（SからDおよびN、I、R、P、F）を表示します。

また、成績証明書には、合格科目（単位修得科目）についてのみ、科目名と評価を記載します。

種別	評価	評点 (100点満点)	合否	成績評価基準
成績評価の 段階を 定める科目	S	100~90	合格	到達目標を十分に達成し、極めて優秀である。
	A	89~80		到達目標を十分に達成している。
	B	79~70		到達目標を概ね達成している。
	C	69~60		到達目標を最低限達成している。
	D	59以下	不合格	到達目標を達成していない。
	N	評価不能		試験未受験・出席不良等、当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。
成績評価の 段階を 定めない科目	I	—	単位 認定	「明治学院大学学生国際交流規程」に基づく認定留学により他大学等で得た単位を、本学の授業科目に相当するものとして認定したもの。
	R	—		「本学入学前に修得した単位の認定に関する規程」および「編入生単位認定規程」に基づき他大学等で得た単位を、本学の授業科目に相当するものとして認定したもの。
	P	—	合格	到達目標を達成している。
	F	—	不合格	到達目標を達成していない。

【注意1】「評価不能」とは、試験未受験、出席不良、小テスト未受験、レポート未提出等、当該科目の成績評価の前提条件を満たしていないと担当教員が判定したことを示します。

【注意2】法律学科法曹コース指定科目（法曹コース必修科目、推奨科目、自由選択科目）については、相対評価です。評価割合は、S評価…10%以内、A評価…20%程度、B評価…30%程度、C評価およびそれ以外の評価…40%程度を目安とします。

## 2. 成績発表

履修した授業科目の成績は、学暦で定める成績発表日に発表します。履修登録していない授業科目を受講しても、成績評価の対象となりません。

### ① 発表方法について

Port Hepburnにログイン後、「教務Web」を選択して学生メニューを表示し、「履修登録確認表・成績通知書印刷」から「成績通知書」を出力し確認してください。発表のタイミングは授業科目の開講期ごとに異なります。

9月上旬：当該年度春学期までの履修科目の成績（夏季講座（第一期）を含む）を通知

3月上旬：当該年度秋学期、通年開講科目の履修科目の成績（春季講座を含む）を通知

※夏季講座(第二期)の成績および本学の短期留学プログラム(夏季・春季)による認定科目は、別途通知します。

## ② 卒業年次生の卒業学期の成績発表について

卒業者発表（3月卒業は3月上旬、9月卒業は9月上旬）と同時に行います。

## ③ 保証人への成績通知について

保証人への成績通知は、Port Hepburnにてお知らせします。

保証人に成績通知を希望しない学生は、所定の期間内に教務課で手続きをしてください。

保証人の住所等に変更があった場合には、教務Web上で住所変更の申請を必ず行ってください（変更されないと大学からの重要な連絡ができず、不利益となることがあります）。

## 3. GPA (Grade Point Average)

本学では、成績をはかる基準としてGPAを採用することがあります。GPAとは、科目の単位数に成績評価ごとのポイントで重みをつけ、その総合計を総単位数で割った数値です。

ただし、卒業要件外の科目は除外されます。計算式からわかるとおり、S評価が多いとポイントが高くなり、D・N評価が多いとポイントが下がります。在籍期間中の通算GPAについて、成績確認画面(成績通知書)に記載しますが、教務部ではGPAを使用した成績順位の問い合わせには応じていません。

評価のポイント：S=4 A=3 B=2 C=1 D・N=0

GPA算入科目：卒業要件に含まれる科目

計算式<P・F・R・I・W評価は計算の対象外>

$$\frac{(S\text{の修得単位数} \times 4) + (A\text{の修得単位数} \times 3) + (B\text{の修得単位数} \times 2) + (C\text{の修得単位数} \times 1)}{\text{GPA算入科目のうち履修登録した科目の総単位数}}$$

GPA算入科目のうち履修登録した科目の総単位数

GPAはSが多いほど高くなり、最高は4.00、最低は0.00となります。小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とします。

GPAが使用される例は以下のとおりです。

- (a) 法学部の成績優秀者の選考
- (b) 法学部法律学科・法曹コース生の他大学法科大学院入試推薦者の選考
- (c) 法学部生が他大学法科大学院へ進学する際に、3年次早期卒業を希望する場合の卒業要件
- (d) 明治学院大学学内奨学金（学業優秀賞・外国人留学生学業優秀賞）給付対象者の選考
- (e) 明治学院大学大学院社会学研究科の推薦入試における選考
- (f) 明治学院大学大学院心理学研究科の特別入試（本学出身者）における出願基準
- (g) 明治学院大学大学院経済学研究科・法と経営学研究科への飛び入学出願基準
- (h) 明治学院大学協定留学者の学内選考基準
- (i) 国際学部ダブル・ディグリー・プログラム出願基準
- (j) 進路指導

なお、GPAは上記以外にも、転学科試験への出願や学外の各種奨学金、大学院入試の出願時に必要とされることもあります。

## 4. 成績評価確認制度

---

履修科目の成績評価に異議がある場合には、成績評価確認制度により確認できます。履修科目の成績に関する問い合わせは、当該科目の開講校舎の教務課に成績評価確認の申請をすることにより行います。なお、異議の理由が明確でないもの、不適切なもの（陳情・懇願、具体的な理由がない、根拠に基づかない等）は受け付けません。結果は、後日教務課から指定された方法で確認することができます。成績に関する問い合わせは当制度のみに限り、担当教員に直接問い合わせることは認められていません。なお、具体的な申請方法と結果確認方法は別途Port Hepburnのお知らせにて案内するため、必ず確認してください。

成績評価確認の申請は、在學生は成績発表後の指定日、卒業年次生は卒業発表日当日に限ります。ただし、追試験の受験資格と同等の理由（病気・けが、3親等以内の忌引等）が承認された場合に限り、別途提出を認めます。希望者は必ず申請期間中に教務課へ連絡してください。なお、卒業不可となった卒業年次生については、成績発表後の指定日での提出も受け付けます。

## 5. 学生への個別支援

---

本学では、勉強の仕方がわからない、著しく単位が修得できていない、授業についていけないなど学習面での問題を抱えている学生や、課外活動でのトラブルや経済的事情から学業に支障をきたしている、健康面での不安がある等により、このままでは通常の在学期間での卒業が困難になる可能性のある学生に対して、個別に事情を聴取し、学科および担当部門が当該学生へ必要な学業支援を行います。

学年末の成績発表後、各学科の定めた条件に基づいて学生を抽出し、教務課から個別に通知しますので、連絡を受けた学生は、指示に従って面談等に臨んでください。

# 卒業と学位

## 1. 卒業の要件と手続

各学部学科に所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生に、学部教授会の議（卒業判定）を経て、卒業を認定し、学位を授与します。卒業時期は3月と9月があります。

※休学中および認定留学中は、卒業判定の対象となりません。

※年度末（9月卒業を申請した者にとっては春学期末）において卒業要件を満たす者が、希望により卒業を保留することは認められません。

### ① 3月（年度末）卒業

4年間または4年（3年次編入生にあつては2年以上、いずれも休学した期間は除く）を超えて在学し、かつ、所属する学科が定める卒業に必要な単位を修得した者は、その年度末をもって卒業となります。卒業者は、学暦で定める卒業発表日にPort Hepburnで学籍番号を発表します。

ただし、以下の者はこの限りではありません。

- (a) 法学部生（法曹コース生含む）について、他大学法科大学院へ進学するため、3年次早期卒業が認められた者
- (b) 国際学部の9月入学生

### ② 9月（春学期）卒業

4年（3年次編入生にあつては2年以上、いずれも休学した期間は除く）を超えて在学し、春学期末に①の要件を満たす者については、所定の期間に学生本人が教務課（国際学部・情報数理学部生は横浜教務課）に申請することにより春学期末での卒業を認めます。これを「9月卒業」といいます。9月卒業を希望する者は、5月末日までに「9月卒業申請書」を教務課に提出しなければなりません。詳細は、Port Hepburnでお知らせします。

なお、所定の申請をしなかった者は、春学期末で①の要件を満たした場合でも9月卒業は認められず、秋学期も在籍する必要がありますので注意してください。

※国際学部の9月入学生は、②と前提条件が異なるため「9月卒業申請書」の提出は不要です。

## 2. 卒業時に授与される学位

本学・学部卒業者には以下に定める学士の学位が授与されます。

学部	学科	学位
文学部	英文学科	学士（英文学）
	フランス文学科	学士（フランス文学）
	芸術学科	学士（芸術学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
	国際経営学科	学士（国際経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	社会福祉学科	学士（社会福祉学）
法学部	法律学科	学士（法学）
	政治学科	学士（政治学）
	消費情報環境法学科	学士（法学）
	グローバル法学科	学士（法学）
国際学部	国際学科	学士（国際学）
	国際キャリア学科	学士（国際学）
心理学部	心理学科	学士（心理学）
	教育発達学科	学士（教育発達学）
情報数理学部	情報数理学科	学士（情報数理学）

# 単位認定

本学で授業科目を履修して修得した単位以外に、他大学等で修得した単位を認定することがあります。認定するのは次の1～3で、合計で60単位を限度とします。

## 1. 入学前に修得した単位

入学する前に修得した単位（大学、短期大学、短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科において修得した単位）について認定を希望する学生は、入学時の案内に従い手続きしてください。学科の審査・認定を受けることで単位認定されます（入学時以外は認定できません）。

成績評価は、評価記号「R」により卒業に必要な単位として認定したことを表示します。

## 2. 国外認定留学により得た単位

国外認定留学による単位認定の手続きは教務課が行います。留学については国際センターに問い合わせてください。

### ① 長期留学

本学の認定留学により留学先で修得した単位等について、本学の単位として認定するものです。どのような科目が認定されるかは所属している学科により異なります。成績評価についての扱いは「1. 入学前に修得した単位」と同じであり、留学による認定を意味する記号「I」が表示されます。

### ② 短期留学（夏季・春季）

本学の短期留学プログラム（夏季・春季）による単位の認定です。留学先大学の評点を本学の成績に置き換えて評価し、認定します。

### ③ 中期留学

本学の認定留学のうち中期留学プログラムにより留学先で修得した単位等について、本学の単位として認定するものです。留学先大学の評点を本学の成績に置き換えて評価し、認定します。

## 3. 単位互換

単位互換とは、本学が協定を結ぶ他大学において修得した授業科目の単位を、各学部の定めるところにより本学の単位として認定する制度です。詳細は学科によって異なるため履修要項およびPort Hepburn等で確認してください。単位互換で修得した科目の評価は、本学の成績評価に換算して表示します。

※履修上の注意

履修にあたっては、学生の責任において移動時間を考慮し、履修登録をしてください。

卒業年次生がこの制度による履修科目によって卒業に必要な単位を満たそうとする場合、卒業見込証明書の発行時期が大幅に遅れる場合があります。

### ① 横浜市内大学間の単位互換

横浜市内所在の大学間で組織する「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」に参加する大学による単位互換制度です。募集については「横浜市内大学間単位互換履修生 募集要項」とあわせてPort Hepburnでお知らせします。

提供科目：募集要項にて確認してください。（履修可能科目は学科によって異なります。各学科のページ参照。）

実施学科：社会福祉学科、法律学科、消費情報環境法学科、政治学科、国際学科

**② 芝浦工業大学との単位互換**

芝浦工業大学デザイン工学部と単位互換協定を締結しています。芝浦工業大学で修得した単位を本学の単位として認定します。

募集時期：【春学期開講】2～3月、【秋学期開講】8月

提供科目：募集要項にて確認してください。

実施学部：法学部（詳細は各学科のページ参照）

**③ 共愛学園前橋国際大学との単位互換**

共愛学園前橋国際大学と単位互換協定を締結しています。共愛学園前橋国際大学で修得した単位を本学の単位として認定します。

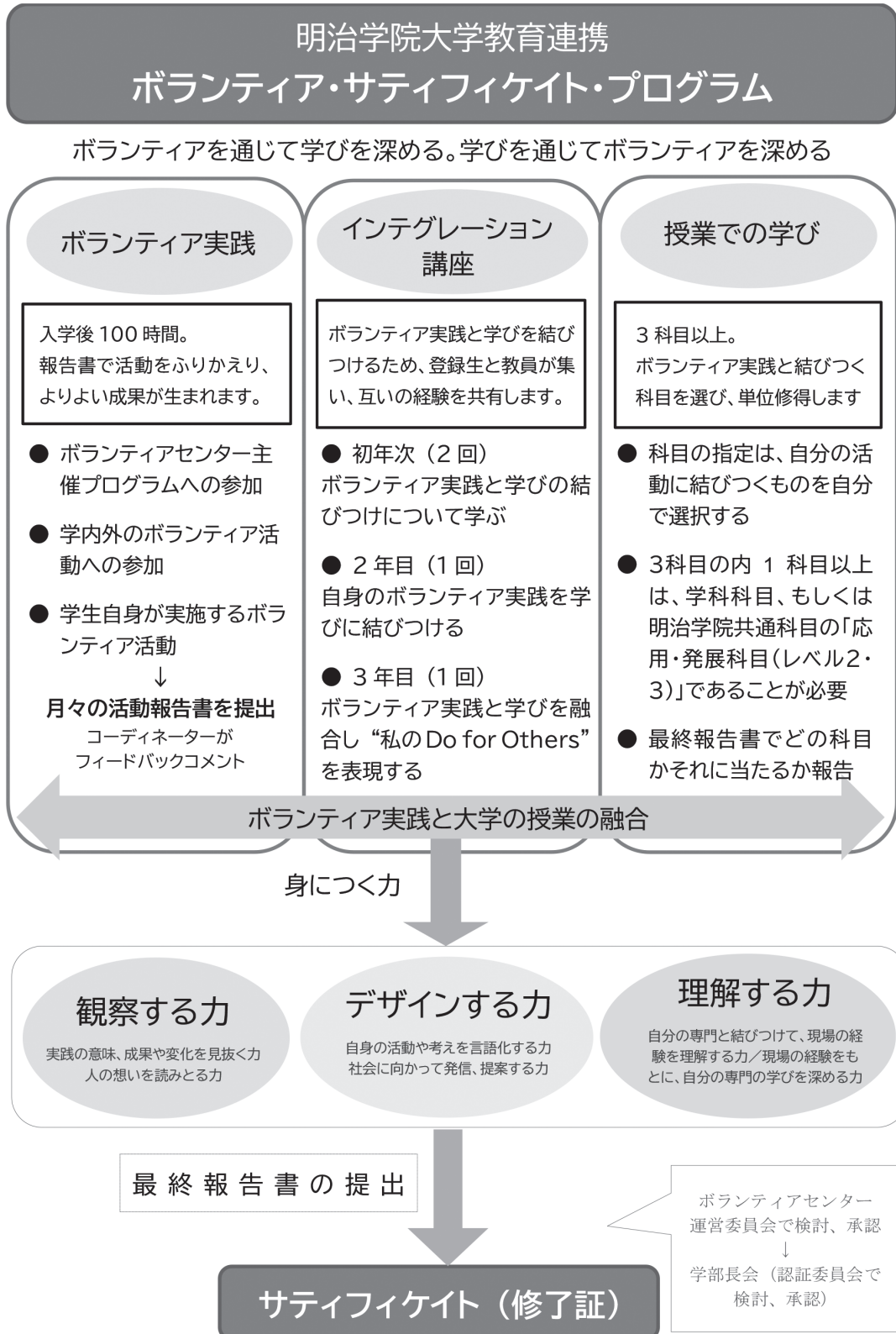
募集時期：【春学期開講】2～3月、【秋学期開講】8月

提供科目：募集要項にて確認してください。

実施学部：法学部・国際学部（詳細は各学科のページ参照）

# 明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム

このプログラムでは、「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケート・プログラム」の修了証を取得できます。修了証取得は、①ボランティア実践（100時間以上）、②インテグレーション講座（全4回）の受講、③ボランティア実践と結び付けた科目（3科目以上）の単位修得が条件となっており、所定の手続きを経て承認されます。



# AI・データサイエンス教育プログラム

本学では、AI時代の新たな基礎知識を教授するAIおよびデータサイエンスに関する明治学院共通科目を開講しています。

このプログラムは、初歩から応用まで3段階のステップで構成されており、社会におけるデータ・AI利活用の状況やデータリテラシーの基礎、データ・AI利活用における留意事項などを学ぶ<レベル1>、プログラミング言語やAIによる機械学習などを学ぶ<レベル2>、そしてAI・データサイエンスに関する知識をさらに深めると同時に、課題解決型の実践的な授業PBL (Project Based Learning) にも参加できる<レベル3>まで、履修者の習熟度に応じて学びを深めることができます。

所定の修了要件を満たした者は、それぞれ修了認定証「ベーシック」、「スタンダード」および「スタンダードプラス」が取得できます。なお、この教育プログラムの趣旨および各科目の内容については、Webページを別途参照してください。

### 【開講科目】

レベル	科目名称 (半期2単位)	配当年次
1	AI・データサイエンス入門	1年次
2	データ解析・活用入門	
	プログラミング入門	
	AIと人間	
3	統計学1 (または2)	2年次
	データ解析・活用基礎	
	AI基礎	3年次
	PBL演習	

【履修要件】 <レベル2>の科目のうち「データ解析・活用入門」、「プログラミング入門」および「AIと人間」の履修は、<レベル1>の「AI・データサイエンス入門」の単位修得が条件。また<レベル3>の履修は、下記修了認定証（ベーシック）を取得した者に認める。なお、「PBL演習」の履修は「データ解析・活用基礎」および「AI基礎」の単位修得が条件となる。

【修了認定証（下記文中の「必修」「選択必修」は、認定証を取得する条件のこと）】

- ・ **ベーシック**：「AI・データサイエンス入門」および「データ解析・活用入門」、「プログラミング入門」（3科目各2単位計6単位）が必修。「統計学1 (または2)」と「AIと人間」は、いずれかを選択必修とし、4科目計8単位の修得をもってベーシックの認定証を取得できる。
- ・ **スタンダード**：「ベーシック」取得後、<レベル3>の「データ解析・活用基礎」、「AI基礎」の2科目4単位の修得をもってスタンダードの認定証を取得できる。
- ・ **スタンダードプラス**：「スタンダード」取得後、<レベル3>の「PBL演習」の単位修得をもってスタンダードプラスの認定証を取得できる。

なお、各学科で開講される科目の単位修得をもって、上記の教育プログラムの科目を修得したと認定する場合があります。修了認定証の取得を目指す者は、各学科における「みなし科目」に注意して履修計画をたてるようにしてください。みなし科目についてはWebページを参照してください。

こちらからAI・データサイエンス教育プログラムのWebページを確認してください。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/academics/aids/>



## 海外協定校連携科目群

この科目群は、国際的な視野を持ち、多様性・多文化理解力を高める人材育成を目指して設置された、全学部生が履修可能な科目群です。海外協定校で開講されている正規科目を、明治学院共通科目の中に組み込み、明治学院共通科目・学科科目（専門科目）と並行して履修することができます。また、オンライン授業形態を活用し、現地教員による講義をリアルタイムで受講しながら海外の学生と共に学べる仮想留学型の学習環境を提供します。さまざまな国の文化や価値観の理解を深め、広い国際的視野を育む学習体験を、国内にいながら実現することを目指しています。毎年、本学の海外協定校であるハワイ大学マノア校（UHM）から、年間4科目が提供されています。

### 【授業の特徴】

履修対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学の学生が履修可能</li> <li>○多文化・多様性についての理解を促進する役割を果たすプログラム</li> <li>○渡航留学を予定している学生の皆さんは、渡航留学前後の連携科目として活用できます</li> <li>○海外留学の機会がない学生の皆さんは、仮想留学体験科目として履修してみましよう</li> </ul>
授業形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海外協定校の現地教員による講義をリアルタイムで受講する仮想留学型授業形式</li> <li>○海外協定校の学習管理システム（LMS）を使って現地の学生と同様に教材や課題にアクセスし、本学生がリアルタイムで授業に参加する同期型の国際教育形式</li> </ul>
授業サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日英字幕・翻訳機能付きのオンライン会議ツールを活用し、英語講義をリアルタイムで理解できる環境を整備</li> <li>○授業後には、自動生成された字幕付き録画をすぐに視聴可能。復習・自学にも最適</li> <li>○教員とサポートスタッフがZoom操作やトラブル対応もサポート</li> <li>○横浜キャンパスではPCルームでの一斉受講も可能。学びの仲間と一緒に参加できます</li> <li>○教材や機器は大学から貸与。誰でもすぐにスタート可能な環境を提供しています</li> </ul>

### 【開講科目】

科目名・概要	レベル
<b>Academic Skills for Intercultural Competency</b> ▶アジア系移民や同化の課題を学びながら、英語4技能を高め、英語での大学授業に対応する力を育てる	1
<b>Introduction to Ethnic Studies</b> ▶ハワイの多様な文化を手がかりに、人種・民族・ジェンダーの課題を学び、多文化社会への理解を深める	2
<b>Geography of Contemporary Society</b> ▶グローバル化の影響を人・モノ・場所の動きを通して学び、現代のグローバル社会への理解を深める	2
<b>Advanced Topics in Ethnic Studies</b> ▶混血をテーマに、人種理解の新たな視点を探求し、米国・ハワイ・世界における多様性を学ぶ	2
<b>Race, Class, Gender in Popular Culture</b> ▶映画や音楽などのポピュラー文化を通して、人種・階級・ジェンダーを批判的に分析し、文章力を養う	2

※上記5科目のうち4科目が開講されます

科目に関する詳しい情報は

[https://bit.ly/mgu\\_kagai](https://bit.ly/mgu_kagai)



# 明治学院共通科目



# 明治学院共通科目の目標と方針

## 人材養成上の目的・教育目標

明治学院共通科目の主たる開講責任を負う教養教育センターは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、明治学院大学の教養教育の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

明治学院共通科目による教養教育は、「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎とし、多様な学びを通じて他者との共生をめざし、世界に生起する諸問題について柔軟かつ誠実に対処することのできる市民的教養を有する人間の育成を目的とする。そしてその実現のために、幅広い科目群で構成される教養教育の枠組みにおいて分野横断的に知見を広げ、複眼的かつ多元的な思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進する。

言語系科目群の教育においては、コミュニケーション能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解を深め、自律的な学修態度を身につけることを教育目標とする。また、言語系以外の科目群の教育においては、専門的知見の修得を通して、問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることを教育目標とする。

## 期待される学修成果

教養教育センターは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成する。学生は、所定の単位を修得することにより、次の態度、知識、能力を身につけることが期待できる。

- 1 建学の精神を理解し、多様な価値観を尊重しつつ、社会参加を通して他者への貢献を志向する態度
- 2 幅広い学問分野の基礎知識を有し、現代社会が抱えるグローバルかつローカルな諸問題に対して多面的に捉え、的確に価値の判断を行う能力
- 3 自ら発見した課題について、幅広い知見に基づいて、その解決策を適正かつ明確に提示する能力
- 4 他者とのコミュニケーションに必要な能力を身につけ、生涯にわたってそれを伸展させるための自律的学修をつづける態度

## 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

教養教育センターは、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、教養教育センターの定める「人材養成上の目的・教育目標」に沿って、「教育課程の編成および実施に関する方針」を次のとおり定める。

明治学院共通科目は、言語系科目と言語系以外の科目に大分され、さらに後者は4つの大項目、すなわち基盤教養科目群、MG教養科目群、国際総合科目群、単位認定科目群に分類される。幅広い教養の修得を目指し、学生が分野横断的かつ順次的に学修できるように、入門的な知識や見方・考え方を修得する基礎科目と、基礎的知識をもとに思考を深め、また実践する応用科目が配置されている。なお、共通科目には、科目群には分類されない特別学科科目も含まれる。

### (1) 全学必修科目

建学の精神を理解し、他者への貢献を実現するために必要な知見の修得を目指して、「明治学院・Do for Others教養系科目」に、下記の科目を開講する。

必修科目：「キリスト教の基礎（Introduction to Christianity）」を1年次に担当する。

### (2) 言語系科目群

英語によるコミュニケーション能力の向上、初習語における基礎的運用能力の育成を目指して、下記の科目を開講する。

必修科目：「英語コミュニケーション」を1年次に担当する。

留学生には、「日本語」科目を担当する。

選択必修科目：フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語を選択言語科目として担当する。留学生は、日本語以外の言語、もしくは、「日本語研究」を選択必修とする。

\* 「日本語研究」を選択必修とするのは、法律学科・消費情報環境法学科・政治学科・情報数理学科のみ。

選択科目：英語のオーラシー（聞く・話す）に加え、リテラシー（読む・書く）強化を目指して、「英語研究」を開講する。初習語学修の進展を目指して、必修科目として選択した初習語のインテンシブクラスとして「研究」を開講する。また、上記の選択必修科目に加えて、イタリア語・アラビア語・タイ語の学修を目的とした「基礎」を開講する。

初習語によるコミュニケーション能力の養成のため、「演習」を開講する。

### (3) 言語系以外の科目群

明治学院共通科目の期待される学修成果に示した1から4について、幅広い学問分野における知識と正確な判断力を涵養するため、「基盤教養科目群」、「MG教養科目群」、「国際総合科目群」、「単位認定科目群」の各科目群において諸科目を開講する。さらに、これらの大項目としての科目群は、それぞれ複数の中項目に分類され、各授業科目には、個別の授業テーマが提示される。

#### 1) 基盤教養科目群

中項目：人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目、情報科学系科目、健康・スポーツ科学系科目

#### 2) MG教養科目群

中項目：明治学院・Do for Others教養系科目、キャリア&グローバル教養系科目

#### 3) 国際総合科目群

中項目：ISP系科目、海外協定校連携科目

#### 4) 単位認定科目群

中項目：短期・中期留学認定科目、海外インターンシップ関連科目

能力要件表(明治学院共通科目 文学部)

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
1.言語系科目群							
MGENG101英語コミュニケーション1A	1	1		◎	○		
MGENG102英語コミュニケーション1B	1	1		◎	○		
MGENG103英語コミュニケーション2A	1	1		◎	○		
MGENG104英語コミュニケーション2B	1	1		◎	○		
MGFRE101フランス語1A	1	1		◎	○		
MGFRE102フランス語1B	1	1		◎	○		
MGFRE103フランス語2A	1	1		◎	○		
MGFRE104フランス語2B	1	1		◎	○		
MGCHN101中国語1A	1	1		◎	○		
MGCHN102中国語1B	1	1		◎	○		
MGCHN103中国語2A	1	1		◎	○		
MGCHN104中国語2B	1	1		◎	○		
MGGER101ドイツ語1A	1	1		◎	○		
MGGER102ドイツ語1B	1	1		◎	○		
MGGER103ドイツ語2A	1	1		◎	○		
MGGER104ドイツ語2B	1	1		◎	○		
MGSPN101スペイン語1A	1	1		◎	○		
MGSPN102スペイン語1B	1	1		◎	○		
MGSPN103スペイン語2A	1	1		◎	○		
MGSPN104スペイン語2B	1	1		◎	○		
MGRUS101ロシア語1A	1	1		◎	○		
MGRUS102ロシア語1B	1	1		◎	○		
MGRUS103ロシア語2A	1	1		◎	○		
MGRUS104ロシア語2B	1	1		◎	○		
MGKOR101韓国語1A	1	1		◎	○		
MGKOR102韓国語1B	1	1		◎	○		
MGKOR103韓国語2A	1	1		◎	○		
MGKOR104韓国語2B	1	1		◎	○		
MGJPN101日本語1A	1	1		◎	○		
MGJPN102日本語1B	1	1		◎	○		
MGJPN103日本語2A	1	1		◎	○		
MGJPN104日本語2B	1	1		◎	○		
MGENG201英語特別研究A	2	1		◎	○		
MGENG202英語特別研究B	2	1		◎	○		
MGENG211英語研究1A	2	2	○	◎	○		
MGENG212英語研究1B	2	2	○	◎	○		
MGENG213英語研究2A	2	2	○	◎	○		
MGENG214英語研究2B	2	2	○	◎	○		
MGENG215英語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGENG216英語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGFRE211フランス語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGFRE212フランス語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGFRE213フランス語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGFRE214フランス語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGFRE315フランス語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGFRE316フランス語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGFRE317フランス語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGFRE318フランス語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGCHN211中国語研究1A	2	2		◎	○	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGCHN212中国語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGCHN213中国語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGCHN214中国語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGCHN315中国語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGCHN316中国語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGCHN317中国語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGCHN318中国語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGGER211ト* 伊語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGGER212ト* 伊語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGGER213ト* 伊語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGGER214ト* 伊語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGGER315ト* 伊語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGGER316ト* 伊語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGGER317ト* 伊語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGGER318ト* 伊語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGSPN211λ* 伊語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGSPN212λ* 伊語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGSPN213λ* 伊語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGSPN214λ* 伊語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGSPN315λ* 伊語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGSPN316λ* 伊語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGSPN317λ* 伊語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGSPN318λ* 伊語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGRUS2110ハ 伊語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGRUS2120ハ 伊語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGRUS2130ハ 伊語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGRUS2140ハ 伊語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGRUS3150ハ 伊語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGRUS3160ハ 伊語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGRUS3170ハ 伊語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGRUS3180ハ 伊語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGKOR211韓国語研究1A	2	2		◎	○	○	
MGKOR212韓国語研究1B	2	2		◎	○	○	
MGKOR213韓国語研究2A	2	2		◎	○	○	
MGKOR214韓国語研究2B	2	2		◎	○	○	
MGKOR315韓国語研究3A	2	2	○	◎	○	○	
MGKOR316韓国語研究3B	2	2	○	◎	○	○	
MGKOR317韓国語研究4A	2	3	○	◎	○	○	
MGKOR318韓国語研究4B	2	3	○	◎	○	○	
MGFRE205フランス語3A	1	1		◎	○		
MGFRE206フランス語3B	1	1		◎	○		
MGFRE207フランス語4A	1	1		◎	○		
MGFRE208フランス語4B	1	1		◎	○	○	
MGCHN205中国語3A	1	1		◎	○		
MGCHN206中国語3B	1	1		◎	○		
MGCHN207中国語4A	1	1		◎	○		
MGCHN208中国語4B	1	1		◎	○		
MGGER205ト* 伊語3A	1	1		◎	○		
MGGER206ト* 伊語3B	1	1		◎	○		
MGGER207ト* 伊語4A	1	1		◎	○		
MGGER208ト* 伊語4B	1	1		◎	○		
MGSPN205λ* 伊語3A	1	1		◎	○		

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGSPN206	英 <sup>※</sup> 語3B	1	1		◎	○	
MGSPN207	英 <sup>※</sup> 語4A	1	1		◎	○	
MGSPN208	英 <sup>※</sup> 語4B	1	1		◎	○	
MGRUS205	ロシア語3A	1	1		◎	○	
MGRUS206	ロシア語3B	1	1		◎	○	
MGRUS207	ロシア語4A	1	1		◎	○	
MGRUS208	ロシア語4B	1	1		◎	○	
MGKOR205	韓国語3A	1	1		◎	○	
MGKOR206	韓国語3B	1	1		◎	○	
MGKOR207	韓国語4A	1	1		◎	○	
MGKOR208	韓国語4B	1	1		◎	○	
MGFRE111	フランス語演習初級A	1	1		◎	○	
MGFRE112	フランス語演習初級B	1	1		◎	○	
MGFRE221	フランス語演習中級A	1	1		◎	○	○
MGFRE222	フランス語演習中級B	1	1		◎	○	○
MGCHN111	中国語演習初級A	1	1		◎	○	
MGCHN112	中国語演習初級B	1	1		◎	○	
MGCHN221	中国語演習中級A	1	1		◎	○	○
MGCHN222	中国語演習中級B	1	1		◎	○	○
MGGER111	ドイツ語演習初級A	1	1		◎	○	
MGGER112	ドイツ語演習初級B	1	1		◎	○	
MGGER221	ドイツ語演習中級A	1	1		◎	○	○
MGGER222	ドイツ語演習中級B	1	1		◎	○	○
MGSPN111	英 <sup>※</sup> 語演習初級A	1	1		◎	○	
MGSPN112	英 <sup>※</sup> 語演習初級B	1	1		◎	○	
MGSPN221	英 <sup>※</sup> 語演習中級A	1	1		◎	○	○
MGSPN222	英 <sup>※</sup> 語演習中級B	1	1		◎	○	○
MGKOR111	韓国語演習初級A	1	1		◎	○	
MGKOR112	韓国語演習初級B	1	1		◎	○	
MGKOR221	韓国語演習中級A	1	1		◎	○	○
MGKOR222	韓国語演習中級B	1	1		◎	○	○
MGITA101	イタリア語の基礎A	1	1		◎	○	
MGITA102	イタリア語の基礎B	1	1		◎	○	
MGARB101	アラビア語の基礎A	1	1		◎	○	
MGARB102	アラビア語の基礎B	1	1		◎	○	
MGTHA101	タイ語の基礎A	1	1		◎	○	
MGTHA102	タイ語の基礎B	1	1		◎	○	
MGGRE101	ロシア語研究A	2	1		◎	○	
MGGRE102	ロシア語研究B	2	1		◎	○	
MGLAT101	フランス語研究A	2	1		◎	○	
MGLAT102	フランス語研究B	2	1		◎	○	
MGSIG101	手話1	2	1		◎	○	
MGSIG202	手話2	2	1		◎	○	
MGJPN205	日本語3A	1	2		◎	○	
MGJPN206	日本語3B	1	2		◎	○	
MGJPN207	日本語4A	1	2		◎	○	
MGJPN208	日本語4B	1	2		◎	○	
MGJPN211	日本語研究1A	2	2		◎	○	
MGJPN212	日本語研究1B	2	2		◎	○	
MGJPN213	日本語研究2A	2	2		◎	○	
MGJPN214	日本語研究2B	2	2		◎	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGJPN215日本語研究3A		2	2		◎	○	
MGJPN216日本語研究3B		2	2		◎	○	
2.基盤教養科目群							
1.人文科学系科目							
MGPHI101哲学史1		2	1	◎	○	○	○
MGPHI102哲学史2		2	1	◎	○	○	○
MGPHI201哲学各論1		2	1	○	◎	○	○
MGPHI202哲学各論2		2	1	○	◎	○	○
MGPHI211科学思想1		2	1	○	◎	○	○
MGPHI212科学思想2		2	1	○	◎	○	○
MGETH101倫理学入門1		2	1	◎	○	○	○
MGETH102倫理学入門2		2	1	◎	○	○	○
MGETH201倫理学各論1		2	1	○	◎	○	○
MGETH202倫理学各論2		2	1	○	◎	○	○
MGETH203倫理学各論3		2	1	○	◎	○	○
MGETH204倫理学各論4		2	1	○	◎	○	○
MGLOG101論理学概論1		2	1	◎	○	○	○
MGLOG102論理学概論2		2	1	◎	○	○	○
MGLOG201伝統論理学1		2	1	○	◎	○	○
MGLOG202伝統論理学2		2	1	○	◎	○	○
MGLOG211現代論理学1		2	1	○	◎	○	○
MGLOG212現代論理学2		2	1	○	◎	○	○
MGLIN101言語科学の基礎1		2	1	◎	○	○	○
MGLIN102言語科学の基礎2		2	1	◎	○	○	○
MGLIN103言語科学の基礎3		2	1	◎	○	○	○
MGLIN104言語科学の基礎4		2	1	◎	○	○	○
MGPSY101心理学入門1		2	1	◎	○		○
MGPSY102心理学入門2		2	1	◎	○		○
MGPSY201心理学各論1		2	2	○	◎		○
MGPSY202心理学各論2		2	2	○	◎		○
MGPSY203心理学各論3		2	2	○	◎		○
MGPSY204心理学各論4		2	2	○	◎		○
MGEDU101教育学の基礎1		2	1	◎			
MGEDU102教育学の基礎2		2	1	◎			
MGART101芸術学の基礎1		2	1	◎	○		
MGART102芸術学の基礎2		2	1	◎	○		
MGART201芸術学各論1		2	1	◎	○		
MGART202芸術学各論2		2	1	◎	○		
MGART203芸術学各論3		2	1	◎	○		
MGART204芸術学各論4		2	1	◎	○		
MGART205芸術学各論5		2	1	◎	○		
MGART206芸術学各論6		2	1	◎	○		
MGJPL101日本文学概論1		2	1	◎	○	○	
MGJPL102日本文学概論2		2	1	◎	○	○	
MGJPL201日本文学講読1		2	1	○	○	◎	
MGJPL202日本文学講読2		2	1	○	○	◎	
MGJPL203日本文学講読3		2	1	○	○	◎	
MGJPL204日本文学講読4		2	1	○	○	◎	
MGJPS101日本文化論入門1		2	1	◎		○	○
MGJPS102日本文化論入門2		2	1	◎		○	○
MGJPS103日本文化論入門3		2	1	◎		○	○
MGJPS104日本文化論入門4		2	1	◎		○	○

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGJPS201	日本文化特論1	2	1			◎	○
MGJPS202	日本文化特論2	2	1			◎	○
MGEUC1013	言語圏の文化入門1	2	1	◎	○	○	
MGEUC1023	言語圏の文化入門2	2	1	◎	○	○	
MGEUC1033	言語圏の文化入門3	2	1	◎	○	○	
MGEUC1043	言語圏の文化入門4	2	1	◎	○	○	
MGEUC1053	言語圏の文化入門5	2	1	◎	○	○	
MGEUC1063	言語圏の文化入門6	2	1	◎	○	○	
MGEUC1113	言語圏の文化各論1	2	1	◎	○	○	
MGEUC1123	言語圏の文化各論2	2	1	◎	○	○	
MGEUC1133	言語圏の文化各論3	2	1	◎	○	○	
MGEUC1143	言語圏の文化各論4	2	1	◎	○	○	
MGEUC1153	言語圏の文化各論5	2	1	◎	○	○	
MGEUC1163	言語圏の文化各論6	2	1	◎	○	○	
MGASC101	7言語圏の文化入門1	2	1	◎	○	○	
MGASC102	7言語圏の文化入門2	2	1	◎	○	○	
MGASC103	7言語圏の文化入門3	2	1	◎	○	○	
MGASC104	7言語圏の文化入門4	2	1	◎	○	○	
MGASC111	7言語圏の文化各論1	2	1	◎	○	○	
MGASC112	7言語圏の文化各論2	2	1	◎	○	○	
MGASC113	7言語圏の文化各論3	2	1	◎	○	○	
MGASC114	7言語圏の文化各論4	2	1	◎	○	○	
2.社会科学系科目							
MGLAW101	法学(日本国憲法を含む) 1	2	1	◎	○		○
MGLAW102	法学(日本国憲法を含む) 2	2	1	◎	○		○
MGPOS101	政治学1	2	1	◎	○		○
MGPOS102	政治学2	2	1	◎	○		○
MGSOC101	社会学理論の基礎1	2	1	○	◎	○	
MGSOC102	社会学理論の基礎2	2	1	○	◎	○	
MGSOC111	文化とメディアの社会学入門1	2	1		◎	○	
MGSOC112	文化とメディアの社会学入門2	2	1		◎	○	
MGSOC121	生命とアイデンティティの社会学入門1	2	1		◎	○	
MGSOC122	生命とアイデンティティの社会学入門2	2	1		◎	○	
MGSOC131	環境とコミュニティの社会学入門1	2	1		◎	○	
MGSOC132	環境とコミュニティの社会学入門2	2	1		◎	○	
MGSWS101	社会福祉学1	2	1	◎			○
MGSWS102	社会福祉学2	2	1	◎			○
MGECN101	経済学1	2	1	◎		○	○
MGECN102	経済学2	2	1	◎		○	○
MGSTA101	統計学1	2	1	◎			○
MGSTA102	統計学2	2	1	◎			○
MGSTA103	統計学3	2	1	◎			○
MGSTA104	統計学4	2	1	◎			○
MGHIS201	歴史学1	2	1	○	○	◎	○
MGHIS202	歴史学2	2	1	○	○	◎	○
MGHIS203	歴史学3	2	1	○	○	◎	○
MGHIS204	歴史学4	2	1	○	○	◎	○
MGHIS205	歴史学5	2	1	○	○	◎	○
MGHIS206	歴史学6	2	1	○	○	◎	○
MGHIS211	歴史学の世界1	2	1	○	○	◎	○
MGHIS212	歴史学の世界2	2	1	○	○	◎	○
MGGEO101	人文地理学入門1	2	1	◎	○		

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGGEO102人文地理学入門2	2	1	◎	○			
MGGEO201人文地理学1	2	1	○	◎	○		
MGGEO202人文地理学2	2	1	○	◎	○		
MGGEO203人文地理学3	2	1	○	◎	○		
MGGEO204人文地理学4	2	1	○	◎	○		
MGGEO205人文地理学5	2	1	○	◎	○		
MGGEO206人文地理学6	2	1	○	◎	○		
MGANT101文化人類学入門1	2	1	○	○	◎		○
MGANT102文化人類学入門2	2	1	○	○	◎		○
MGANT201文化人類学各論1	2	1	○	○	◎		○
MGANT202文化人類学各論2	2	1	○	○	◎		○
MGSOS101社会科学概論1	2	1	○	○	◎		○
MGSOS102社会科学概論2	2	1	○	○	◎		○
MGSOS103社会科学概論3	2	1	○	○	◎		○
MGSOS104社会科学概論4	2	1	○	○	◎		○
3.自然科学系科目							
MGMAT101数学入門1	2	1	◎	○		○	
MGMAT102数学入門2	2	1	◎	○		○	
MGMAT111数学1	2	1	◎	○		○	
MGMAT112数学2	2	1	◎	○		○	
MGMAT113数学3	2	1	◎	○		○	
MGMAT114数学4	2	1	◎	○		○	
MGMAT211数学特論1	2	1	○	○		◎	
MGMAT212数学特論2	2	1	○	○		◎	
MGPHY101物理学入門1	2	1	◎	○		○	○
MGPHY102物理学入門2	2	1	◎	○		○	○
MGPHY103物理学入門3	2	1	◎	○		○	○
MGPHY201現代の物理学1	2	1	◎	○		○	○
MGPHY202現代の物理学2	2	1	◎	○		○	○
MGPHY203現代の物理学3	2	1	◎	○		○	○
MGPHY211物理学特論	2	1	○	○		○	◎
MGPHY121物理学方法論A	2	1	○	○		○	◎
MGPHY122物理学方法論B	2	1	○	○		○	◎
MGCHE101化学入門1	2	1	◎	○			
MGCHE102化学入門2	2	1	◎	○			
MGCHE201現代の化学1	2	1	◎	○			
MGCHE202現代の化学2	2	1	◎	○			
MGCHE203現代の化学3	2	1	◎	○			
MGCHE204現代の化学4	2	1	◎	○			
MGCHE121化学方法論A	2	1	○			○	◎
MGCHE122化学方法論B	2	1	○			○	◎
MGBIO101生物学入門1	2	1	◎	○		○	○
MGBIO102生物学入門2	2	1	◎	○		○	○
MGBIO201現代の生物学1	2	1	◎	○		○	○
MGBIO202現代の生物学2	2	1	◎	○		○	○
MGBIO203現代の生物学3	2	1	◎	○		○	○
MGBIO204現代の生物学4	2	1	◎	○		○	○
MGBIO205現代の生物学5	2	1	◎	○		○	○
MGBIO211生物学特論	2	1	○	○	◎	○	
MGBIO121生物学方法論A	2	1	○	○		○	◎
MGBIO122生物学方法論B	2	1	○	○		○	◎
MGLIS101生命科学入門1	2	1	◎	○			

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGLIS102生命科学入門2	2	1	◎	○			
MGLIS201生命科学各論1	2	1	◎	○			
MGLIS202生命科学各論2	2	1	◎	○			
MGLIS203生命科学各論3	2	1	◎	○			
MGLIS211生命科学特論	2	1	○	○		○	◎
MGLIS121生命科学方法論A	2	1	○	○		○	◎
MGLIS122生命科学方法論B	2	1	○	○		○	◎
4.情報科学系科目							
MGC0M101コンピュータリテラシー1	2	1	◎	○		○	
MGC0M102コンピュータリテラシー2	2	1	◎	○		○	
MGC0M201コンピュータリテラシー研究1A	2	1	◎	○		○	
MGC0M202コンピュータリテラシー研究1B	2	1	◎	○		○	
MGC0M203コンピュータリテラシー研究2A	2	1	◎	○		○	
MGC0M204コンピュータリテラシー研究2B	2	1	◎	○		○	
MGC0M211情報科学1	2	1	◎	○		○	
MGC0M212情報科学2	2	1	◎	○		○	
MGC0M213情報科学3	2	1	◎	○		○	
MGC0M214情報科学4	2	1	◎	○		○	
MGAID101AI・データサイエンス入門	2	1	◎	○		○	○
MGAID201データ解析・活用入門	2	1	◎	○		○	○
MGAID202データサイエンス入門	2	1	◎	○		○	○
MGAID203AIと人間	2	1	◎	○		○	
MGAID301データ解析・活用基礎	2	2	◎	○		○	○
MGAID302AI基礎	2	2	◎	○		○	○
MGAID303PBL演習	2	3		○	○	○	◎
5.健康・スポーツ科学系科目							
MGHSS101健康科学概論1	2	1	◎			○	○
MGHSS102健康科学概論2	2	1	◎			○	○
MGHSS111スポーツ科学概論1	2	1	◎			○	○
MGHSS112スポーツ科学概論2	2	1	◎			○	○
MGHSS121スポーツ社会学概論1	2	1	◎			○	○
MGHSS122スポーツ社会学概論2	2	1	◎			○	○
MGHSS131スポーツ方法学1	2	1		◎	○	○	○
MGHSS132スポーツ方法学2	2	1		◎	○	○	○
MGHSS133スポーツ方法学3	2	1		◎	○	○	○
MGHSS134スポーツ方法学4	2	1		◎	○	○	○
MGHSS201トレーニング科学理論・実習1	2	1	○		○	○	◎
MGHSS202トレーニング科学理論・実習2	2	1	○		○	○	◎
MGHSS211バイオメカニクス理論・実習1	2	1	○			○	◎
MGHSS212バイオメカニクス理論・実習2	2	1	○			○	◎
MGHSS141シズメンスポーツ研究1A	2	1		◎	○	○	○
MGHSS143シズメンスポーツ研究2A	2	1		◎	○	○	○
MGHSS145シズメンスポーツ研究3A	2	1		◎	○	○	○
MGHSS242シズメンスポーツ研究1B	2	1		○	◎	○	○
MGHSS244シズメンスポーツ研究2B	2	1		○	◎	○	○
MGHSS246シズメンスポーツ研究3B	2	1		○	◎	○	○
3.MG教養科目群							
1.明治学院・Do for Others教養系科目							
MGCHR101キリスト教の基礎A	2	1	◎				
MGCHR102キリスト教の基礎B	2	1	◎				
MGCHR201聖書の世界1	2	2	◎				
MGCHR202聖書の世界2	2	2	◎				

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGCHR203聖書の世界3	2	2	◎				
MGCHR204聖書の世界4	2	2	◎				
MGCHR211初教の思想と文化1	2	1			◎		
MGCHR212初教の思想と文化2	2	1			◎		
MGCHR213初教の思想と文化3	2	1			◎		
MGCHR214初教の思想と文化4	2	1			◎		
MGCHR221宗教史1	2	1	◎				
MGCHR222宗教史2	2	1	◎				
MGCHR223宗教史3	2	1	◎				
MGCHR224宗教史4	2	1	◎				
MGCHR231現代社会と初教1	2	1				○	◎
MGCHR232現代社会と初教2	2	1				○	◎
MGCHR233現代社会と初教3	2	1				○	◎
MGCHR234現代社会と初教4	2	1				○	◎
MGIND141現代平和研究1	2	1	○	○	◎	○	
MGIND142現代平和研究2	2	1	○	○	◎	○	
MGIND143現代平和研究3	2	1	○	○	◎		○
MGMGS101明治学院研究1	2	1	◎				
MGMGS202明治学院研究2	2	1	◎				
MGMGS203明治学院研究3	2	1	◎				
MGVOL101初級ラテン語入門1	2	1		○	◎		○
MGVOL102初級ラテン語入門2	2	1		○	◎		○
MGVOL103初級ラテン語入門3	2	1		○	◎		○
MGVOL104初級ラテン語入門4	2	1		○	◎		○
MGPIO101初級英語実習1	2	2	◎				
MGPIO202初級英語実習2	2	2	◎				
2.キャリア&グローバル教養系科目							
MGIND101現代世界と人間1	2	1		○	◎	○	
MGIND102現代世界と人間2	2	1		○	◎	○	
MGIND103現代世界と人間3	2	1		○	◎	○	
MGIND104現代世界と人間4	2	1		○	◎	○	
MGIND105現代世界と人間5	2	1		○	◎	○	
MGIND106現代世界と人間6	2	1		○	◎	○	
MGIND111現代社会と教養1	2	1		○	◎	○	
MGIND112現代社会と教養2	2	1		○	◎	○	
MGIND121多文化共生入門1	2	1		○	◎	○	○
MGIND122多文化共生入門2	2	1		○	◎	○	○
MGIND201多文化共生各論1	2	1		○	◎	○	○
MGIND202多文化共生各論2	2	1		○	◎	○	○
MGIND203多文化共生各論3	2	1		○	◎	○	○
MGIND204多文化共生各論4	2	1		○	◎	○	○
MGIND131グローバルビジネスシミュレーション入門1	2	1		○	○	◎	○
MGIND132グローバルビジネスシミュレーション入門2	2	1		○	○	◎	○
MGIND211グローバルビジネスシミュレーション各論1	2	1		○	○	◎	○
MGIND212グローバルビジネスシミュレーション各論2	2	1		○	○	◎	○
MGIND213グローバルビジネスシミュレーション各論3	2	1		○	○	◎	○
MGIND214グローバルビジネスシミュレーション各論4	2	1		○	○	◎	○
MGIND221キャリアデザイン1	2	1		◎	○		
MGIND222キャリアデザイン2	2	1		◎	○		
MGIND223キャリアデザイン3	2	1		◎	○		
MGIND224キャリアデザイン4	2	1		◎	○		
MGVOL121初級ラテン語・市民活動論(国内)1A	2	1		○	◎	○	

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGVOL122	ボランティア・市民活動論(海外)2A	2	1		○	◎	○
MGVOL223	ボランティア・市民活動論(国内)1B	2	1			○	◎
MGVOL224	ボランティア・市民活動論(海外)2B	2	2			○	◎
MGVOL231	ボランティア・市民活動実習(国内)	2	1			○	◎
MGVOL232	ボランティア・市民活動実習(海外)	2	2			○	◎
MGVOL301	ボランティア・市民活動研究(国内)	2	2		○		◎
MGVOL302	ボランティア・市民活動研究(海外)	2	2		○		◎
MGVOL211	ワークショップ 論1	2	1		○	○	◎
MGVOL212	ワークショップ 論2	2	1		○	○	◎
MGVOL241	ソーシャル・ビジネス 初論1	2	3	○		○	◎
MGVOL242	ソーシャル・ビジネス 初論2	2	3	○		○	◎
MGVOL251	非営利組織マネジメント1	2	3		○	○	◎
MGVOL252	非営利組織マネジメント2	2	3		○	○	◎
MGVOL111	グローバル社会と市民活動入門1	2	1		○	◎	○
MGVOL112	グローバル社会と市民活動入門2	2	1		○	◎	○
MGVOL201	グローバル社会と市民活動1	2	1		○	○	◎
MGVOL202	グローバル社会と市民活動2	2	1		○	○	◎
MGACW101	アカデミック・ライティングの基礎	2	1		◎	○	○
MGACW201	アカデミック・ライティング 演習1	2	1		◎	○	○
MGACW202	アカデミック・ライティング 演習2(留学生専用)	2	1		◎	○	○
MGLCD101	ライティング 1	2	1		○	○	◎
MGLCD202	ライティング 2	2	2		○	○	◎
MGLCD203	ライティング 3	2	3		○	○	◎
MGLCD204	ライティング 4	2	3		○	○	◎
MGLCD111	キャリアデザイン1	2	2		○	◎	○
MGLCD212	キャリアデザイン2	2	2		○	◎	○
MGCCS101	日本の社会と文化1A	2	1		○	◎	○
MGCCS102	日本の社会と文化1B	2	1		○	◎	○
MGCCS103	日本の社会と文化2A	2	1		○	◎	○
MGCCS104	日本の社会と文化2B	2	1		○	◎	○
MGCCS105	日本の社会と文化3A	2	1		○	◎	○
MGCCS106	日本の社会と文化3B	2	1		○	◎	○
MGCCS111	異文化コミュニケーション研究A	2	1		○	◎	○
MGCCS112	異文化コミュニケーション研究B	2	1		○	◎	○
MGENV101	環境学各論1	2	1	◎	○		○
MGENV102	環境学各論2	2	1	◎	○		○
MGENV103	環境学各論3	2	1	○	○		◎
MGENV104	環境学各論4	2	1	○	○		◎
MGSUS101	サステイナビリティ学1	2	1		◎	○	○
MGSUS102	サステイナビリティ学2	2	1		◎	○	○
MGSUS103	サステイナビリティ学3	2	1		◎	○	○
MGSUS104	サステイナビリティ学4	2	1		◎	○	○
MGSEM301	アジア・日本研究A	2	3		◎	○	○
MGSEM302	アジア・日本研究B	2	3		◎	○	○
MGSEM311	ヨーロッパ文化圏研究A	2	3		◎	○	○
MGSEM312	ヨーロッパ文化圏研究B	2	3		◎	○	○
MGSEM321	現代科学研究A	2	3		○	○	◎
MGSEM322	現代科学研究B	2	3		○	○	◎
MGSEM331	現代社会研究A	2	3		◎	○	○
MGSEM332	現代社会研究B	2	3		◎	○	○

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
<b>4.国際総合科目群</b>							
<b>1.ISP系科目</b>							
MGINT201	Japanese Arts and Culture 1	2	1	◎	○	○	
MGINT202	Japanese Arts and Culture 2	2	1	◎	○	○	
MGINT203	Japanese Arts and Culture 3	2	1	◎	○	○	
MGINT204	Japanese Arts and Culture 4	2	1	◎	○	○	
MGINT205	Japanese Arts and Culture 5	2	1	◎	○	○	
MGINT206	Japanese Arts and Culture 6	2	1	◎	○	○	
MGINT211	Japanese History 1	2	1	◎	○	○	
MGINT212	Japanese History 2	2	1	◎	○	○	
MGINT213	Japanese History 3	2	1	◎	○	○	
MGINT214	Japanese History 4	2	1	◎	○	○	
MGINT215	Japanese History 5	2	1	◎	○	○	
MGINT216	Japanese History 6	2	1	◎	○	○	
MGINT221	Japanese Society 1	2	1	◎	○	○	
MGINT222	Japanese Society 2	2	1	◎	○	○	
MGINT223	Japanese Society 3	2	1	◎	○	○	
MGINT224	Japanese Society 4	2	1	◎	○	○	
MGINT225	Japanese Society 5	2	1	◎	○	○	
MGINT226	Japanese Society 6	2	1	◎	○	○	
MGINT231	Multilingualism and Multiculturalism 1	2	1	◎	○	○	
MGINT232	Multilingualism and Multiculturalism 2	2	1	◎	○	○	
MGINT233	Multilingualism and Multiculturalism 3	2	1	◎	○	○	
MGINT234	Multilingualism and Multiculturalism 4	2	1	◎	○	○	
MGINT241	Current Issues 1	2	1	◎	○	○	
MGINT242	Current Issues 2	2	1	◎	○	○	
MGINT243	Current Issues 3	2	1	◎	○	○	
MGINT244	Current Issues 4	2	1	◎	○	○	
<b>2.海外協定校連携科目</b>							
MGUHM101	Academic Skills for Intercultural Competency	4	1		○	◎	
MGUHM201	Introduction to Ethnic Studies	4	1	○		◎	
MGUHM202	Geography of Contemporary Society	4	1	○		◎	
MGUHM203	Advanced Topics in Ethnic Studies	4	1	○		◎	
MGUHM204	Race, Class, Gender in Popular Culture	4	1	○		◎	
<b>5.単位認定科目群</b>							
<b>1.短期・中期留学認定科目</b>							
MGRES101	ヨーロッパ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES102	アジア研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES103	アメリカ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES104	イギリス研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES105	フランス研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES106	アフリカ研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES107	韓国研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES108	中国語圏研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES109	中国語圏研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES110	ロシア研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES111	東南アジア研究(短期留学)	4	1	○	◎		○
MGRES121	アメリカ研究(中期留学)基礎1	1	1	○	◎		○
MGRES122	アメリカ研究(中期留学)基礎2	1	1	○	◎		○
MGRES123	アメリカ研究(中期留学)基礎3	1	1	○	◎		○
MGRES124	アメリカ研究(中期留学)基礎4	1	1	○	◎		○
MGRES125	アメリカ研究(中期留学)基礎5	1	1	○	◎		○

学士力			知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」			期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力			現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名		単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○			
MGRES1267	アメリカ研究(中期留学)基礎6	1	1	○	◎		○
MGRES2217	アメリカ研究(中期留学)応用1	2	1	○	◎		○
MGRES2227	アメリカ研究(中期留学)応用2	2	1	○	◎		○
MGRES2237	アメリカ研究(中期留学)応用3	2	1	○	◎		○
MGRES2247	アメリカ研究(中期留学)応用4	2	1	○	◎		○
MGRES2257	アメリカ研究(中期留学)応用5	2	1	○	◎		○
MGRES2267	アメリカ研究(中期留学)応用6	2	1	○	◎		○
MGRES3217	アメリカ研究(中期留学)発展1	3	1	○	◎		○
MGRES3227	アメリカ研究(中期留学)発展2	3	1	○	◎		○
MGRES3237	アメリカ研究(中期留学)発展3	3	1	○	◎		○
MGRES3247	アメリカ研究(中期留学)発展4	3	1	○	◎		○
MGRES3257	アメリカ研究(中期留学)発展5	3	1	○	◎		○
MGRES3267	アメリカ研究(中期留学)発展6	3	1	○	◎		○
2.海外インターンシップ関連科目							
MGITS101	海外インターンシップ 課題研究A	2	1		○	○	○ ◎
MGITS102	海外インターンシップ 課題研究B	2	1		○	○	○ ◎
MGITS201	海外インターンシップ A	4	1		○	○	○ ◎
MGITS202	海外インターンシップ B	4	1		○	○	○ ◎
6.特別学科科目							
SGBAS101	社会学概論A	2	1	◎	○	○	
SGBAS102	社会学概論B	2	1	◎	○	○	
SGINT201	内なる国際化論A	2	3	○	○	◎	○
SGINT202	内なる国際化論B	2	3	○	○	◎	○
SGINT203	ボランティア実践指導	4	3		○	◎	○

## 履修上の注意

- ①A・Bあるいは1～6はそれぞれ独立した科目である。なお、原則としてA・Bは、同一曜時限の同一担当者のクラスを履修することとする。
- ②A・Bは原則としてその順序で履修する（いずれかのみ履修の可否、あるいは両方の履修の要否は科目ごとに指示することとするが、1～6は特に指示された場合を除き、どの順序で履修しても差し支えない。また、1～6の全てを履修する必要はない。なお、同学期中に1～6の番号の異なる複数の授業を履修してもよい。
- ③以下の表の配当年次とは、その科目を履修できる下限の年次を示したものである。1年次配当科目とは、1年次以上の学生が履修できることを意味している。
- ④特に指示がある科目を除き、同一科目が同一学期の異なる曜時限に複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。  
(例：「MGEUC101ヨーロッパ言語圏の文化入門1」が月曜1限と月曜2限に開講されている場合、履修できるのは片方のみ)  
また、一度単位修得した科目は原則再度履修することはできない。  
(例：「MGGEO101人文地理学入門1」を春学期に単位修得した場合、秋学期に再度同一科目を履修することはできない。)
- ⑤修得可能な単位数は、学科ごとに定められている。『履修要項』での説明を参照すること。
- ⑥履修可能なクラスの開講学期等については、Port Hepburnの時間割表（開講科目情報）で、各自が所属する学科・入学年度の時間割表を参照すること。
- ⑦学生は自身の興味関心にしたがって所定のルールの範囲内で自由に履修することができるが、関連する科目を有機的に履修することにより、学修の幅をもたせることが可能である。その理想的な「モデル」として各テーマに沿った「仮想コース」  
(「アジア地域研究入門コース」・「Do for Others とボランティア・市民活動コース」・「多文化共生コース」・「持続可能な社会コース」) が設定されている。なお、詳細は教養教育センターホームページを参照すること。
- ⑧履修中止制度について、本履修要項中の学修の手引き「履修」の『7. 履修中止制度』の履修中止ができない科目は、「各学科で定める履修中止できない科目」にあたる明治学院共通科目の選択科目は以下のとおり定める。  
MGVOL211 ワークショップ論1  
MGVOL212 ワークショップ論2  
MGUHM101 Academic Skills for Intercultural Competency  
MGUHM201 Introduction to Ethnic Studies  
MGUHM202 Geography of Contemporary Society  
MGUHM203 Advanced Topics in Ethnic Studies  
MGUHM204 Race, Class, Gender in Popular Culture

## はじめに

- ・「キリスト教の基礎A・B」は全学必修のキリスト教関連科目である。A・Bそれぞれ2単位、計4単位を修得しなければならない。
- ・初習語とは、フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語をいう。「〇〇語」1A・1B・2A・2Bについては、可能な限り1年次での単位修得が望ましい。原則として、入学時に選択した「初習語」は他の言語へ変更することはできない。

**英文学科** — フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語のうちから、いずれか1言語を選択し、8単位（言語系科目群「〇〇語」1A・1B・2A・2B計4単位と「〇〇語研究」1A・1B・2A・2Bの中から4単位の計8単位）を修得しなければならない。なお、必修の8単位を超過して修得した場合は、明治学院共通科目の選択（16単位）に算入される。

**フランス文学科** — 「フランス語」1A・1B・2A・2Bおよび「フランス語研究」1A・1B・2A・2B（計12単位）と「英語コミュニケーション」1A・1B・2A・2B（計4単位）を修得しなければならない。必修の「フランス語」および「英語コミュニケーション」以外の外国語を修得した場合は、単位群⑤（自由選択）または単位群⑥（明治学院共通科目および学科科目）に算入される。

**芸術学科** — 英語4単位（「英語コミュニケーション」1A・1B・2A・2B）のほか、フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語から1言語を選択し8単位を修得しなければならない（内訳は言語系科目群「〇〇語」1A・1B・2A・2B計4単位と「〇〇語研究」1A・1B・2A・2Bの中から4単位）。音楽学コース、美術史学（西洋）コースへの所属を検討している場合、「初習語」としてドイツ語もしくはフランス語を選択することを推奨する。必修の英語（4単位）および選択必修の初習語（同一言語で8単位）以外の外国語を修得した場合は、単位群⑥（自由選択）または、単位群⑦（明治学院共通科目および学科科目）に算入される。

なお、留学生については、日本語4単位（「日本語」1A・1B・2A・2B）のほか、フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語から母語以外の1言語を選択し8単位を修得すること。「英語コミュニケーション」については、選択科目として履修可能とする。

### 文学部各学科の履修一覧

	キリスト教の基礎	英語コミュニケーション	フランス語	中国語	ドイツ語	スペイン語	ロシア語	韓国語	日本語
英文学科	●	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×
	必修	履修不可	初習語として、いずれか一言語（4単位）を選択必修						履修不可
フランス文学科	●	●	●	○	○	○	○	○	×
	必修	必修	必修	選択科目として履修可能					履修不可
芸術学科	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	留学生用
	必修	必修	初習語として、いずれか一言語（4単位）を選択必修						
芸術学科 留学生	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●
	必修	初習語として、いずれか一言語（4単位）を選択必修（母語以外）							必修

・表においては、●：必修 ◎：選択必修 ○：選択 ×：履修不可 を表す。

## 文学部各学科の選択必修指定科目区分一覧

選択必修として指定されている科目区分（◎が記された科目区分）から、それぞれ2単位以上の単位を修得しなければならない。

選択必修の超過単位数の扱い・選択科目の単位数は学科により異なるため、必ず各学科の「卒業までに必要な単位数の表」も参照すること。

	人文科学系科目	社会科学系科目	自然科学系科目	情報科学系科目	健康・スポーツ科学系科目	明治学院・Do for Others教養系科目	キャリア&グローバル教養系科目
英文学科 フランス文学科	◎	◎		◎			◎
芸術学科	◎	◎				◎	◎

### 1. [必修科目（明治学院・Do for Others教養系科目）]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	101～102	キリスト教の基礎A・B	1	各2	1年次

### 2. [必修・選択必修科目（言語系科目群）]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	101～104	英語コミュニケーション1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGFRE	101～104	フランス語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGCHN	101～104	中国語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGGER	101～104	ドイツ語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGSPN	101～104	スペイン語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGRUS	101～104	ロシア語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGKOR	101～104	韓国語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次
MGJPN	101～104	日本語1A・1B・2A・2B	1	各1	1年次

- ・英語以外の言語について、大学入学以前に既に学習している言語を選択する際には必ず教務課窓口にご相談すること。  
相談の結果、許可された者は上記の「〇〇語」1A・1B・2A・2Bではなく、「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修することになる。
- ・また、英文学科、芸術学科においては、1年次に「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修した者は、2年次に「〇〇語研究」3A・3B・4A・4Bから4単位修得することが必要になる。

## 科目の分類

### 「〇〇語演習」

- ・必修科目として選択した初習語と同じ言語について、コミュニケーション力向上を目指す。
- ・選択した「〇〇語」1A・1B・2A・2Bとの同時履修を原則とする。
- ・この科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。
- ・「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修を許可された者は、同一言語の「〇〇語演習初級」A・Bは履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	111～112	フランス語演習初級A・B	1	各1	1年次
	221～222	フランス語演習中級A・B	2	各1	1年次
MGCHN	111～112	中国語演習初級A・B	1	各1	1年次
	221～222	中国語演習中級A・B	2	各1	1年次
MGGER	111～112	ドイツ語演習初級A・B	1	各1	1年次
	221～222	ドイツ語演習中級A・B	2	各1	1年次
MGSPN	111～112	スペイン語演習初級A・B	1	各1	1年次
	221～222	スペイン語演習中級A・B	2	各1	1年次
MGKOR	111～112	韓国語演習初級A・B	1	各1	1年次
	221～222	韓国語演習中級A・B	2	各1	1年次

### 「〇〇語研究」・「英語特別研究」

- ・「〇〇語研究」は、英語および必修科目で選択した初習語について、次年度以降も学修を継続することを希望する学生のためのインテンシブクラスである。「〇〇語研究」1A・1B・2A・2B・3A・3Bは2年次から、「〇〇語研究」4A・4Bは3年次以上から履修が可能となる。いずれも2単位科目である。原則として、A・Bセットで履修すること。履修者数の制限があるため、履修者が超過した場合、必修履修者が優先となることがある。
- ・履修に際し一定の語学力が必要とされるため、「英語コミュニケーション」1A・1B・2A・2Bの計4単位を未修得の者が、「英語研究」を履修することは望ましくない。また、「英語コミュニケーション」が必修ではない学生が履修を希望する場合は、初回の授業に必ず出席して履修許可を得ることが必要である。
- ・必修科目、および選択必修科目として選んだ「〇〇語」1A・1B・2A・2Bの計4単位を未修得の者が、「〇〇語研究」を履修することは望ましくない。
- ・「英語特別研究」A・Bは、1年次で「英語コミュニケーション」に加えてリテラシー（読み・書き）を強化することを希望する学生のためのインテンシブクラスである。
- ・これらの科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	201～202	英語特別研究A・B	2	各2	1年次
	211～216	英語研究1A・1B・2A・2B・3A・3B	2	各2	2年次
MGFRE	211～214	フランス語研究1A・1B・2A・2B	2	各2	2年次
	315～316	フランス語研究3A・3B	3	各2	2年次
	317～318	フランス語研究4A・4B	3	各2	3年次
MGCHN	211～214	中国語研究1A・1B・2A・2B	2	各2	2年次
	315～316	中国語研究3A・3B	3	各2	2年次
	317～318	中国語研究4A・4B	3	各2	3年次

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGGER	211～214	ドイツ語研究1A・1B・2A・2B	2	各2	2年次
	315～316	ドイツ語研究3A・3B	3	各2	2年次
	317～318	ドイツ語研究4A・4B	3	各2	3年次
MGSPN	211～214	スペイン語研究1A・1B・2A・2B	2	各2	2年次
	315～316	スペイン語研究3A・3B	3	各2	2年次
	317～318	スペイン語研究4A・4B	3	各2	3年次
MGRUS	211～214	ロシア語研究1A・1B・2A・2B	2	各2	2年次
	315～316	ロシア語研究3A・3B	3	各2	2年次
	317～318	ロシア語研究4A・4B	3	各2	3年次
MGKOR	211～214	韓国語研究1A・1B・2A・2B	2	各2	2年次
	315～316	韓国語研究3A・3B	3	各2	2年次
	317～318	韓国語研究4A・4B	3	各2	3年次

### 「〇〇語」3A・3B・4A・4B

・必修科目として選択した言語の既習者用のクラスであり、国際学科生以外は自由に履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	205～208	フランス語3A・3B・4A・4B	2	各1	1年次
MGCHN	205～208	中国語3A・3B・4A・4B	2	各1	1年次
MGGER	205～208	ドイツ語3A・3B・4A・4B	2	各1	1年次
MGSPN	205～208	スペイン語3A・3B・4A・4B	2	各1	1年次
MGRUS	205～208	ロシア語3A・3B・4A・4B	2	各1	1年次
MGKOR	205～208	韓国語3A・3B・4A・4B	2	各1	1年次

### 「〇〇語の基礎」および西洋古典語研究

・必修および選択必修以外の言語について、基礎的な学修を希望する学生のためのクラスである。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITA	101～102	イタリア語の基礎A・B	1	各1	1年次
MGARB	101～102	アラビア語の基礎A・B	1	各1	1年次
MGTHA	101～102	タイ語の基礎A・B	1	各1	1年次
MGGRE	101～102	ギリシア語研究A・B	1	各2	1年次
MGLAT	101～102	ラテン語研究A・B	1	各2	1年次

### 手話

・手話の知識を学び、基本的な運用能力を身につける。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGSIG	101	手話1	1	2	1年次
	202	手話2	2	2	1年次

## 留学生関連科目

- ・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。
- ・留学生の履修については、別途ガイダンス等の説明を参照し、その指導に従うこと。
- ・「日本語研究」3A・3Bは、2年次生でも白金校舎での履修が可能である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGJPN	205～208	日本語3A・3B・4A・4B	2	各1	2年次
	211～216	日本語研究1A・1B・2A・2B・3A・3B	2	各2	2年次

## 1. [基盤教養科目群]

### 1. 人文科学系科目

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGPHI	101～102	哲学史1・2	1	各2	1年次
	201～202	哲学各論1・2	2	各2	1年次
	211～212	科学思想1・2	2	各2	1年次
MGETH	101～102	倫理学入門1・2	1	各2	1年次
	201～204	倫理学各論1・2・3・4	2	各2	1年次
MGLOG	101～102	論理学概論1・2	1	各2	1年次
	201～202	伝統論理学1・2	2	各2	1年次
	211～212	現代論理学1・2	2	各2	1年次
MGLIN	101～104	言語科学の基礎1・2・3・4	1	各2	1年次
MGPSY	101～102	心理学入門1・2（注1）	1	各2	1年次
	201～204	心理学各論1・2・3・4（注1）	2	各2	2年次
MGEDU	101～102	教育学の基礎1・2	1	各2	1年次
MGART	101～102	芸術学の基礎1・2	1	各2	1年次
	201～206	芸術学各論1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
MGJPL	101～102	日本文学概論1・2	1	各2	1年次
	201～204	日本文学講読1・2・3・4	2	各2	1年次
MGJPS	101～104	日本文化論入門1・2・3・4	1	各2	1年次
	201～202	日本文化特論1・2	2	各2	1年次
MGEUC	101～106	ヨーロッパ言語圏の文化入門1・2・3・4・5・6	1	各2	1年次
	111～116	ヨーロッパ言語圏の文化各論1・2・3・4・5・6	1	各2	1年次
MGASC	101～104	アジア言語圏の文化入門1・2・3・4	1	各2	1年次
	111～114	アジア言語圏の文化各論1・2・3・4	1	各2	1年次

注) 3年次以上で「哲学(専)」1・2を履修するためには、「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(論理学)の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の2科目(計4単位)を修得済みでなければならない。

注1) 「心理学各論」1～4を履修するためには、「心理学入門」1・2の単位修得が望ましい。

## 2. 社会科学系科目

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGLAW	101~102	法学（日本国憲法を含む）1・2	1	各2	1年次
MGPOS	101~102	政治学1・2	1	各2	1年次
MGSOC	101~102	社会学理論の基礎1・2	1	各2	1年次
	111~112	文化とメディアの社会学入門1・2	1	各2	1年次
	121~122	生命とアイデンティティの社会学入門1・2	1	各2	1年次
	131~132	環境とコミュニティの社会学入門1・2	1	各2	1年次
MGSWS	101~102	社会福祉学1・2	1	各2	1年次
MGECE	101~102	経済学1・2	1	各2	1年次
MGSTA	101~104	統計学1・2・3・4	1	各2	1年次
MGHIS	201~206	歴史学1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	211~212	歴史学の世界1・2	2	各2	1年次
MGGEO	101~102	人文地理学入門1・2	1	各2	1年次
	201~206	人文地理学1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
MGANT	101~102	文化人類学入門1・2	1	各2	1年次
	201~202	文化人類学各論1・2	2	各2	1年次
MGSOS	101~104	社会科学概論1・2・3・4	1	各2	1年次

## 3. 自然科学系科目

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGMAT	101~102	数学入門1・2	1	各2	1年次
	111~114	数学1・2・3・4	1	各2	1年次
	211~212	数学特論1・2	2	各2	1年次
MGPHY	101~103	物理学入門1・2・3	1	各2	1年次
	201~203	現代の物理学1・2・3	2	各2	1年次
	211	物理学特論	2	2	1年次
	121~122	物理学方法論A・B	1	各2	1年次
MGCHE	101~102	化学入門1・2	1	各2	1年次
	201~204	現代の化学1・2・3・4	2	各2	1年次
	121~122	化学方法論A・B	1	各2	1年次
MGBIO	101~102	生物学入門1・2	1	各2	1年次
	201~205	現代の生物学1・2・3・4・5	2	各2	1年次
	211	生物学特論	2	2	1年次
	121~122	生物学方法論A・B	1	各2	1年次
MGLIS	101~102	生命科学入門1・2	1	各2	1年次
	201~203	生命科学各論1・2・3	2	各2	1年次
	211	生命科学特論	2	2	1年次
	121~122	生命科学方法論A・B	1	各2	1年次

## 4. 情報科学系科目

・「コンピュータリテラシー」1は入門クラス、「コンピュータリテラシー」2は初級クラスである。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	101~102	コンピュータリテラシー1・2	1	各2	1年次

・以下は「コンピュータリテラシー」1および2の発展的学修科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	201~204	コンピュータリテラシー研究1A・1B・2A・2B	2	各2	1年次
	211~214	情報科学1・2・3・4	2	各2	1年次

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGAID	101	AI・データサイエンス入門	1	2	1年次
	201	データ解析・活用入門	2	2	1年次
	202	プログラミング入門	2	2	1年次
	203	AIと人間	2	2	1年次
	301	データ解析・活用基礎	3	2	2年次
	302	AI基礎	3	2	2年次
	303	PBL演習	3	2	3年次

注) レベル2の3科目は「AI・データサイエンス入門」の単位を修得した学生のみ履修が認められる。

注) レベル3の「データ解析・活用基礎」「AI基礎」はレベル2の単位を、「PBL演習」は「データ解析・活用基礎」「AI基礎」の単位を修得した学生のみ履修が認められる。

## 5. 健康・スポーツ科学系科目

・履修に際しては、シラバス、『明治学院共通科目 履修の手引き』を参照すること。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGHSS	101~102	健康科学概論1・2	1	各2	1年次
	111~112	スポーツ科学概論1・2	1	各2	1年次
	121~122	スポーツ社会学概論1・2	1	各2	1年次
	131~134	スポーツ方法学1・2・3・4	1	各2	1年次
	201~202	トレーニング科学理論・実習1・2	2	各2	1年次
	211~212	バイオメカニクス理論・実習1・2	2	各2	1年次
	141・143・145	シーズンスポーツ研究1A・2A・3A	1	各2	1年次
	242・244・246	シーズンスポーツ研究1B・2B・3B (注2)	2	各2	1年次

注2) 「シーズンスポーツ研究」1B・2B・3Bは各学科で定める年間履修上限単位数には含まれない。

## 2. [MG教養科目群]

### 1. 明治学院・Do for Others教養系科目

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	201~204	聖書の世界1・2・3・4	2	各2	2年次
	211~214	キリスト教の思想と文化1・2・3・4	2	各2	1年次
	221~224	宗教史1・2・3・4	2	各2	1年次
	231~234	現代社会とキリスト教1・2・3・4	2	各2	1年次
MGIND	141~143	現代平和研究1・2・3	1	各2	1年次
MGMGS	101	明治学院研究1	1	2	1年次
	202~203	明治学院研究2・3	2	各2	1年次
MGVOL	101~104	ボランティア学入門1・2・3・4	1	各2	1年次
MGPIO	101	オルガン実習1	1	2	2年次
	202	オルガン実習2	2	2	2年次

## 2. キャリア&グローバル教養系科目

ナンバリング	科目名	レベル	単位数	配当年次	
MGIND	101~106	現代世界と人間1・2・3・4・5・6	1	各2	1年次
	111~112	現代社会と教養1・2	1	各2	1年次
	121~122	多文化共生入門1・2	1	各2	1年次
	201~204	多文化共生各論1・2・3・4	2	各2	1年次
	131~132	グローバルシチズンシップ入門1・2	1	各2	1年次
	211~214	グローバルシチズンシップ各論1・2・3・4	2	各2	1年次
	221~224	スタディーツアー1・2・3・4 (注3)	2	各2	1年次
MGENV	101~104	環境学各論1・2・3・4	1	各2	1年次
MGSUS	101~104	サステイナビリティ学1・2・3・4	1	各2	1年次
MGVOL	121	ボランティア・市民活動論 (国内) 1A	1	2	1年次
	122	ボランティア・市民活動論 (海外) 2A	1	2	1年次
	223	ボランティア・市民活動論 (国内) 1B	2	2	1年次
	224	ボランティア・市民活動論 (海外) 2B	2	2	2年次
	231	ボランティア・市民活動実習 (国内)	2	2	1年次
	232	ボランティア・市民活動実習 (海外)	2	2	2年次
	301	ボランティア・市民活動研究 (国内)	3	2	2年次
	302	ボランティア・市民活動研究 (海外)	3	2	2年次
	211~212	ワークショップ論1・2	2	各2	1年次
	241~242	ソーシャル・ビジネス論1・2	2	各2	3年次
	251~252	非営利組織マネジメント1・2	2	各2	3年次
	111~112	グローバル社会と市民活動入門1・2	1	各2	1年次
	201~202	グローバル社会と市民活動1・2	2	各2	1年次
MGSEM	301~302	アジア・日本研究A・B	3	各2	3年次
	311~312	ヨーロッパ文化圏研究A・B	3	各2	3年次
	321~322	現代科学研究A・B	3	各2	3年次
	331~332	現代社会研究A・B	3	各2	3年次
MGACW	101	アカデミック・ライティングの基礎 (注4)	1	2	1年次
	201	アカデミック・ライティング演習1 (注4)	2	2	1年次
	202	アカデミック・ライティング演習2 (留学生専用) (注5)	2	2	1年次
MGCCS	101~106	日本の社会と文化1A・1B・2A・2B・3A・3B (注5)	1	各2	1年次
	111~112	異文化コミュニケーション研究A・B (注6)	1	各2	1年次
MGLCD	101	ライフデザイン1	1	2	1年次
	202	ライフデザイン2	2	2	2年次
	203~204	ライフデザイン3・4	2	各2	3年次
	111	キャリアデザイン1	1	2	2年次
	212	キャリアデザイン2	2	2	2年次

注3) 「スタディーツアー」1・2・3・4は各学科で定める年間履修上限単位数には含まれない。

注4) 「アカデミック・ライティングの基礎」と「アカデミック・ライティング演習」1は同学期に履修することができない。

また、「アカデミック・ライティング演習」1の単位を修得後に「アカデミック・ライティングの基礎」を履修することはできない。

注5) この科目は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

注6) この科目は、「日本の社会と文化」1A・1B・2A・2B・3A・3Bにおいて、留学生の授業に一般学生が参加するために設けられた科目である。この科目の履修資格と履修上の要件については、シラバスおよび『明治学院共通科目履修の手引き』を参照すること。

### 3. [国際総合科目群]

#### 1. ISP系科目

ナンバリング	科目名	レベル	単位数	配当年次	
MGINT	201~206	Japanese Arts and Culture 1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	211~216	Japanese History 1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	221~226	Japanese Society 1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	231~234	Multilingualism and Multiculturalism 1・2・3・4	2	各2	1年次
	241~244	Current Issues 1・2・3・4	2	各2	1年次

#### 2. 海外協定校連携科目

- ・以下は、本学と協定を結ぶ海外校との連携科目である。
- ・履修に際しては、履修要項と各科目のシラバスを参照すること。また、シラバスには、海外協定校が発信する連携科目に関する情報・履修申請方法も記載されているので、確認すること。

ナンバリング	科目名	レベル	単位数	配当年次	
MGUHM	101	Academic Skills for Intercultural Competency	1	4	1年次
	201	Introduction to Ethnic Studies	2	4	1年次
	202	Geography of Contemporary Society	2	4	1年次
	203	Advanced Topics in Ethnic Studies	2	4	1年次
	204	Race, Class, Gender in Popular Culture	2	4	1年次

### 4. [単位認定科目群]

#### 1. 短期・中期留学認定科目

- ・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への短期・中期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期・中期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
- ・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ハンドブック」を確認すること。
- ・これらの科目は各学科で定める年間履修上限単位数には含まれない。

ナンバリング	科目名	レベル	単位数	配当年次	
MGRES	101	ヨーロッパ研究（短期留学）	1	4	1年次
	102	イギリス研究（短期留学）	1	4	1年次
	103	スペイン研究（短期留学）	1	4	1年次
	104	ドイツ研究（短期留学）	1	4	1年次
	105	フランス研究（短期留学）	1	4	1年次
	106	アメリカ研究（短期留学）	1	4	1年次
	107	カナダ研究（短期留学）	1	4	1年次
	108	韓国研究（短期留学）	1	4	1年次
	109	中国語圏研究（短期留学）	1	4	1年次
	110	オセアニア研究（短期留学）	1	4	1年次
	111	東南アジア研究（短期留学）	1	4	1年次
	121~126	アメリカ研究（中期留学）基礎1~6	1	各1	1年次
	221~226	アメリカ研究（中期留学）応用1~6	2	各2	1年次
	321~326	アメリカ研究（中期留学）発展1~6	3	各3	1年次

## 2. 海外インターンシップ関連科目

- ・実際に海外インターンシップに参加することが決まった段階で教務課窓口にご相談し、単位認定を希望する者は、科目責任者の許可を得ること。
- ・すべての海外インターンシップが単位認定の対象となるわけではない点に留意すること。
- ・インターンシップ先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。
- ・これらの科目は各学科で定める年間履修上限単位数には含まれない。
- ・これらの科目はP・F評価となるため、GPAには含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITS	101~102	海外インターンシップ課題研究A・B	1	各2	1年次
	201~202	海外インターンシップA・B	2	各4	1年次

## 5. [特別学科科目]

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
SGBAS	101~102	社会学概論A・B（注7）		各2	1年次
SGINT	201~202	内なる国際化論A・B		各2	3年次
	203	ボランティア実践指導		4	3年次

注7) 学部によっては、中学（社会）、高校（公民）の教育職員免許状取得のための必修科目または選択必修科目（教科に関する科目）の場合もあるので注意すること。詳細は「教職課程履修要項（諸資格）」を参照のこと。

# 英文学科



## 文学部の目標と方針

### 人材養成上の目的・教育目標

文学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

文学部においては、さまざまな時代や状況においてなされた人間の創造行為や表現活動の諸相を学生に教授し、他者を理解するとともにまた自らを知る力を培う。そうして、新たな文化を構想する知的分析力や創造力をもった人材を養成してゆく。その過程において、問題を発見する力やそれを伝達する言語能力の涵養も重視し、将来自らが関わる社会のさまざまな局面において、柔軟かつ斬新な思考を展開できる人間を育てる。

### 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

- 1 人類の歴史・文化・社会および自然・健康に関する基礎的な教養を身につけている。
- 2 言語や文化・歴史、あるいはさまざまな表現ジャンルの芸術に関する体系的な知識を有している。
- 3 個別専門的な領域における新たな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力を有し、またそれを明快に伝達する表現能力を備えている。
- 4 さまざまな時代・環境における他者の営みを理解し、その認識をより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

### 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、文学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 各学科の専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につける授業を、初年次から多く設置する。
- 2 体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、個別特殊な課題を扱う授業を多く開講し、具体的な課題を思考し、ともに議論する機会を学生に授ける。
- 3 さまざまな言語や文化、あるいは表現活動に触れることによって、自らを他へと開いてゆく経験を与える。
- 4 自らの視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養う過程として、少人数のゼミや卒業論文制作などを重視する。

## 英文学科の目標と方針

### 人材養成上の目的・教育目標

文学部英文学科は、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、英文学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

英文学科の教育目標は、一つには、英語による文学や文化の読解と分析を通じて、人間性への洞察と英語圏社会の理解を深めることである。またもう一つに、英語という言語を様々な側面から科学的に研究することにより、人間の相互交流に不可欠なことばの本質・機能についての洞察を深めることも、目標として掲げる。さらに、以上の目標到達と連動して、実践的な英語コミュニケーション能力をみがくことを目指す。国際語である英語の運用能力を身につけることは、他者と意思疎通し、他者を理解しともに生きること、自己と他者の社会や文化の深い理解と洞察に到達するための前提条件である。

### 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部英文学科は、文学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、英文学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに128単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

- 1 英語による文学、英語圏の文化に関する基礎的知識、幅広い教養を身につけている。
- 2 英語という言語に関しての科学的基礎知識、応用知識を身につけている。
- 3 グローバル化社会で使える英語の技能を身につけている。
- 4 異文化社会に対する深い理解と分析力をもち、グローバル化社会の情報や現実に対応できる能力を身につけている。

### 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部英文学科は、文学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、英文学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

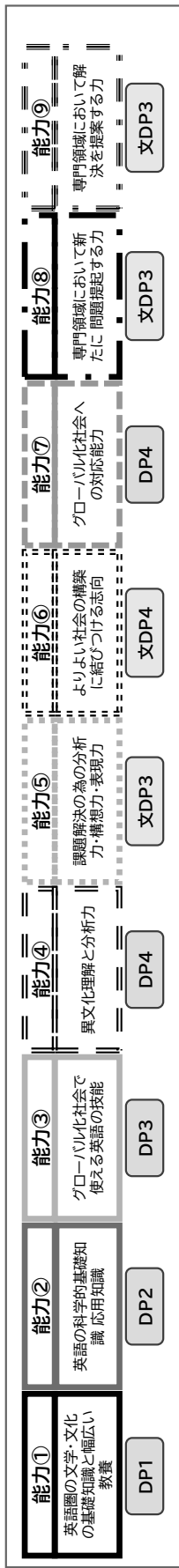
グローバル化社会で通用する実践的な英語コミュニケーション能力を習得させるために、1年次に英語関連基礎科目、2・3年次には英語関連発展科目を必修として設け、基礎から発展レベルまで、英語の技能を総合的に教授する。英米の文学、そして英語学についての基礎知識、幅広い教養を身につけるために、1・2年次にそれぞれ3分野の「入門」と「概論」の専門基礎科目を、3・4年次には、基礎知識を発展させるべく専門コース科目と少人数制の各種「演習」（ゼミ）を選択必修として設ける。これらの専門科目は、英語関連発展科目や多彩な専門コース科目と連動しながら、最終的には、人間や言語や異なる文化のあり方に対して学生が獲得した理解と洞察力の成果の一端として、ゼミ論や卒論の執筆へと導くことになる。なお、学修成果の評価は、筆記試験、レポートの提出など、各科目のシラバスに定められた方法によって行う。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター/サポーターの認証資格取得も可能である。



# LE 英文学科 カリキュラムツリー

※・下図は、能力要件表で◎を設定した科目のみ表示しています。  
 ・下線の科目は、必修科目です(選択必修科目には下線を引いておいていただきます。)



4年	3年	2年	1年
<b>イギリス文学コース科目</b> 能力◎ LEBRL4011キリス文学4年 次演習	<b>能力◎</b> LEBRL3171キリス文学3年 次演習	<b>能力◎</b> LEAML4017アメリカ文学4 年次演習	<b>能力◎</b> LELIN401英語4年次演習
<b>能力④</b> LEBRL3011キリス詩A LEBRL3021キリス詩B LEBRL3041キリス小説A LEBRL3051キリス小説B LEBRL3061キリス演劇A LEBRL3071キリス演劇B LEBRL3081キリス文学史A LEBRL3091キリス文学史B LEBRL3101キリス文学批評A LEBRL3111キリス文学批評B LEBRL3121キリス文学特論A LEBRL3131キリス文学特論B LEBRL3141キリス文化研究A LEBRL3151キリス文化研究B LEBRL3161Topics in British Culture A LEBRL3171Topics in British Culture B	<b>能力④</b> LEAML3017アメリカ詩A LEAML3027アメリカ詩B LEAML3047アメリカ小説A LEAML3057アメリカ小説B LEAML3067アメリカ演劇A LEAML3077アメリカ演劇B LEAML3087アメリカ文学史A LEAML3097アメリカ文学史B LEAML3107アメリカ文学批評A LEAML3117アメリカ文学批評B LEAML3127アメリカ文学特論A LEAML3137アメリカ文学特論B LEAML3147アメリカ文化研究A LEAML3157Topics in American Culture A LEAML3167Topics in American Culture B	<b>能力④</b> LELIN3010音声学A LELIN3020音声学B LELIN3030発音学A LELIN3040発音学B LELIN3050発音学C LELIN3060発音学D LELIN3070発音学E LELIN3080発音学F LELIN3090発音学G LELIN3100発音学H LELIN3110発音学I LELIN3120発音学J LELIN3130心理言語学A LELIN3140心理言語学B LELIN3150社会言語学A LELIN3160社会言語学B LELIN3170英語学特論A LELIN3180英語学特論B LELIN3190Topics in Linguistics A LELIN3200Topics in Linguistics B	<b>能力④</b> LAGEN101中国文学A LAGEN102中国文学B LAGEN103ドイツ文学A LAGEN104ドイツ文学B LFLTE301西洋文学A LFLTE302西洋文学B LFCINS01異文化理解A LFCINS02異文化理解B LFLAT301英語1A LFLAT302英語1B LFLAT303英語2A LFLAT304英語2B LECRSS17翻訳論A LECRSS18翻訳論B
<b>アメリカ文学コース科目</b> 能力◎ LEAML317アメリカ文学3年 次演習	<b>能力◎</b> LEAML317アメリカ文学3年 次演習	<b>能力◎</b> LELIN401英語4年次演習	<b>能力◎</b> LELIN401英語4年次演習
<b>英語学コース科目</b> 能力◎ LELIN401英語4年次演習	<b>能力◎</b> LELIN321英語3年次演習	<b>能力◎</b> LELIN401英語4年次演習	<b>能力◎</b> LELIN401英語4年次演習
<b>卒業論文</b> 能力◎ LECRAA401卒業論文	<b>能力◎</b> LECRAA401卒業論文	<b>能力◎</b> LECRAA401卒業論文	<b>能力◎</b> LECRAA401卒業論文
<b>英語教育科目</b> 能力◎ LEETE301英語教育方法論A LEETE302英語教育方法論B LEETE303英語教育実践論A LEETE304英語教育実践論B LEETE305英語教育評価論A LEETE306英語教育評価論B TEETE307Current Topics in ELT A TEETE308Current Topics in ELT B LEETE309英語教育3年次演習	<b>能力◎</b> LEETE301英語教育方法論A LEETE302英語教育方法論B LEETE303英語教育実践論A LEETE304英語教育実践論B LEETE305英語教育評価論A LEETE306英語教育評価論B TEETE307Current Topics in ELT A TEETE308Current Topics in ELT B LEETE309英語教育3年次演習	<b>能力◎</b> LEETE401英語教育4年次演習	<b>能力◎</b> LEETE401英語教育4年次演習
<b>他学科科目</b> 能力◎ LAMED3101メディア実践論B LAMED3115サイエンス論A LAMED3116サイエンス論B LAMED3119芸術メディア実践論1A LAMED3201芸術メディア実践論1B LAMED3211芸術メディア実践論2A LAMED3221芸術メディア実践論2B LATH3131文化研究A LATH3132文化研究B LATH3211舞台芸術論A LATH3221舞台芸術論B LACOM3030理論と芸術A LACOM3040理論と芸術B LACOM3050理論と芸術C LACOM3060理論と芸術D LACOM3070理論と芸術E LACOM3080理論と芸術F LACOM3090理論と芸術G LACOM3100理論と芸術H LACOM3110理論と芸術I LACOM3121アートマネジメント論 LFFAP314現代思想A LFFAP315現代思想B LFFAP316精神分析入門A LFFAP317精神分析入門B	<b>能力◎</b> LAMED3101メディア実践論B LAMED3115サイエンス論A LAMED3116サイエンス論B LAMED3119芸術メディア実践論1A LAMED3201芸術メディア実践論1B LAMED3211芸術メディア実践論2A LAMED3221芸術メディア実践論2B LATH3131文化研究A LATH3132文化研究B LATH3211舞台芸術論A LATH3221舞台芸術論B LACOM3030理論と芸術A LACOM3040理論と芸術B LACOM3050理論と芸術C LACOM3060理論と芸術D LACOM3070理論と芸術E LACOM3080理論と芸術F LACOM3090理論と芸術G LACOM3100理論と芸術H LACOM3110理論と芸術I LACOM3121アートマネジメント論 LFFAP314現代思想A LFFAP315現代思想B LFFAP316精神分析入門A LFFAP317精神分析入門B	<b>能力◎</b> LFFAP314現代思想A LFFAP315現代思想B LFFAP316精神分析入門A LFFAP317精神分析入門B	<b>能力◎</b> LFFAP314現代思想A LFFAP315現代思想B LFFAP316精神分析入門A LFFAP317精神分析入門B

# 明治学院共通科目

<p><b>関連科目</b></p> <p><b>能力④</b></p> <p>LECRS301 英米宗教文学A LECRS302 英米宗教文学B LECRS303 英語聖書A LECRS304 英語聖書B LECRS305 英米別冊文学A LECRS306 英米別冊文学B LECRS307 17世紀研究 LECRS308 17世紀研究B LECRS309 17世紀研究A LECRS310 17世紀研究B LECRS311 Intercultural Communication LECRS312 Intercultural Communication B</p>	<p><b>英語発展科目B群</b></p> <p><b>能力③</b></p> <p>LEAES301 Business English A LEAES302 Business English B LEAES307 Academic English Skills A LEAES308 Academic English Skills B LEAES309 Advanced Academic Writing</p> <p><b>能力②</b></p> <p>LEAES303 翻訳技法A LEAES304 翻訳技法B LEAES305 通訳技法A LEAES306 通訳技法B</p>	<p><b>能力②</b></p> <p>LECRS313 言語学A LECRS314 言語学B</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LFELF301 フランス圏語法2A LFELF302 フランス圏語法2B LFELF303 フランス圏語法3A LFELF304 フランス圏語法3B LFELF305 Exercices Pratiques 4A LFELF306 Exercices Pratiques 4B LFELF307 フランス圏語法2A LFELF308 フランス圏語法2B LFELF309 フランス圏語法1A LFELF310 フランス圏語法1B LFELF311 仏会話2A LFELF312 仏会話2B LFELF313 読解フランス語A LFELF314 読解フランス語B LFELF315 読解フランス語A LFELF316 読解フランス語B LFELF317 読解フランス語A LFELF318 読解フランス語B LFELF319 読解フランス語A LFELF320 読解フランス語B LFELF321 Préparation au DELF A LFELF322 Préparation au DELF B LFELF323 Préparation au TCF A LFELF324 Préparation au TCF B LFELF325 読解フランス語A LFELF326 読解フランス語B LFELF327 フランス圏の読解A LFELF328 フランス圏の読解B LFELF329 フランス圏の読解A LFELF330 フランス圏の読解B</p>	<p>FFFA305 現代新聞論A FFFA306 現代新聞論B FFFA308 中世・ルネサンス文学A FFFA309 17・18世紀文学A FFFA310 17・18世紀文学B FFFA311 近世の文学A FFFA312 近世の文学B FFFA313 現代文学A FFFA314 現代文学B FFFA315 小説と批評A FFFA316 小説と批評B FFFA317 フランス文学論1A FFFA318 フランス文学論1B FFFA319 歴史と通訳A FFFA320 歴史と通訳B FFFA321 歴史と通訳A FFFA322 歴史と通訳B FFFA323 現代文学A FFFA324 現代文学B FFFA325 現代文学A FFFA326 現代文学B FFFA327 フランス圏の読解A FFFA328 フランス圏の読解B FFFA329 フランス圏の読解A FFFA330 フランス圏の読解B FFFA331 フランス圏の読解A FFFA332 フランス圏の読解B FFFA333 フランス圏の読解A FFFA334 フランス圏の読解B FFFA335 フランス圏の読解A FFFA336 フランス圏の読解B FFFA337 フランス圏の読解A FFFA338 フランス圏の読解B FFFA339 フランス圏の読解A FFFA340 フランス圏の読解B</p>	<p><b>学科基礎科目</b></p> <p><b>能力②</b></p> <p>LELIN201 英語学概論A LELIN202 英語学概論B</p> <p><b>能力①</b></p> <p>LEBRL201 キリス文学概論A LEBRL202 キリス文学概論B LEAML201 フランス文学概論A LEAML202 フランス文学概論B</p>	<p><b>英語基礎科目</b></p> <p><b>能力③</b></p> <p>LEBES201 基礎演習2 LEBES202 Listening and Speaking A LEBES203 Listening and Speaking B LEBES204 Academic Reading A LEBES205 Academic Reading B LEBES206 Academic Writing A LEBES207 Academic Writing B</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LECRS201 異文化理解1 LECRS202 異文化理解2</p>	<p><b>能力②</b></p> <p>LEETE201 英語教育論 LEETE202 英語教育論 LEETE203 TESOL Seminar (通期留学)</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LEEFB201 フランス文学史A LEEFB202 フランス文学史B LEFL201 Exercices Pratiques 2A LEFL202 Exercices Pratiques 2B</p>	<p><b>能力②</b></p> <p>LELIN101 英語学入門</p> <p><b>能力①</b></p> <p>LEBRL101 キリス文学入門 LEAML101 フランス文学入門</p>	<p><b>能力③</b></p> <p>LEBES101 基礎演習1 LEBES102 Listening and Speaking A LEBES103 Listening and Speaking B LEBES104 Reading A LEBES105 Reading B LEBES106 Writing A LEBES107 Writing B</p> <p><b>能力②</b></p> <p>LEBES106 英文法A LEBES107 英文法B</p>	<p><b>英語発展科目A群</b></p> <p><b>能力③</b></p> <p>LEAES101 英語学+加3エッセイ LEAES102 英語学+加3エッセイ LEAES103 英語学+加3エッセイ LEAES104 英語学+加3エッセイ LEAES105 英語学+加3エッセイ LEAES106 英語学+加3エッセイ</p>	<p><b>能力⑥</b></p> <p>LAFIL105 映像芸術学序論P LAFIL106 映像芸術学序論S</p> <p><b>能力④</b></p> <p>LEFEB101 フランス学概論A LEFEB102 フランス学概論B LEFEB103 フランスの歴史A LEFEB104 フランスの歴史B LEFEB105 フランス文化研究A LEFEB106 フランス文化研究B LEFEL103 Exercices Pratiques 1A LEFEL104 Exercices Pratiques 1B LEFEL105 読解フランス語1A LEFEL106 読解フランス語1B LEFEL107 読解フランス語2A LEFEL108 読解フランス語2B LEFEL109 Communication niveau avancé</p>
<p><b>教職に関する科目</b></p> <p><b>能力②</b></p> <p>TCTEA903 英語科指導法1 TCTEA904 英語科指導法2</p>		<p><b>能力②</b></p> <p>TCTEA901 英語科指導法3 TCTEA902 英語科指導法4</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LEETE201 英語教育論 LEETE202 英語教育論 LEETE203 TESOL Seminar (通期留学)</p>										

言語系科目群・基礎教養科目群・MG教養科目群・国際総合科目群・単位認定科目群

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科4	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の技能	異文化理解と分析力	課題解決の為に分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○								
<b>学科基礎科目</b>												
LEBRL101イギリス文学入門	必修	2	1	◎			○		○	○		
LEBRL201イギリス文学概論A	選択必修or選択	2	2	◎			○			○		○
LEBRL202イギリス文学概論B	選択必修or選択	2	2	◎			○			○		○
LEAML101アメリカ文学入門	必修	2	1	◎			○		○	○		
LEAML201アメリカ文学概論A	選択必修or選択	2	2	◎			○			○		○
LEAML202アメリカ文学概論B	選択必修or選択	2	2	◎			○			○		○
LELIN101英語学入門	必修	2	1	○	◎		○		○			
LELIN201英語学概論A	選択必修or選択	2	2	○	◎		○					○
LELIN202英語学概論B	選択必修or選択	2	2	○	◎		○					○
<b>英語基礎科目</b>												
LEBES101基礎演習1	必修	2	1	○		◎						
LEBES102Listening and Pronunciation A	必修	1	1			◎						
LEBES103Listening and Pronunciation B	必修	1	1			◎						
LEBES104Reading A	必修	1	1			◎						
LEBES105Reading B	必修	1	1			◎						
LEBES106英文法A	必修	1	1		◎	○						
LEBES107英文法B	必修	1	1		◎	○						
LEBES108Writing A	必修	1	1			◎						
LEBES109Writing B	必修	1	1			◎						
LEBES201基礎演習2	必修	2	2	○		◎						
LEBES202Listening and Speaking A	必修	1	2			◎						
LEBES203Listening and Speaking B	必修	1	2			◎						
LEBES204Academic Reading A	必修	1	2			◎						
LEBES205Academic Reading B	必修	1	2			◎						
LEBES206Academic Writing A	必修	1	2			◎						
LEBES207Academic Writing B	必修	1	2			◎						
<b>英語発展科目A群</b>												
LEAES101英語オラルコミュニケーションA	選択	2	1			◎	○			○		
LEAES102英語オラルコミュニケーションB	選択	2	1			◎	○			○		
LEAES103英語文章読解法A	選択	2	1			◎						
LEAES104英語文章読解法B	選択	2	1			◎						
LEAES105英語文章作成法A	選択	2	1			◎						
LEAES106英語文章作成法B	選択	2	1			◎						
<b>イギリス文学コース科目</b>												
LEBRL301イギリス詩A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL302イギリス詩B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL303イギリス小説A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL304イギリス小説B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL305イギリス演劇A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL306イギリス演劇B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL307イギリス文学史A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL308イギリス文学史B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL309イギリス文学批評A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL310イギリス文学批評B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL311イギリス文学特講A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL312イギリス文学特講B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL313イギリス文化研究A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL314イギリス文化研究B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEBRL315Topics in British Culture A	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科4	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の技能	異文化理解と分析力	課題解決のための分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○								
LEBRL316Topics in British Culture B	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEBRL317イギリス文学3年次演習	選択必修	2	3				○			○	○	◎
LEBRL401イギリス文学4年次演習	選択必修	2	4				○			○	○	◎
アメリカ文学コース科目												
LEAML301アメリカ詩A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML302アメリカ詩B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML303アメリカ小説A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML304アメリカ小説B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML305アメリカ演劇A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML306アメリカ演劇B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML307アメリカ文学史A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML308アメリカ文学史B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML309アメリカ文学批評A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML310アメリカ文学批評B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML311アメリカ文学特講A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML312アメリカ文学特講B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML313アメリカ文化研究A	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML314アメリカ文化研究B	選択	2	3				◎	○		○		○
LEAML315Topics in American Culture A	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML316Topics in American Culture B	選択必修or選択	2	3			○	◎	○		○		
LEAML317アメリカ文学3年次演習	選択必修	2	3				○			○	○	◎
LEAML401アメリカ文学4年次演習	選択必修	2	4				○			○	○	◎
英語学コース科目												
LELIN301音声学A	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN302音声学B	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN303英語史A	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN304英語史B	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN305音韻論A	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN306音韻論B	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN307統語論A	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN308統語論B	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN309意味論A	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN310意味論B	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN311語用論A	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN312語用論B	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN313心理言語学A	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN314心理言語学B	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN315社会言語学A	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN316社会言語学B	選択	2	3	○	◎			○				○
LELIN317英語学特講A	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN318英語学特講B	選択	2	3	○	◎						○	○
LELIN319Topics in Linguistics A	選択必修or選択	2	3	○	◎					○		
LELIN320Topics in Linguistics B	選択必修or選択	2	3	○	◎					○		
LELIN321英語学3年次演習	選択必修	2	3	○				○			○	◎
LELIN401英語学4年次演習	選択必修	2	4	○				○			○	◎
関連科目												
LECRS301英米宗教学A	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS302英米宗教学B	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS303英語聖書A	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS304英語聖書B	選択	2	3			○	◎		○	○		
LECRS305英米児童文学A	選択	2	3				◎	○		○		○
LECRS306英米児童文学B	選択	2	3				◎	○		○		○

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科4	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の技能	異文化理解と分析力	課題解決のための分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○								
LECRS307イギリス研究A	選択	2	3				◎			○	○	○
LECRS308イギリス研究B	選択	2	3				◎			○	○	○
LECRS309アメリカ研究A	選択	2	3				◎			○	○	○
LECRS310アメリカ研究B	選択	2	3				◎			○	○	○
LECRS311Intercultural Communication A	選択	2	3			○	◎			○	○	
LECRS312Intercultural Communication B	選択	2	3			○	◎			○	○	
英語発展科目B群												
LEAES301Business English A	選択	2	3			◎				○		
LEAES302Business English B	選択	2	3			◎				○		
LEAES303翻訳技法A	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES304翻訳技法B	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES305通訳技法A	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES306通訳技法B	選択	2	3		◎	○		○		○		
LEAES307Academic English Skills A	必修	2	3			◎				○		
LEAES308Academic English Skills B	必修	2	3			◎				○		
LEAES309Advanced Academic Writing	選択	2	3			◎						
英語教育科目												
LEETE201英語教育基礎論A	選択	2	2	○	◎							
LEETE202英語教育基礎論B	選択	2	2	○	◎							
LEETE203TESOL Seminar(短期留学)	選択	2	1		◎	○	○					○
LEETE301英語教育方法論A	選択	2	3		◎							○
LEETE302英語教育方法論B	選択	2	3		◎							○
LEETE303英語教育実践論A	選択	2	3		◎							○
LEETE304英語教育実践論B	選択	2	3		◎							○
LEETE305英語教育評価論A	選択	2	3		◎						○	
LEETE306英語教育評価論B	選択	2	3		◎						○	
LEETE307Current Topics in ELT A	選択	2	3		◎							○
LEETE308Current Topics in ELT B	選択	2	3		◎							○
LEETE309英語教育3年次演習	選択必修	2	3		◎			○			○	○
LEETE401英語教育4年次演習	選択必修	2	4		◎			○			○	○
卒業論文												
LEGRA401卒業論文	選択	6	4			○		○			◎	○
文学部共通科目												
LFLTJ301日本文学(専)A	選択	2	3					◎				
LFLTJ302日本文学(専)B	選択	2	3					◎				
LAGEN101中国文学A	選択	2	3				◎					
LAGEN102中国文学B	選択	2	3				◎					
LAGEN103ドイツ文学A	選択	2	3				◎					
LAGEN104ドイツ文学B	選択	2	3				◎					
LFLTE301西洋文学A	選択	2	3				◎					
LFLTE302西洋文学B	選択	2	3				◎					
LECRS201異文化理解1	選択	2	2				◎		○	○		
LECRS202異文化理解2	選択	2	2				◎		○	○		
LFCIN301異文化理解3	選択	2	3				◎		○	○		
LFCIN302異文化理解4	選択	2	3				◎		○	○		
LXCRS301哲学(専)1	選択	2	3					◎				
LXCRS302哲学(専)2	選択	2	3					◎				
LECRS313言語学A	選択	2	3		◎							
LECRS314言語学B	選択	2	3		◎							
LFLAT301ラテン語1A	選択	2	3				◎					
LFLAT302ラテン語1B	選択	2	3				◎					
LFLAT303ラテン語2A	選択	2	3				◎					

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科4	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の技能	異文化理解と分析力	課題解決のための分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○								
LFLAT304ラテン語2B	選択	2	3				◎					
LECRS315小説技法A	選択	2	3				○	◎	○			
LECRS316小説技法B	選択	2	3				○	◎	○			
LECRS317翻訳論A	選択	2	3		○	○	◎			○		
LECRS318翻訳論B	選択	2	3		○	○	◎			○		
LECRS319Practical Career English A	選択	2	3			◎				○		
LECRS320Practical Career English B	選択	2	3			◎				○		
LAGEN105文化史A	選択	2	3					◎				
LAGEN106文化史B	選択	2	3					◎				
LAGEN107民俗学A	選択	2	3					◎				
LAGEN108民俗学B	選択	2	3					◎				
LFIIA301AI問題入門	選択	2	3					◎		○	○	
他学科学科目												
LFEFB101フランス学概説A	選択	2	1				◎					
LFEFB102フランス学概説B	選択	2	1				◎					
LFEFB103フランスの歴史A	選択	2	1				◎					
LFEFB104フランスの歴史B	選択	2	1				◎					
LFEFB105フランス文化研究A	選択	2	1				◎					
LFEFB106フランス文化研究B	選択	2	1				◎					
LFEFB201フランス文学史A	選択	2	2				◎					
LFEFB202フランス文学史B	選択	2	2				◎					
LFELF103Exercices Pratiques 1A	選択	1	1				◎					
LFELF104Exercices Pratiques 1B	選択	1	1				◎					
LFELF201Exercices Pratiques 2A	選択	1	2				◎					
LFELF202Exercices Pratiques 2B	選択	1	2				◎					
LFELF301フランス語講読2A	選択	1	3				◎			○	○	
LFELF302フランス語講読2B	選択	1	3				◎			○	○	
LFELF303Exercices Pratiques 3A	選択	1	3				◎					
LFELF304Exercices Pratiques 3B	選択	1	3				◎					
LFELF305Exercices Pratiques 4A	選択	1	3				◎					
LFELF306Exercices Pratiques 4B	選択	1	3				◎					
LFELF307フランス語表現法2A	選択	1	3				◎					
LFELF308フランス語表現法2B	選択	1	3				◎					
LFELF309仏会話1A	選択	1	3				◎					
LFELF310仏会話1B	選択	1	3				◎					
LFELF311仏会話2A	選択	1	3				◎					
LFELF312仏会話2B	選択	1	3				◎					
LFELF313実用フランス語A	選択	1	3				◎					
LFELF314実用フランス語B	選択	1	3				◎					
LFELF315時事フランス語A	選択	1	3				◎					
LFELF316時事フランス語B	選択	1	3				◎					
LFELF317観光フランス語A	選択	1	3				◎					
LFELF318観光フランス語B	選択	1	3				◎					
LFELF105検定対策フランス語1A	選択	1	1				◎					
LFELF106検定対策フランス語1B	選択	1	1				◎					
LFELF107検定対策フランス語2A	選択	1	1				◎					
LFELF108検定対策フランス語2B	選択	1	1				◎					
LFELF319検定対策フランス語3A	選択	1	3				◎					
LFELF320検定対策フランス語3B	選択	1	3				◎					
LFELF321Préparation au DELF A	選択	1	3				◎					
LFELF322Préparation au DELF B	選択	1	3				◎					
LFELF323Préparation au TCF A	選択	1	3				◎					

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科4	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の技能	異文化理解と分析力	課題解決の為に分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○								
LFELF324Préparation au TCF B	選択	1	3				◎					
LFELF109Communication niveau avancé	選択	2	1				◎					
LFFAL301フランス語の諸相A	選択	2	3				◎					
LFFAL302フランス語の諸相B	選択	2	3				◎					
LFFAL303フランス語史A	選択	2	3				◎					
LFFAL304フランス語史B	選択	2	3				◎					
LFFAL305現代翻訳論A	選択	2	3				◎					
LFFAL306現代翻訳論B	選択	2	3				◎					
LFFAL307中世・ルネサンス文学A	選択	2	3				◎					
LFFAL308中世・ルネサンス文学B	選択	2	3				◎					
LFFAL309 17・18世紀文学A	選択	2	3				◎					
LFFAL310 17・18世紀文学B	選択	2	3				◎					
LFFAL311近現代の文学A	選択	2	3				◎					
LFFAL312近現代の文学B	選択	2	3				◎					
LFFAL313詩と演劇A	選択	2	3				◎					
LFFAL314詩と演劇B	選択	2	3				◎					
LFFAL315小説と批評A	選択	2	3				◎					
LFFAL316小説と批評B	選択	2	3				◎					
LFFAL317フランス学特講1A	選択	2	3				◎					
LFFAL318フランス学特講1B	選択	2	3				◎					
LFFAP301歴史記述論A	選択	2	3				◎					
LFFAP302歴史記述論B	選択	2	3				◎					
LFFAP303フランス現代史A	選択	2	3				◎					
LFFAP304フランス現代史B	選択	2	3				◎					
LFFAP305日仏比較論A	選択	2	3				◎					
LFFAP306日仏比較論B	選択	2	3				◎					
LFFAP307フランコフォニー研究A	選択	2	3				◎					
LFFAP308フランコフォニー研究B	選択	2	3				◎					
LFFAP309フランス社会の諸相A	選択	2	3				◎					
LFFAP310フランス社会の諸相B	選択	2	3				◎					
LFFAP311現代思想A	選択	2	3					◎				
LFFAP312現代思想B	選択	2	3					◎				
LFFAP313哲学と人間A	選択	2	3					◎				
LFFAP314哲学と人間B	選択	2	3					◎				
LFFAP315精神分析入門A	選択	2	3					◎				
LFFAP316精神分析入門B	選択	2	3					◎				
LFFAP317フランス学特講2A	選択	2	3				◎					
LFFAP318フランス学特講2B	選択	2	3				◎					
LFFAA301現代芸術A	選択	2	3						◎			
LFFAA302現代芸術B	選択	2	3						◎			
LFFAA303映画芸術A	選択	2	3						◎			
LFFAA304映画芸術B	選択	2	3						◎			
LFFAA305写真芸術A	選択	2	3						◎			
LFFAA306写真芸術B	選択	2	3						◎			
LFFAA307舞台表現論A	選択	2	3						◎			
LFFAA308舞台表現論B	選択	2	3						◎			
LFFAA309身体と芸術A	選択	2	3						◎			
LFFAA310身体と芸術B	選択	2	3						◎			
LFFAA311フランス美術A	選択	2	3				○		◎			
LFFAA312フランス美術B	選択	2	3				○		◎			
LFFAA313表象メディア論A	選択	2	3						◎			
LFFAA314表象メディア論B	選択	2	3						◎			

学士力				知識・理解		汎用的技能			態度・志向性		統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				英文学科1	英文学科2	英文学科3	英文学科4	文学部3	文学部4	英文学科4	文学部3	文学部3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				英語圏の文学・文化の基礎知識と幅広い教養	英語の科学的基礎知識、応用知識	グローバル化社会で使える英語の技能	異文化理解と分析力	課題解決の為に分析力・構想力・表現力	よりよい社会の構築に結びつける志向	グローバル化社会への対応能力	専門領域において新たに問題提起する力	専門領域において解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○								
LFFAA315フランスの音楽A	選択	2	3				○		◎			
LFFAA316フランスの音楽B	選択	2	3				○		◎			
LFFAA317フランス学特講3A	選択	2	3				◎					
LFFAA318フランス学特講3B	選択	2	3				◎					
LAFIL105映像芸術学序説P	選択	2	1						◎			
LAFIL106映像芸術学序説S	選択	2	1						◎			
LAFIL305映像文化研究	選択	4	3						◎			
LAFIL306映画史特講1A	選択	2	3						◎			
LAFIL307映画史特講1B	選択	2	3						◎			
LAMED307デジタルアート論A	選択	2	3						◎			
LAMED308デジタルアート論B	選択	2	3						◎			
LAMED309メディア実践論A	選択	2	3						◎			
LAMED310メディア実践論B	選択	2	3						◎			
LAMED315デザイン論A	選択	2	3						◎			
LAMED316デザイン論B	選択	2	3						◎			
LAMED319芸術メディア論特講1A	選択	2	3						◎			
LAMED320芸術メディア論特講1B	選択	2	3						◎			
LAMED321芸術メディア論特講2A	選択	2	3						◎			
LAMED322芸術メディア論特講2B	選択	2	3						◎			
LATHE313バレエ研究A	選択	2	3						◎			
LATHE314バレエ研究B	選択	2	3						◎			
LATHE321舞台芸術論A	選択	2	3						◎			
LATHE322舞台芸術論B	選択	2	3						◎			
LACOM303思想と芸術A	選択	2	3						◎			
LACOM304思想と芸術B	選択	2	3						◎			
LACOM305現代社会と芸術1A	選択	2	3						◎			
LACOM306現代社会と芸術1B	選択	2	3						◎			
LACOM307現代社会と芸術2A	選択	2	3						◎			
LACOM308現代社会と芸術2B	選択	2	3						◎			
LACOM309現代社会と芸術3A	選択	2	3						◎			
LACOM310現代社会と芸術3B	選択	2	3						◎			
LACOM311芸術表現論	選択	2	3						◎			
LACOM312アートマネジメント論	選択	2	3						◎			
教職に関する科目												
TCTEA901英語科指導法3	選択	2	2		◎			○				
TCTEA902英語科指導法4	選択	2	2		◎			○				
TCTEA903英語科指導法1	選択	2	3		◎			○				○
TCTEA904英語科指導法2	選択	2	3		◎			○				○

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

## 英文学科

### (履修の方法)

指導の方針——英語の言語学的研究と、英・米文学および文化的背景の研究に対する学生の欲求に応えられるよう、充分な授業科目を用意配当している。教室以外における図書館やオンライン学習での勉学をも奨励している。

1・2年次においては、主に読解力・作文力・聴解力・発表能力の増強に力点を置く。併せて、初習外国語を含む明治学院共通科目を多岐にわたって履修し、幅広く人間性を形成するとともに、情報化社会に対処しうる国際感覚を身につけることができるよう、カリキュラムを編成している。学生は主体的に自分の将来の希望・進路に応じて多彩な講義を聴き、知的能力を延ばしつつ、専門課程に至る準備としての学識を修得することになる。

3・4年次においては、コース科目を中心として専門化された諸々の講義に接し、自分の専攻分野に関する研究方法を会得し、参考文献に通暁し、以て高度の専門知識を探究してゆくことになる。併せて、将来のキャリアにつながる多様な英語運用能力をみがくことができるようカリキュラムを用意している。

### (ディプロマ・ポリシーを観点とした卒業要件)

1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数（128単位）」を修得する。
2. 幅広い教養およびグローバル化社会で使える英語の技能を身につけるために、「明治学院共通科目」「必修科目（英語関連基礎・発展科目）」を履修して必要単位を修得する。
3. 英語による文学、英語圏の文化に関する基礎的知識、英語という言語に関しての科学的基礎知識、応用知識および異文化社会に対する深い理解と分析力をもち、グローバル化社会の情報や現実に対応できる能力を身につけるために、「必修科目（3分野の入門科目）」「コース必修科目（概論科目）」「選択必修科目（演習科目）」「選択科目（専門コース科目）」を履修して必要単位を修得する。

【1】卒業までに必要な単位数

部 門		卒業に必要な単位数		
明治学院 共通科目	必修 ・ 選択必修	コア科目「キリスト教の基礎A・B」	2科目4単位	計36単位
		言語系科目群 「〇〇語1A・1B・2A・2B」 (フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語から1言語を選択)	4科目4単位 (注1)	
		言語系科目群 「〇〇語研究1A・1B・2A・2B」から2科目 (「〇〇語1A・1B・2A・2B」と同一言語を選択)	2科目4単位 (注1)	
		人文科学系科目	1科目2単位(注2)	
		社会科学系科目	1科目2単位(注2)	
		情報科学系科目	1科目2単位(注2)	
		キャリア&グローバル教養系科目	1科目2単位(注2)	
	選択	16単位		
学科科目	必修	※を付した科目 年次別科目一覧を参照すること。	21科目28単位	計92単位
	コース 必修	所属コースの「〇〇概論A・B」	2科目4単位 (注3)	
		所属コースの「Topics in 〇〇A・B」	2科目4単位 (注4)	
	選択 必修	所属コースの「〇〇3年次演習」または「英語教育3年次演習」、所属コースの「〇〇4年次演習」または「英語教育4年次演習」	2科目4単位 (注5)	
	選択	所属コース科目(注6)	6科目12単位	
		所属コース以外のコース科目、関連科目、英語発展科目A群、(Academic English Skillsを除く)英語発展科目B群、(演習を除く)英語教育科目、卒業論文	40単位	
文学部共通科目 所定の文学部他学科の学科科目および教職に関する科目「英語科指導法1・2・3・4」を16単位まで含めることができる。				
合 計		128単位		

(注1) 選択した言語を大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口にご相談すること。相談の結果、許可された者は、「〇〇語」1A・1B・2A・2Bではなく「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを履修し、2年次に「〇〇語研究」3A・3B・4A・4Bから2科目4単位を修得すること。

(注2) 「人文科学系科目・社会科学系科目・情報科学系科目・キャリア&グローバル教養系科目」からそれぞれ2単位よりも多く修得した場合、超過分の単位は明治学院共通科目の選択科目16単位に含まれる。

(注3) 所属コース以外の「〇〇概論A・B」を修得した場合、その単位は学科科目の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含まれる。

(注4) 所属コースの「Topics in 〇〇A・B」を複数回修得した場合、もしくは所属コース以外の「Topics in 〇〇A・B」を修得した場合、その単位は学科科目の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含まれる。

(注5) 所属コースの「〇〇3年次演習」の代わりに「英語教育3年次演習」を、「〇〇4年次演習」の代わりに「英語教育4年次演習」を選択することも可能。

(注6) 所属コース科目を12単位よりも多く修得した場合、超過分の単位は学科科目の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含まれる。

## 〔2〕年間履修上限単位数等について

- ・英文学科において1年間に履修できる単位数は、49単位とする（「教職に関する科目」に限り、16単位までの超過履修を認める）。ただし、夏季第1期、夏季第2期、春季講座に開講される授業および「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。
- ・転学科の学生および編入学生の履修方法は個々の事情により異なるので、年度初めに教務課の指導を必ず受けること。特に、転学科生の場合、新学科では転学科をしたことによる履修における特別な処置を約束するものではないことを承知しておくこと。従って、場合によっては、4年間では卒業できないこと、白金校舎と横浜校舎両方の科目の履修の必要から自分の希望するような履修ができないこと、などが起こり得る。

## 〔3〕複数回履修の制限について

原則、同一授業科目を複数回履修することはできない。

※「学科科目」の「イギリス文学コース科目」、「アメリカ文学コース科目」、「英語学コース科目」、「関連科目」の諸科目は、担当教員の異なる限り、複数回履修できる。

※学科で指定された科目は複数回履修できる。指定科目については「年次別科目一覧」の注を確認すること。

※他学科の科目の複数回履修については、各学科のページを確認すること。

## 〔4〕履修中止除外科目について

本履修要項中の学修の手引き「履修」の『7. 履修中止制度』において、履修中止ができない科目のうち、「各学科において定めている履修中止の申請ができない科目」は以下のとおりである。

イギリス文学概論A・B	アメリカ文学概論A・B	英語学概論A・B
Topics in British Culture A・B	Topics in American Culture A・B	Topics in Linguistics A・B

## 〔5〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目1科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のD評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。該当者の発表は3月の卒業生発表と同時に行い、試験は3月に実施する。ただし、9月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

## 〔6〕明治学院共通科目

『明治学院共通科目』を参照のこと。

## 〔7〕学科科目

英文学科の学生は、3年次から「イギリス文学コース」、「アメリカ文学コース」、「英語学コース」のいずれかに所属する。各コースに所属するためには、2年次にそのコースの概論（「イギリス文学概論A・B」、「アメリカ文学概論A・B」、または「英語学概論A・B」）の単位を修得しているか、3年次以降に修得する必要がある。

各コースに所属の学生は、3・4年次で、「Topics in ○○A・B」、「～3年次演習」、「～4年次演習」のうち、所属するコースのものが選択必修となる（ただし「英語教育3年次演習」、「英語教育4年次演習」はどのコースに所属していても選択可能）。さらに、所属するコースの選択科目から12単位以上を修得しなければならない。また、卒業論文を選択する場合、原則として所属コースの教員の指導のもとで作成する。

自分の所属するコース以外の科目も履修でき、卒業単位数に数えられる。

なお4年次でコースを変更することはできるが、そのコースの概論（「イギリス文学概論A・B」、「アメリカ文学概論A・B」、または「英語学概論A・B」）の2科目4単位を卒業までに修得しなければならない。また学生は、3年次にそのコースの演習の単位を修得していない場合には、4年次に3年次の演習をも履修することになる。コース変更する前に修得した「～

演習」の単位は、卒業要件に含まれない。

また、卒業に必要な学科科目選択52単位の中に、次のフランス文学科、芸術学科の学科科目及び教職に関する科目を16単位まで含めることができる。履修条件が付されている場合があるので、履修の際は各学科の項を参照すること。

フランス文学科 ※下記の科目を除く学科科目を含めることができる。

実践フランス語A・B	基礎研究A・B	フランス語表現法1A・B
3年次演習	4年次演習	卒業論文

芸術学科 ※下記の科目を含めることができる。

映像芸術学序説P・S	映像文化研究	映画史特講1A・B
デジタルアート論A・B	メディア実践論A・B	デザイン論A・B
芸術メディア論特講1A・B	芸術メディア論特講2A・B	舞台芸術論A・B
バレエ研究A・B	思想と芸術A・B	現代社会と芸術1A・B
現代社会と芸術2A・B	現代社会と芸術3A・B	芸術表現論
アートマネジメント論		

## 英文学科 年次別科目一覧

A・Bに分割された科目が必修科目や選択必修科目である場合は、当然A・Bの両方を履修しなければならない。  
また、履修について特別の規定がある場合には、それに従わなければならない。  
これ以外の場合でも、内容的には通年で完結するものなので、A・Bを連続して履修することが望ましい。

※印は必修科目、○印はコース必修科目、◇印は選択必修科目とする。

1年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
<b>学科基礎科目</b>				
LEBRL	101	※ イギリス文学入門	2	学期
LEAML	101	※ アメリカ文学入門	2	学期
LELIN	101	※ 英語学入門	2	学期
<b>英語基礎科目</b>				
LEBES	101	※ 基礎演習1	2	通年
	102	※ Listening and Pronunciation A	1	学期
	103	※ Listening and Pronunciation B	1	学期
	104	※ Reading A	1	学期
	105	※ Reading B	1	学期
	106	※ 英文法A	1	学期
	107	※ 英文法B	1	学期
	108	※ Writing A	1	学期
	109	※ Writing B	1	学期
<b>英語発展科目A群</b>				
LEAES	101	英語オーラルコミュニケーションA (注1)	2	学期
	102	英語オーラルコミュニケーションB (注1)	2	学期
	103	英語文章読解法A	2	学期
	104	英語文章読解法B	2	学期
	105	英語文章作成法A	2	学期
	106	英語文章作成法B	2	学期
<b>英語教育科目 (注2)</b>				
LEETE	203	TESOL Seminar (短期留学) (注3)	2	集中

(注1) 英語オーラルコミュニケーションBの履修は英語オーラルコミュニケーションAを履修していることが前提である。従って、「B」の履修は前年度までに「A」の単位を修得しているか、今年度に「A・B」の両方を履修する場合のみ可能である。

(注2) 「英語教員養成プログラム」の修了を目指す学生は、英語教育科目から16単位以上修得すること。

(注3) 「TESOL Seminar (短期留学)」は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。詳細は、必ず「留学ハンドブック」を確認すること。また、この科目は年間履修上限単位数には含まれない。

2年次				
ナンバリング	科目名		単位数	開講
<b>学科基礎科目（注4）</b>				
LEBRL	201	○ イギリス文学概論A	2	学期
	202	○ イギリス文学概論B	2	学期
LEAML	201	○ アメリカ文学概論A	2	学期
	202	○ アメリカ文学概論B	2	学期
LELIN	201	○ 英語学概論A	2	学期
	202	○ 英語学概論B	2	学期
<b>英語基礎科目</b>				
LEBES	201	※ 基礎演習2	2	通年
	202	※ Listening and Speaking A	1	学期
	203	※ Listening and Speaking B	1	学期
	204	※ Academic Reading A	1	学期
	205	※ Academic Reading B	1	学期
	206	※ Academic Writing A	1	学期
	207	※ Academic Writing B	1	学期
<b>英語教育科目（注2）</b>				
LEETE	201	英語教育基礎論A	2	学期
	202	英語教育基礎論B	2	学期
<b>文学部共通科目</b>				
LECRS	201	異文化理解1	2	学期
	202	異文化理解2	2	学期

（注4）イギリス文学概論A・B、アメリカ文学概論A・B、英語学概論A・Bの6科目のうち、各自の所属コースとなる○  
○概論A・B2科目は必修科目であるので、必ず修得しなければならない。3科目以上履修した場合に、3科目め  
からの単位は、学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）40単位に算入される。

○印と◇印（Topics in～・演習）は、選択科目のうち所属コース科目で修得すべき12単位には含まれないので注意すること。

3年次				
ナンバリング	科 目 名		単位数	開講
<b>イギリス文学コース科目（注5）</b>				
LEBRL	301	イギリス詩A	2	学期
	302	イギリス詩B	2	学期
	303	イギリス小説A	2	学期
	304	イギリス小説B	2	学期
	305	イギリス演劇A	2	学期
	306	イギリス演劇B	2	学期
	307	イギリス文学史A	2	学期
	308	イギリス文学史B	2	学期
	309	イギリス文学批評A	2	学期
	310	イギリス文学批評B	2	学期
	311	イギリス文学特講A	2	学期
	312	イギリス文学特講B	2	学期
	313	イギリス文化研究A	2	学期
	314	イギリス文化研究B	2	学期
	315	○ Topics in British Culture A（注6）	2	学期
	316	○ Topics in British Culture B（注6）	2	学期
	317	◇ イギリス文学3年次演習（注7）	2	通年
<b>アメリカ文学コース科目（注5）</b>				
LEAML	301	アメリカ詩A	2	学期
	302	アメリカ詩B	2	学期
	303	アメリカ小説A	2	学期
	304	アメリカ小説B	2	学期
	305	アメリカ演劇A	2	学期
	306	アメリカ演劇B	2	学期
	307	アメリカ文学史A	2	学期
	308	アメリカ文学史B	2	学期
	309	アメリカ文学批評A	2	学期
	310	アメリカ文学批評B	2	学期
	311	アメリカ文学特講A	2	学期
	312	アメリカ文学特講B	2	学期
	313	アメリカ文化研究A	2	学期
	314	アメリカ文化研究B	2	学期
	315	○ Topics in American Culture A（注6）	2	学期
	316	○ Topics in American Culture B（注6）	2	学期
	317	◇ アメリカ文学3年次演習（注7）	2	通年
<b>英語学コース科目（注5）</b>				
LELIN	301	音声学A	2	学期
	302	音声学B	2	学期
	303	英語史A	2	学期
	304	英語史B	2	学期
	305	音韻論A	2	学期

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LELIN	306	音韻論B	2	学期
	307	統語論A	2	学期
	308	統語論B	2	学期
	309	意味論A	2	学期
	310	意味論B	2	学期
	311	語用論A	2	学期
	312	語用論B	2	学期
	313	心理言語学A	2	学期
	314	心理言語学B	2	学期
	315	社会言語学A	2	学期
	316	社会言語学B	2	学期
	317	英語学特講A	2	学期
	318	英語学特講B	2	学期
	319	○ Topics in Linguistics A (注6)	2	学期
	320	○ Topics in Linguistics B (注6)	2	学期
321	◇ 英語学3年次演習 (注7)	2	通年	
関連科目 (注5)				
LECRS	301	英米宗教文学A	2	学期
	302	英米宗教文学B	2	学期
	303	英語聖書A	2	学期
	304	英語聖書B	2	学期
	305	英米児童文学A	2	学期
	306	英米児童文学B	2	学期
	307	イギリス研究A	2	学期
	308	イギリス研究B	2	学期
	309	アメリカ研究A	2	学期
	310	アメリカ研究B	2	学期
	311	Intercultural Communication A	2	学期
	312	Intercultural Communication B	2	学期
英語発展科目B群				
LEAES	301	Business English A	2	学期
	302	Business English B	2	学期
	303	翻訳技法A	2	学期
	304	翻訳技法B	2	学期
	305	通訳技法A	2	学期
	306	通訳技法B	2	学期
	307	※ Academic English Skills A (注8)	2	学期
	308	※ Academic English Skills B (注8)	2	学期
	309	Advanced Academic Writing (注9)	2	学期
英語教育科目 (注2)				
LEETE	301	英語教育方法論A	2	学期
	302	英語教育方法論B	2	学期
	303	英語教育実践論A	2	学期
	304	英語教育実践論B	2	学期

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LEETE	305	英語教育評価論A	2	学期
	306	英語教育評価論B	2	学期
	307	Current Topics in ELT A	2	学期
	308	Current Topics in ELT B	2	学期
	309	◇ 英語教育3年次演習（注7）	2	通年
文学部共通科目				
LFLTJ	301	日本文学（専）A	2	学期
	302	日本文学（専）B	2	学期
LAGEN	101	中国文学A	2	学期
	102	中国文学B	2	学期
	103	ドイツ文学A	2	学期
	104	ドイツ文学B	2	学期
LFLTE	301	西洋文学A	2	学期
	302	西洋文学B	2	学期
LFCIN	301	異文化理解3	2	学期
	302	異文化理解4	2	学期
LXCRS	301	哲学（専）1（注10）	2	学期
	302	哲学（専）2（注10）	2	学期
LECRS	313	言語学A	2	学期
	314	言語学B	2	学期
LFLAT	301	ラテン語1A（注11）	2	学期
	302	ラテン語1B（注11）	2	学期
	303	ラテン語2A	2	学期
	304	ラテン語2B	2	学期
LECRS	315	小説技法A	2	学期
	316	小説技法B	2	学期
	317	翻訳論A	2	学期
	318	翻訳論B	2	学期
	319	Practical Career English A	2	学期
	320	Practical Career English B	2	学期
LAGEN	105	文化史A	2	学期
	106	文化史B	2	学期
	107	民俗学A	2	学期
	108	民俗学B	2	学期
LFIIA	301	AI問題入門	2	学期

（注5）「イギリス文学コース科目」、「アメリカ文学コース科目」、「英語学コース科目」、「関連科目」の諸科目は、同一科目であっても担当教員が異なる場合に限り複数回履修でき（同一教員による同一科目は1回しか単位修得できない）、卒業単位数に数えられる（所属コース科目であれば所属コース科目の12単位に含められる）。

（注6）Topics in British Culture A・B、Topics in American Culture A・B、Topics in Linguistics A・Bの6科目のうち、2科目（同一コースのA・B）は、各コースに所属する学生にとっては必修科目である。3科目以上履修した場合は、学科科目の選択科目（所属コース以外の科目）40単位に算入される。但し、所属コース科目で修得すべき12単位には含めない。

（注7）3年次演習の履修手続きは前年度の11月から12月にかけて行う。クラス履修者は原則として15名を限度とする。3年次と4年次の演習科目は、希望するクラスの定員に空きがあり、担当教員が許可した場合に限り、複数回履

修できる。その場合、4年次の学生が3年次の演習を履修することもできる。ただし演習科目の複数履修は、卒業要件単位としては認められない。

- (注8) Academic English Skills A・B (必修：A・B各2単位) の履修手続きは学生各自が春学期履修登録時に行う。登録の際、学科及び教務課からの掲示に注意し確認すること。クラス履修者は原則25名を限度とし、履修者数が過大でなく担当教員が異なる場合にかぎり複数履修できる。複数履修の上限は、3年次から卒業年次においてA・B6単位ずつし卒業要件の選択科目(所属コース以外の科目)40単位に含めることができる。再履修や複数履修の可能なクラスについては、履修登録直前の3月以降教務課からの掲示をPort Hepburn等で確認し、初回授業で担当教員の許可を得ること。
- (注9) 卒業論文を執筆する者は、Advanced Academic Writingを履修することが望ましい。
- (注10) 哲学(専)1・2を履修するためには、明治学院共通科目の「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(論理学)の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の2科目(計4単位)を修得済みでなければならない。
- (注11) 明治学院共通科目の「ラテン語研究A・B」を修得した者は、文学部共通科目「ラテン語1A・B」を履修できない。

4年次					
ナンバリング		科目名		単位数	開講
イギリス文学コース科目					
LEBRL	401	◇ イギリス文学4年次演習（注7・12）		2	通年
アメリカ文学コース科目					
LEAML	401	◇ アメリカ文学4年次演習（注7・12）		2	通年
英語学コース科目					
LELIN	401	◇ 英語学4年次演習（注7・12）		2	通年
英語教育科目（注2）					
LEETE	401	◇ 英語教育4年次演習（注7・12）		2	通年
卒業論文					
LEGRA	401	卒業論文（注9・13）		6	通年

（注12）4年次演習は卒業論文の指導を行わず、テキストの演習を主とする。4年次演習は、3年次演習からの持ち上がりとなるため、募集は行わない。変更を希望する学生は、3月下旬に実施される二次募集にて、定員に達していないクラスに希望を出すことができる。3月中旬にPort Hepburnの掲示を確認すること。なお3年生の秋学期から、1年間認定留学をする者については、3年次演習の履修手続きを行う際に、4年次演習の履修手続きも合わせて行い、留学前に3・4年次演習の春学期分を、留学後に秋学期分を履修して所定の単位を修得すること。

（注13）卒業論文について

- ① 卒業論文は選択・許可制であるが、当該年度4月頭に、
  - 1) 自分の書こうとするテーマについて適当な指導教員に連絡を取り、許可を受けること。
  - 2) Port Hepburnの掲示に従い、卒業論文執筆申込をすること。
  - 3) 卒業論文の履修登録は、1)、2)の手続きを済ませた者に対して、教務課で登録を行う。
- ② 3年生の秋学期、または4年生の秋学期から1年間認定留学をする者についての取扱い。
  - 1) 原則として、留学開始前の春学期履修登録期間に登録すること。
  - 2) 留学中に意思が変わり履修希望となった場合、指導教員の許可を得た上で、春学期履修登録期間に速やかに英文学科共同研究室にメール（eibun2@ltr.meijigakuin.ac.jp）し、学科主任の承諾を得ること。
  - 3) 2)の承諾を得た後、教務課にて登録を行う。留学中である春学期間中は遠隔指導となる場合がある。
  - 4) 一度履修登録した場合、履修削除・履修中止は一切認められない。
- ③ 卒業論文の指導は本学の専任教員がこれに当たり、卒業論文のためのクラスは特に設けないので、学生は各自研究室を訪ね、指導・助言を受けることになる。
- ④ 卒業論文の審査は、指導教員が行う。評価項目と評価基準を以下に示す。
  - 1) 「論文」については、以下の項目を総合的に評価する。
    - ・論文としての構成・体裁が整っているか。
    - ・研究の焦点が定まっていて、研究内容が具体的に示されているか。
    - ・研究の結果は適切な資料やデータに裏付けられているか。
    - ・研究の意義・成果は簡潔にまとめられているか。
    - ・論文としての独創性が認められるか。
    - ・文章は用語・文法表現などが適切で、論理的に書かれているか。
    - ・文献などの引用は適切で、的確に標記されているか。
  - 2) 「研究プロセス」については、以下の項目を総合的に評価する。
    - ・研究課題に対する理解度
    - ・研究の計画性と実行能力
    - ・研究に対する取り組み姿勢

⑤ 論文作成上の注意

- 1) すべて英語で書くこと（手書き不可）。
- 2) 提出方法や提出期限等については教務課からのお知らせを必ず確認すること。
- 3) フォントサイズは11～12ポイントで、行数は1ページにつき25行に指定する。本文のみで30枚以上50枚以下にまとめること。ただし、作品原文の引用は論文全体の3分の1を越えてはならない。

⑥ 疑問点、詳細については指導教員および英文学科共同研究室に相談すること。

⑦ 在学5年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、9月卒業の申請科目に「卒業論文」を含めることができる。この場合履修手続きは、4月となる。

- 1) 前年度までに得た「卒業論文」の評価が「D」（提出したが不合格）であること。
  - 2) 卒業希望年度に「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
  - 3) 卒論指導担当者（それが不可能な場合は学科主任）から、9月卒業を前提とした卒業論文履修者として、履修の許可を得ていること。
- \* 申請者は、卒業論文を7月第一火または水曜日に教務課へ提出し、審査の上合格した場合、春学期末に単位を修得できる。
  - \* 上記期日までに未提出又は審査が不合格の場合、一般学生と同じ1月の期日に改めて提出することができる。
  - \* 希望者は、教務課指定の履修許可書に卒業論文指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類とあわせて教務課に提出すること。

## 〔8〕英語教員養成プログラム

英語教員を志望する英文学科の学生は、所属コースの別なく、希望により「英語教員養成プログラム」の科目を履修することができる。また「英語教育科目（英語教育基礎論・方法論・実践論・評価論、Current Topics in ELT、TESOL Seminar（短期留学）および英語教育3・4年次演習）」から16単位以上修得することにより、プログラム修了の認定が受けられる。なお、「英語教員養成プログラム」の履修登録は、所属3年次演習決定後に、登録申請することによって行われる。

所属コースごとの履修モデルは下記1)～3)の通り。

1) イギリス文学コース（英語教員養成プログラム）の履修モデル

学科科目のコース必修・選択必修科目	学科科目の選択科目（52単位）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリス文学入門（2単位）</li> <li>・イギリス文学概論A・B（4単位）</li> <li>・Topics in British Culture A・B(4単位)</li> <li>・イギリス文学3年次演習（2単位）※</li> <li>・イギリス文学4年次演習（2単位）※</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■イギリス文学コース科目（12単位以上）</li> <li>・イギリス詩A・B</li> <li>・イギリス小説A・B</li> <li>・イギリス演劇A・B</li> <li>・イギリス文学史A・B</li> <li>・イギリス文学批評A・B</li> <li>・イギリス文学特講A・B</li> <li>・イギリス文化研究A・B</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語教育科目（16単位以上）※</li> <li>■学科科目</li> <li>■他学科科目[英語科指導法1・2・3・4（8単位）を含めることも可能]</li> </ul>

(※)「イギリス文学3年次演習（2単位）」、「イギリス文学4年次演習（2単位）」に代えてそれぞれ「英語教育3年次演習（2単位）」、「英語教育4年次演習（2単位）」を選択可能。ただし、その場合、英語教員養成プログラム修了認定要件である英語教育科目（16単位以上）にはカウントされるが、学科科目の選択必修科目となるため、選択科目（52単位）にはカウントされない。

2) アメリカ文学コース（英語教員養成プログラム）の履修モデル

学科科目のコース必修・選択必修科目	学科科目の選択科目（52単位）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ文学入門（2単位）</li> <li>・アメリカ文学概論A・B（4単位）</li> <li>・Topics in American Culture A・B(4単位)</li> <li>・アメリカ文学3年次演習（2単位）※</li> <li>・アメリカ文学4年次演習（2単位）※</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アメリカ文学コース科目（12単位以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ詩A・B</li> <li>・アメリカ小説A・B</li> <li>・アメリカ演劇A・B</li> <li>・アメリカ文学史A・B</li> <li>・アメリカ文学批評A・B</li> <li>・アメリカ文学特講A・B</li> <li>・アメリカ文化研究A・B</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語教育科目（16単位以上）※</li> <li>■学科科目</li> <li>■他学科科目[英語科指導法1・2・3・4（8単位）を含めることも可能]</li> </ul>

（※）「アメリカ文学3年次演習（2単位）」、「アメリカ文学4年次演習（2単位）」に代えてそれぞれ「英語教育3年次演習（2単位）」、「英語教育4年次演習（2単位）」を選択可能。ただし、その場合、英語教員養成プログラム修了認定要件である英語教育科目（16単位以上）にはカウントされるが、学科科目の選択必修科目となるため、選択科目（52単位）にはカウントされない。

3) 英語学コース（英語教員養成プログラム）の履修モデル

学科科目のコース必修・選択必修科目	学科科目の選択科目（52単位）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語学入門（2単位）</li> <li>・英語学概論A・B（4単位）</li> <li>・Topics in Linguistics A・B（4単位）</li> <li>・英語学3年次演習（2単位）※</li> <li>・英語学4年次演習（2単位）※</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語学コース科目（12単位以上） <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声学A・B</li> <li>・英語史A・B</li> <li>・音韻論A・B</li> <li>・統語論A・B</li> <li>・意味論A・B</li> <li>・語用論A・B</li> <li>・社会言語学A・B</li> <li>・心理言語学A・B</li> <li>・英語学特講A・B</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■英語教育科目（16単位以上）※</li> <li>■学科科目</li> <li>■他学科科目[英語科指導法1・2・3・4（8単位）を含めることも可能]</li> </ul>

（※）「英語学3年次演習（2単位）」、「英語学4年次演習（2単位）」に代えてそれぞれ「英語教育3年次演習（2単位）」、「英語教育4年次演習（2単位）」を選択可能。ただし、その場合、英語教員養成プログラム修了認定要件である英語教育科目（16単位以上）にはカウントされるが、学科科目の選択必修科目となるため、選択科目（52単位）にはカウントされない。

## 【9】大学独自の認証資格について

### 内なる国際化プロジェクト

文化、宗教、民族性など、多様な価値観を理解する学生をはぐくむこと、そして外国につながる人々を包摂した共生社会の担い手として、人権問題などに対して鋭い洞察力をもった学生の育成を目的としています。

- ・このプロジェクトを通じ、所定の教室での学びを修めた学生は「多文化共生サポーター」として認証される。その上でさらに、支援実践参加の学びを修めた学生は「多文化共生ファシリテーター」として認証される。

- ・【教室での学び】 明治学院共通科目と文学部が開講する科目のうち、指定された科目を12単位以上修得した者が申請を行った場合に「多文化共生サポーター」として認証される。開講科目はプロジェクト公式WEBサイト (<https://internal-i18n-meijigakuin.org/>) で確認すること。
- ・【支援実践参加の学び】 「多文化共生ファシリテーター」の認証に必要な支援実践の場への参加を希望する者は、「多文化共生各論1・2」「ボランティア実践指導」等、★印の科目（合計4単位）を履修すること。



# フランス文学科



## 文学部の目標と方針

### 人材養成上の目的・教育目標

文学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

文学部においては、さまざまな時代や状況においてなされた人間の創造行為や表現活動の諸相を学生に教授し、他者を理解するとともにまた自らを知る力を培う。そうして、新たな文化を構想する知的分析力や創造力をもった人材を養成してゆく。その過程において、問題を発見する力やそれを伝達する言語能力の涵養も重視し、将来自らが関わる社会のさまざまな局面において、柔軟かつ斬新な思考を展開できる人間を育てる。

### 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

- 1 人類の歴史・文化・社会および自然・健康に関する基礎的な教養を身につけている。
- 2 言語や文化・歴史、あるいはさまざまな表現ジャンルの芸術に関する体系的な知識を有している。
- 3 個別専門的な領域における新たな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力を有し、またそれを明快に伝達する表現能力を備えている。
- 4 さまざまな時代・環境における他者の営みを理解し、その認識をより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

### 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、文学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 各学科の専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につける授業を、初年次から多く設置する。
- 2 体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、個別特殊な課題を扱う授業を多く開講し、具体的な課題を思考し、ともに議論する機会を学生に授ける。
- 3 さまざまな言語や文化、あるいは表現活動に触れることによって、自らを他へと開いてゆく経験を与える。
- 4 自らの視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養う過程として、少人数のゼミや卒業論文制作などを重視する。

# フランス文学科の目標と方針

## 人材養成上の目的・教育目標

文学部フランス文学科は、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、フランス文学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

フランス文学科は、フランス語圏さらにはその外へと視野を広げることで、ともすれば画一化されがちな日本社会に向けてユニークな発想を提言できるような、斬新な視点をもった創造性あふれる人材を養成することを目的とする。このような目的のもと、本学科では、フランスおよびフランス語圏の言語および文学・芸術・歴史・思想の研究を通じて、感性と知性を養うとともに、自らの着想を他の人々に確かに伝える表現力を鍛え、真に豊かな文明のありようを追求することを教育目標として定める。

## 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部フランス文学科は、文学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、フランス文学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに126単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

- 1 フランス語の文法や発音の基礎を習得し、読み、書き、聞き、話すための実践的な運用能力を身につけている。
- 2 フランス語圏の言語・文化・文学・芸術・歴史・思想について、個別的で広汎な知識を身につけるとともに、自らの思考を相対化する術を習得している。
- 3 異なる背景をもつ人々の意見に耳を傾け、現代社会における多様な文化のあり方をともに追究する姿勢を身につけている。
- 4 自分自身で問題を提起し、資料を探索・収集して立論に必要かつ有効な情報を選び出して、論理的かつ説得的に自らの見解を述べる力を獲得している。

## 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部フランス文学科は、文学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、フランス文学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

フランス文学科では、フランス語およびフランス文化の基礎を学ぶ科目から専門科目群へと、学生の関心を段階的、継続的に引き出し、その深化を促す、一貫した積み上げ方式のカリキュラムを編成する。

- 1 1年次・2年次には、日本人教員とネイティブの教員の担当するクラス制の授業（必修）で、重点的にフランス語の基礎（文法・講読・会話・作文）を学ぶ。フランス語力の指標となる外部検定試験・実用フランス語技能検定試験（仏検）対策の授業も、1年次より設置している。
- 2 1年次・2年次には、専門教育への導入的な科目（必修・選択）を設ける。フランス語圏の文学、文化、歴史、社会についての概説的な授業を講義形式で行うとともに、個別特殊な問題を扱う演習形式の授業を設ける。
- 3 3年次・4年次には、そうした一連の授業で培われた個別的な関心を深められるよう、さまざまな時代や地域、分野を専門とする教員による、多彩な専門教育科目（選択必修）を配置する。「ことばと文学」、「思想と社会」、「芸術と文化」の3つの系列に分類されるこれらの専門科目を、学生は主体的に選択して履修し、体系的な知識を身につける。
- 4 3年次・4年次には、少人数制の「演習」（必修ゼミ）に所属する。「演習」ではフランス語圏の言語・文学・芸術・歴史・思想の諸問題をテーマに掲げ、グループ学習や議論を通じて、他人の意見を尊重しつつ、自らの見解を説得的に述べるためのコミュニケーション能力を身につけることを目指す。
- 5 4年次必修の「卒業論文」では、指導教員の指導のもとに関心分野をしばらくこみ、論文のテーマを決定する。学生は資料探索、プランの作成、執筆のすべての段階にわたり、指導教員の助言を得ながら、自ら見つけた課題について、資料

を探索・収集し、自らの着想を論理的かつ説得的に組み立てる術を学ぶ。

6 1年次・2年次に引き続き3年次・4年次でも、読み、書き、聞き、話すための実践的なフランス語の訓練を行う。中級講読の授業やネイティブの教員による会話中心の授業を通じ、中級、上級へのレベルアップをはかる。仏検対策の授業に加え、3年次以降は、フランス語圏の大学機関への留学に際して取得を要請されるDELF（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）対策の授業も設置する。

学習成果の評価については授業の性格に応じ、レポート・筆記試験に加え、口頭発表（プレゼンテーション）を通じて、目標達成度や主体的な学びの姿勢を評価する。また、卒業論文に関しては、主査と副査の2名による厳正な審査を通して、主題に関する知識および理解度、問題解決力、創造的思考力を総合的に評価する。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター/サポーターの認証資格取得も可能である。

94

LF フランス文学科 カリキュラムツリー

※ ・下図は、能力要件表で◎を設定した科目のみ表示しています。  
 ・下線の科目は、必修科目です(選択必修科目には下線を引いておりませんのでご注意ください。)

能力① フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	能力② フランス語圏の言語や文化についての個別的知识の習得	能力③ 情報収集力	能力④ フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	能力⑤ 多様な文化のあり方を追求する姿勢	能力⑥ 問題提起力	能力⑦ 論理的かつ説得的見解を述べる力
DP2	DP1・2	DP4	DP1・2	DP3	DP4	DP4

(5)卒業論文

能力⑦  
LEVIEW0401卒業論文

4年

(4)専門演習

能力⑦  
LFSSEM401 4年次演習

能力⑦  
LFSSEM301 3年次演習

(3)フランス学発展科目

①ことばと文学

能力④  
LFFAL305現代翻訳論 A LFFAL306現代翻訳論B

能力②

LFFAL301フランス語の理解A  
LFFAL302フランス語の理解B  
LFFAL303フランス語史A  
LFFAL304フランス語史B  
LFFAL307中世・ルネサンス文学A  
LFFAL308中世・ルネサンス文学B  
LFFAL30917・18世紀文学A  
LFFAL31017・18世紀文学B  
LFFAL311近現代の文学A  
LFFAL312近現代の文学B  
LFFAL313詩と演劇A LFFAL314詩と演劇B  
LFFAL315小説と批評A LFFAL316小説と批評B  
LFFAL317フランス学特講1A  
LFFAL318フランス学特講1B

(2)フランス語科目

能力④

LFEFL301フランス語講義2A  
LFEFL302フランス語講義2B  
LFEFL303Exercices Pratiques 3A  
LFEFL304Exercices Pratiques 3B  
LFEFL305Exercices Pratiques 4A  
LFEFL306Exercices Pratiques 4B  
LFEFL307フランス語講義2A  
LFEFL308フランス語講義2B  
LFEFL3114.会話2  
LFEFL3124.会話2B  
LFEFL3134.会話2B  
LFEFL3144.会話2B  
LFEFL3154.会話2B  
LFEFL3164.会話2B  
LFEFL3174.会話2B  
LFEFL3184.会話2B  
LFEFL3194.会話2B  
LFEFL3204.会話2B  
LFEFL3214.会話2B  
LFEFL3224.会話2B  
LFEFL3234.会話2B  
LFEFL3244.会話2B

(6)文学部共通科目

能力⑥

LXCRS301哲学(専)1  
LXCRS302哲学(専)2

能力⑤

LFLTJ301日本文学(専)A  
LFLTJ302日本文学(専)B  
LAGEN101中国文学A  
LAGEN102中国文学B  
LAGEN103ドイツ文学A  
LAGEN104ドイツ文学B  
LFLTE301西洋文学A  
LFLTE302西洋文学B  
LFCIN301真文化理解A  
LFCIN302真文化理解B  
LFCIN303真文化理解C  
LFCIN304真文化理解D  
LFCIN305真文化理解E  
LFCIN306真文化理解F  
LFCIN307真文化理解G  
LFCIN308真文化理解H  
LFCIN309真文化理解I  
LFCIN310真文化理解J  
LFCIN311真文化理解K  
LFCIN312真文化理解L  
LFCIN313真文化理解M  
LFCIN314真文化理解N  
LFCIN315真文化理解O  
LFCIN316真文化理解P  
LFCIN317真文化理解Q  
LFCIN318真文化理解R  
LFCIN319真文化理解S  
LFCIN320真文化理解T  
LFCIN321真文化理解U  
LFCIN322真文化理解V  
LFCIN323真文化理解W  
LFCIN324真文化理解X  
LFCIN325真文化理解Y  
LFCIN326真文化理解Z

能力④

LECRS319Practical Career English A  
LECRS320Practical Career English B

明治学院共通科目

文学部他学科の学科科目

能力⑤

LEBR1301キリス語A  
LEBR1302キリス語B  
LEBR1303キリス語C  
LEBR1304キリス語D  
LEBR1305キリス語E  
LEBR1306キリス語F  
LEBR1307キリス語G  
LEBR1308キリス語H  
LEBR1309キリス語I  
LEBR1310キリス語J  
LEBR1311キリス語K  
LEBR1312キリス語L  
LEBR1313キリス語M  
LEBR1314キリス語N  
LEBR1315キリス語O  
LEBR1316キリス語P  
LEBR1317キリス語Q  
LEBR1318キリス語R  
LEBR1319キリス語S  
LEBR1320キリス語T  
LEBR1321キリス語U  
LEBR1322キリス語V  
LEBR1323キリス語W  
LEBR1324キリス語X  
LEBR1325キリス語Y  
LEBR1326キリス語Z

能力④

LEIN311英語学A  
LEIN312英語学B  
LEIN313心理言語学A  
LEIN314心理言語学B  
LEIN315社会言語学A  
LEIN316社会言語学B  
LEIN317英語学特講A  
LEIN318英語学特講B  
LEIN319英語学特講C  
LEIN320英語学特講D  
LEIN321英語学特講E  
LEIN322英語学特講F  
LEIN323英語学特講G  
LEIN324英語学特講H  
LEIN325英語学特講I  
LEIN326英語学特講J  
LEIN327英語学特講K  
LEIN328英語学特講L  
LEIN329英語学特講M  
LEIN330英語学特講N  
LEIN331英語学特講O  
LEIN332英語学特講P  
LEIN333英語学特講Q  
LEIN334英語学特講R  
LEIN335英語学特講S  
LEIN336英語学特講T  
LEIN337英語学特講U  
LEIN338英語学特講V  
LEIN339英語学特講W  
LEIN340英語学特講X  
LEIN341英語学特講Y  
LEIN342英語学特講Z

LEAES303翻訳技法A  
LEAES304翻訳技法B  
LEAES305翻訳技法C  
LEAES306翻訳技法D

3年

明治学院共通科目

<p>②思想と社会</p> <p><b>能力②</b></p> <p>LFAP301歴史記述論A LFFAP302歴史記述論B          LFFAP303フランス現代史A          LFFAP304フランス現代史B          LFFAP305日仏比較論 LFFAP306日仏比較論B          LFFAP307フランクフォート一研究A          LFFAP308フランクフォート一研究B          LFFAP309フランス社会の歴史A          LFFAP310フランス社会の歴史B          LFFAP311現代思想A LFFAP312現代思想B          LFFAP313哲学と人間A LFFAP314哲学と人間B          LFFAP315精神分析入門A LFFAP316精神分析入門B          LFFAP317フランス学特講2A          LFFAP318フランス学特講2B</p>	<p>③芸術と文化</p> <p><b>能力②</b></p> <p>LFFAA301現代芸術A LFFAA302現代芸術B          LFFAA303映画芸術A LFFAA304映画芸術B          LFFAA305写真芸術A LFFAA306写真芸術B          LFFAA307舞台表現論A LFFAA308舞台表現論B          LFFAA309身体と芸術A LFFAA310身体と芸術B          LFFAA311フランス美術A LFFAA312フランス美術B          LFFAA313表裏メディア論A          LFFAA314表裏メディア論B          LFFAA315フランスの音楽A          LFFAA316フランスの音楽B          LFFAA317フランス学特講3A          LFFAA318フランス学特講3B</p>	<p>(1)フランス学基礎科目</p> <p><b>能力⑦</b></p> <p>LFEFB203基礎研究A          LFEFB204基礎研究B</p> <p><b>能力①</b></p> <p>LFEFB201フランス文学A          LFEFB202フランス文学B</p>	<p><b>能力①</b></p> <p>LFEFB101フランス学概論A          LFEFB102フランス学概論B          LFEFB103フランスの歴史A          LFEFB104フランスの歴史B          LFEFB105フランス文化研究A          LFEFB106フランス文化研究B</p>
<p><b>能力②</b></p> <p>LFEFL309仏会話1A          LFEFL310仏会話1B</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LFELE201Exercices Pratiques 2A          LFELE202Exercices Pratiques 2B</p> <p><b>能力②</b></p> <p>LFELE203フランス語読法1A          LFELE204フランス語読法1B</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LFELE107検定対策フランス語2A          LFELE108検定対策フランス語2B          LFELE109Communication niveau avancé</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LFELE111基礎フランス語A          LFELE112基礎フランス語B          LFELE103Exercices Pratiques 1A          LFELE104Exercices Pratiques 1B          LFELE105検定対策フランス語1A          LFELE106検定対策フランス語1B</p>
<p><b>能力③</b></p> <p>LFLIA301AI問題入門</p> <p><b>能力②</b></p> <p>LFLAT301ラテン語1A          LFLAT302ラテン語1B          LFLAT303ラテン語2A          LFLAT304ラテン語2B</p>	<p>教職に関する科目</p> <p><b>能力④</b></p> <p>TCTEA9137が語科指導法1          TCTEA9147が語科指導法2</p> <p><b>能力④</b></p> <p>TCCTEA91179が語科指導法3          TCCTEA9127が語科指導法4</p>	<p><b>能力⑤</b></p> <p>LECRS201異文化理解1          LECRS202異文化理解2</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LEBES101英語学入門          LEBES108Writing A          LEAES101英語-ラレコ-ラジA          LEAES103英語文章読解法A          LEAES105英語文章作成法A          LEETE203TESOL Seminar(短期留学)</p> <p><b>能力③</b></p> <p>LAFIL101映画史通説P LAFIL102映画史通説S          LAFIL104映像芸術学特講P LAFIL105映像芸術学特講S          LAFAH101西洋美術通史P LAFAH102西洋美術通史S          LATHE103身体表現論P          LATHE104身体表現論S</p>
<p><b>能力③</b></p> <p>LAMUS306音楽学特講1A          LAMUS307音楽学特講1B          LAMUS308音楽学特講2A          LAMUS309音楽学特講2B          LAMUS310音楽学特講3A          LAMUS311音楽学特講3B          LAMUS312音楽学特講4          LAMUS313音楽学特講5          LAMUS314音楽学特講6          LAMUS315音楽学特講7          LAFIL304映画史通説          LAFIL305映画史通説A          LAFIL306映画史通説B          LAFIL308映画史通説2B          LAFIL309映画史通説2A          LAFIL310映像芸術学特講1A          LAFIL311映像芸術学特講1B          LAFIL312映像芸術学特講2A          LAFIL313映像芸術学特講2B          LAFIL314映像芸術学特講3A          LAFIL315映像芸術学特講3B          LAFIL316映像史の理論と方法A          LAFIL317映像史の理論と方法B          LAFAH303西洋美術史特講1A          LAFAH304西洋美術史特講1B          LAFAH305西洋美術史特講2A          LAFAH306西洋美術史特講2B          LAFAH210現代美術論A          LAFAH210現代美術論B          LAMED307デジタルアート論A          LAMED308デジタルアート論B</p>	<p><b>能力④</b></p> <p>LACOM311芸術表現論          LACOM312アートマネジメント論</p>	<p><b>能力⑤</b></p> <p>LEBRL201キリス文学概論A          LEAML201キリス文学概論B          LEAML202キリス文学概論A          LEAML202キリス文学概論B</p> <p><b>能力④</b></p> <p>LELIN201英語学概論A          LELIN202英語学概論B</p> <p><b>能力③</b></p> <p>LAFAH203日本・東洋美術史資料講A          LAFAH204日本・東洋美術史資料講B</p>	<p><b>能力⑤</b></p> <p>LEBES106英文法A          LEBES107英文法B          LEAES109Writing B          LEAES102英語-ラレコ-ラジB          LEAES104英語文章読解法B          LEAES106英語文章作成法B</p>

言語系科目群・基礎教養科目群・MG教養科目群・国際総合科目群・単位認定科目群

聖学院メソッド

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
<b>(1)フランス学基礎科目</b>										
LFEFB101フランス学概説A	必修	2	1	◎		○		○	○	
LFEFB102フランス学概説B	必修	2	1	◎		○		○	○	
LFEFB103フランスの歴史A	必修	2	1	◎		○		○	○	
LFEFB104フランスの歴史B	必修	2	1	◎		○		○	○	
LFEFB105フランス文化研究A	選択	2	1	◎		○		○	○	
LFEFB106フランス文化研究B	選択	2	1	◎		○		○	○	
LFEFB201フランス文学史A	必修	2	2	◎		○		○	○	
LFEFB202フランス文学史B	必修	2	2	◎		○		○	○	
LFEFB203基礎研究A	必修	2	2		○			○	○	◎
LFEFB204基礎研究B	必修	2	2		○			○	○	◎
<b>(2)フランス語科目</b>										
LFELF111実践フランス語A	必修	1	1	○	◎		○	○		
LFELF112実践フランス語B	必修	1	1	○	◎		○	○		
LFELF301フランス語講読2A	選択必修	1	3				◎	○	○	○
LFELF302フランス語講読2B	選択必修	1	3				◎	○	○	○
LFELF103Exercices Pratiques 1A	必修	1	1	○	◎		○	○		
LFELF104Exercices Pratiques 1B	必修	1	1	○	◎		○	○		
LFELF201Exercices Pratiques 2A	必修	1	2	○			◎	○		
LFELF202Exercices Pratiques 2B	必修	1	2	○			◎	○		
LFELF303Exercices Pratiques 3A	選択必修	1	3	○			◎	○		○
LFELF304Exercices Pratiques 3B	選択必修	1	3	○			◎	○		○
LFELF305Exercices Pratiques 4A	選択必修	1	3			○	◎	○		○
LFELF306Exercices Pratiques 4B	選択必修	1	3			○	◎	○		○
LFELF203フランス語表現法1A	必修	1	2	○	◎				○	○
LFELF204フランス語表現法1B	必修	1	2	○	◎				○	○
LFELF307フランス語表現法2A	選択必修	1	3	○			◎		○	○
LFELF308フランス語表現法2B	選択必修	1	3	○			◎		○	○
LFELF309仏会話1A	選択必修	1	3	○	◎			○		○
LFELF310仏会話1B	選択必修	1	3	○	◎			○		○
LFELF311仏会話2A	選択必修	1	3	○			◎	○		○
LFELF312仏会話2B	選択必修	1	3	○			◎	○		○
LFELF313実用フランス語A	選択必修	1	3	○	○		◎	○		
LFELF314実用フランス語B	選択必修	1	3	○	○		◎	○		
LFELF315時事フランス語A	選択必修	1	3	○	○		◎	○		
LFELF316時事フランス語B	選択必修	1	3	○	○		◎	○		
LFELF317観光フランス語A	選択必修	1	3	○	○	○	◎			
LFELF318観光フランス語B	選択必修	1	3	○	○	○	◎			
LFELF105検定対策フランス語1A	選択	1	1		◎		○			○
LFELF106検定対策フランス語1B	選択	1	1		◎		○			○
LFELF107検定対策フランス語2A	選択	1	1	○			◎	○		○
LFELF108検定対策フランス語2B	選択	1	1	○			◎	○		○
LFELF319検定対策フランス語3A	選択	1	3	○			◎		○	○
LFELF320検定対策フランス語3B	選択	1	3	○			◎		○	○
LFELF321Préparation au DELF A	選択	1	3	○			◎		○	○
LFELF322Préparation au DELF B	選択	1	3	○			◎		○	○
LFELF323Préparation au TCF A	選択	1	3	○			◎		○	○
LFELF324Préparation au TCF B	選択	1	3	○			◎		○	○
LFELF109Communication niveau avancé	選択	2	1	○			◎		○	○

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
<b>(3)フランス学発展科目</b>										
<b>①ことばと文学</b>										
LFFAL301フランス語の諸相A	選択必修	2	3		◎		○		○	○
LFFAL302フランス語の諸相B	選択必修	2	3		◎		○		○	○
LFFAL303フランス語史A	選択必修	2	3	○	◎	○				
LFFAL304フランス語史B	選択必修	2	3	○	◎	○				
LFFAL305現代翻訳論A	選択必修	2	3		○	○	◎			○
LFFAL306現代翻訳論B	選択必修	2	3		○	○	◎			○
LFFAL307中世・ルネサンス文学A	選択必修	2	3	○	◎		○	○		
LFFAL308中世・ルネサンス文学B	選択必修	2	3	○	◎		○	○		
LFFAL309 17・18世紀文学A	選択必修	2	3	○	◎		○	○		
LFFAL310 17・18世紀文学B	選択必修	2	3	○	◎		○	○		
LFFAL311近現代の文学A	選択必修	2	3	○	◎		○			○
LFFAL312近現代の文学B	選択必修	2	3	○	◎		○			○
LFFAL313詩と演劇A	選択必修	2	3	○	◎		○			○
LFFAL314詩と演劇B	選択必修	2	3	○	◎		○			○
LFFAL315小説と批評A	選択必修	2	3	○	◎			○	○	
LFFAL316小説と批評B	選択必修	2	3	○	◎			○	○	
LFFAL317フランス学特講1A	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAL318フランス学特講1B	選択必修	2	3	○	◎				○	○
<b>②思想と社会</b>										
LFFAP301歴史記述論A	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAP302歴史記述論B	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAP303フランス現代史A	選択必修	2	3	○	◎			○		○
LFFAP304フランス現代史B	選択必修	2	3	○	◎			○		○
LFFAP305日仏比較論A	選択必修	2	3	○	◎			○		○
LFFAP306日仏比較論B	選択必修	2	3	○	◎			○		○
LFFAP307フランコフォニー研究A	選択必修	2	3	○	◎		○	○		
LFFAP308フランコフォニー研究B	選択必修	2	3	○	◎		○	○		
LFFAP309フランス社会の諸相A	選択必修	2	3	○	◎			○		○
LFFAP310フランス社会の諸相B	選択必修	2	3	○	◎			○		○
LFFAP311現代思想A	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAP312現代思想B	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAP313哲学と人間A	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAP314哲学と人間B	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAP315精神分析入門A	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAP316精神分析入門B	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAP317フランス学特講2A	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAP318フランス学特講2B	選択必修	2	3	○	◎				○	○
<b>③芸術と文化</b>										
LFFAA301現代芸術A	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA302現代芸術B	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA303映画芸術A	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA304映画芸術B	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA305写真芸術A	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA306写真芸術B	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA307舞台表現論A	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAA308舞台表現論B	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAA309身体と芸術A	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAA310身体と芸術B	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAA311フランス美術A	選択必修	2	3	○	◎	○		○		

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
LFFAA312フランス美術B	選択必修	2	3	○	◎	○		○		
LFFAA313表象メディア論A	選択必修	2	3	○	◎			○		
LFFAA314表象メディア論B	選択必修	2	3	○	◎			○		
LFFAA315フランスの音楽A	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAA316フランスの音楽B	選択必修	2	3	○	◎	○				○
LFFAA317フランス学特講3A	選択必修	2	3	○	◎				○	○
LFFAA318フランス学特講3B	選択必修	2	3	○	◎				○	○
(4) 専門演習										
LFSEM301 3年次演習	必修	2	3		○	○			○	◎
LFSEM401 4年次演習	必修	2	4		○	○			○	◎
(5) 卒業論文										
LFMEM401卒業論文	必修	6	4		○	○			○	◎
(6) 文学部共通科目										
LFLTJ301日本文学(専)A	選択	2	3			○		◎		
LFLTJ302日本文学(専)B	選択	2	3			○		◎		
LAGEN101中国文学A	選択	2	3			○		◎		
LAGEN102中国文学B	選択	2	3			○		◎		
LAGEN103ドイツ文学A	選択	2	3			○		◎		
LAGEN104ドイツ文学B	選択	2	3			○		◎		
LFLTE301西洋文学A	選択	2	3			○		◎		
LFLTE302西洋文学B	選択	2	3			○		◎		
LECRS201異文化理解1	選択	2	2					◎	○	
LECRS202異文化理解2	選択	2	2					◎	○	
LFCIN301異文化理解3	選択	2	3					◎	○	
LFCIN302異文化理解4	選択	2	3					◎	○	
LXCRS301哲学(専)1	選択	2	3			○			◎	
LXCRS302哲学(専)2	選択	2	3			○			◎	
LECRS313言語学A	選択	2	3			○		◎		
LECRS314言語学B	選択	2	3			○		◎		
LFLAT301ラテン語1A	選択	2	3		◎					
LFLAT302ラテン語1B	選択	2	3		◎					
LFLAT303ラテン語2A	選択	2	3		◎					
LFLAT304ラテン語2B	選択	2	3		◎					
LECRS315小説技法A	選択	2	3			○		◎		
LECRS316小説技法B	選択	2	3			○		◎		
LECRS317翻訳論A	選択	2	3			○		◎		
LECRS318翻訳論B	選択	2	3			○		◎		
LECRS319Practical Career English A	選択	2	3				◎			
LECRS320Practical Career English B	選択	2	3				◎			
LAGEN105文化史A	選択	2	3			○		◎		
LAGEN106文化史B	選択	2	3			○		◎		
LAGEN107民俗学A	選択	2	3			○		◎		
LAGEN108民俗学B	選択	2	3			○		◎		
LFIIA301AI問題入門	選択	2	3			◎		○	○	
文学部他学科の学教科目										
LEBRL101イギリス文学入門	選択	2	1					◎		
LEAML101アメリカ文学入門	選択	2	1					◎		
LELIN101英語学入門	選択	2	1				◎			
LEBRL201イギリス文学概論A	選択	2	2					◎		
LEBRL202イギリス文学概論B	選択	2	2					◎		
LEAML201アメリカ文学概論A	選択	2	2					◎		

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
LEAML202アメリカ文学概論B	選択	2	2					◎		
LELIN201英語学概論A	選択	2	2				◎			
LELIN202英語学概論B	選択	2	2				◎			
LEBES106英文法A	選択	1	1				◎			
LEBES107英文法B	選択	1	1				◎			
LEBES108Writing A	選択	1	1				◎			
LEBES109Writing B	選択	1	1				◎			
LEAES101英語オーラルコミュニケーションA	選択	2	1				◎			
LEAES102英語オーラルコミュニケーションB	選択	2	1				◎			
LEAES103英語文章読解法A	選択	2	1				◎			
LEAES104英語文章読解法B	選択	2	1				◎			
LEAES105英語文章作成法A	選択	2	1				◎			
LEAES106英語文章作成法B	選択	2	1				◎			
LEBRL301イギリス詩A	選択	2	3					◎		
LEBRL302イギリス詩B	選択	2	3					◎		
LEBRL303イギリス小説A	選択	2	3					◎		
LEBRL304イギリス小説B	選択	2	3					◎		
LEBRL305イギリス演劇A	選択	2	3					◎		
LEBRL306イギリス演劇B	選択	2	3					◎		
LEBRL307イギリス文学史A	選択	2	3					◎		
LEBRL308イギリス文学史B	選択	2	3					◎		
LEBRL309イギリス文学批評A	選択	2	3					◎		
LEBRL310イギリス文学批評B	選択	2	3					◎		
LEBRL311イギリス文学特講A	選択	2	3					◎		
LEBRL312イギリス文学特講B	選択	2	3					◎		
LEBRL313イギリス文化研究A	選択	2	3					◎		
LEBRL314イギリス文化研究B	選択	2	3					◎		
LEAML301アメリカ詩A	選択	2	3					◎		
LEAML302アメリカ詩B	選択	2	3					◎		
LEAML303アメリカ小説A	選択	2	3					◎		
LEAML304アメリカ小説B	選択	2	3					◎		
LEAML305アメリカ演劇A	選択	2	3					◎		
LEAML306アメリカ演劇B	選択	2	3					◎		
LEAML307アメリカ文学史A	選択	2	3					◎		
LEAML308アメリカ文学史B	選択	2	3					◎		
LEAML309アメリカ文学批評A	選択	2	3					◎		
LEAML310アメリカ文学批評B	選択	2	3					◎		
LEAML311アメリカ文学特講A	選択	2	3					◎		
LEAML312アメリカ文学特講B	選択	2	3					◎		
LEAML313アメリカ文化研究A	選択	2	3					◎		
LEAML314アメリカ文化研究B	選択	2	3					◎		
LELIN301音声学A	選択	2	3				◎			
LELIN302音声学B	選択	2	3				◎			
LELIN303英語史A	選択	2	3				◎			
LELIN304英語史B	選択	2	3				◎			
LELIN305音韻論A	選択	2	3				◎			
LELIN306音韻論B	選択	2	3				◎			
LELIN307統語論A	選択	2	3				◎			
LELIN308統語論B	選択	2	3				◎			
LELIN309意味論A	選択	2	3				◎			
LELIN310意味論B	選択	2	3				◎			

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
LELIN311語用論A	選択	2	3				◎			
LELIN312語用論B	選択	2	3				◎			
LELIN313心理言語学A	選択	2	3				◎			
LELIN314心理言語学B	選択	2	3				◎			
LELIN315社会言語学A	選択	2	3				◎			
LELIN316社会言語学B	選択	2	3				◎			
LELIN317英語学特講A	選択	2	3				◎			
LELIN318英語学特講B	選択	2	3				◎			
LECRS301英米宗教文学A	選択	2	3					◎		
LECRS302英米宗教文学B	選択	2	3					◎		
LECRS303英語聖書A	選択	2	3					◎		
LECRS304英語聖書B	選択	2	3					◎		
LECRS305英米児童文学A	選択	2	3					◎		
LECRS306英米児童文学B	選択	2	3					◎		
LECRS307イギリス研究A	選択	2	3					◎		
LECRS308イギリス研究B	選択	2	3					◎		
LECRS309アメリカ研究A	選択	2	3					◎		
LECRS310アメリカ研究B	選択	2	3					◎		
LECRS311Intercultural Communication A	選択	2	3					◎		
LECRS312Intercultural Communication B	選択	2	3					◎		
LEAES301Business English A	選択	2	3				◎			
LEAES302Business English B	選択	2	3				◎			
LEAES303翻訳技法A	選択	2	3				◎			
LEAES304翻訳技法B	選択	2	3				◎			
LEAES305通訳技法A	選択	2	3				◎			
LEAES306通訳技法B	選択	2	3				◎			
LEETE203TESOL Seminar(短期留学)	選択	2	1				◎			
LAMUS306音楽学特講1A	選択	2	3			◎				
LAMUS307音楽学特講1B	選択	2	3			◎				
LAMUS308音楽学特講2A	選択	2	3			◎				
LAMUS309音楽学特講2B	選択	2	3			◎				
LAMUS310音楽学特講3A	選択	2	3			◎				
LAMUS311音楽学特講3B	選択	2	3			◎				
LAMUS312音楽学特講4	選択	2	3			◎				
LAMUS313音楽学特講5	選択	2	3			◎				
LAMUS314音楽学特講6	選択	2	3			◎				
LAMUS315音楽学特講7	選択	2	3			◎				
LAFIL101映画史通説P	選択	2	1			◎				
LAFIL102映画史通説S	選択	2	1			◎				
LAFIL103映像基礎研究P	選択	2	1			◎				
LAFIL104映像基礎研究S	選択	2	1			◎				
LAFIL105映像芸術学序説P	選択	2	1			◎				
LAFIL106映像芸術学序説S	選択	2	1			◎				
LAFIL304映画史演習	選択	4	3			◎				
LAFIL305映像文化研究	選択	4	3			◎				
LAFIL306映画史特講1A	選択	2	3			◎				
LAFIL307映画史特講1B	選択	2	3			◎				
LAFIL308映画史特講2A	選択	2	3			◎				
LAFIL309映画史特講2B	選択	2	3			◎				
LAFIL310映像芸術学特講1A	選択	2	3			◎				
LAFIL311映像芸術学特講1B	選択	2	3			◎				

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
LAFIL312映像芸術学特講2A	選択	2	3			◎				
LAFIL313映像芸術学特講2B	選択	2	3			◎				
LAFIL314映像芸術学特講3A	選択	2	3			◎				
LAFIL315映像芸術学特講3B	選択	2	3			◎				
LFAFH101西洋美術通史P	選択	2	1			◎				
LFAFH102西洋美術通史S	選択	2	1			◎				
LFAFH203日本・東洋美術史資料講読A	選択	1	2			◎				
LFAFH204日本・東洋美術史資料講読B	選択	1	2			◎				
LFAFH205美術史の理論と方法A	選択	2	3			◎				
LFAFH206美術史の理論と方法B	選択	2	3			◎				
LFAFH303西洋美術史特講1A	選択	2	3			◎				
LFAFH304西洋美術史特講1B	選択	2	3			◎				
LFAFH305西洋美術史特講2A	選択	2	3			◎				
LFAFH306西洋美術史特講2B	選択	2	3			◎				
LFAFH307日本・東洋美術史研究A	選択	2	3					◎		
LFAFH308日本・東洋美術史研究B	選択	2	3					◎		
LFAFH309日本美術史特講1A	選択	2	3					◎		
LFAFH310日本美術史特講1B	選択	2	3					◎		
LFAFH311日本美術史特講2A	選択	2	3					◎		
LFAFH312日本美術史特講2B	選択	2	3					◎		
LFAFH207日本近代美術史A	選択	2	3					◎		
LFAFH208日本近代美術史B	選択	2	3					◎		
LFAFH209現代美術論A	選択	2	3			◎				
LFAFH210現代美術論B	選択	2	3			◎				
LAMED307デジタルアート論A	選択	2	3			◎				
LAMED308デジタルアート論B	選択	2	3			◎				
LAMED309メディア実践論A	選択	2	3			◎				
LAMED310メディア実践論B	選択	2	3			◎				
LAMED311ポピュラーカルチャー論A	選択	2	3			◎				
LAMED312ポピュラーカルチャー論B	選択	2	3			◎				
LAMED313建築・都市空間論A	選択	2	3			◎				
LAMED314建築・都市空間論B	選択	2	3			◎				
LAMED315デザイン論A	選択	2	3			◎				
LAMED316デザイン論B	選択	2	3			◎				
LAMED317メディア産業論A	選択	2	3			◎				
LAMED318メディア産業論B	選択	2	3			◎				
LAMED319芸術メディア論特講1A	選択	2	3			◎				
LAMED320芸術メディア論特講1B	選択	2	3			◎				
LAMED321芸術メディア論特講2A	選択	2	3			◎				
LAMED322芸術メディア論特講2B	選択	2	3			◎				
LATHE103身体表現論概説P	選択	2	1			◎				
LATHE104身体表現論概説S	選択	2	1			◎				
LATHE311演劇学A	選択	2	3			◎				
LATHE312演劇学B	選択	2	3			◎				
LATHE313バレエ研究A	選択	2	3			◎				
LATHE314バレエ研究B	選択	2	3			◎				
LATHE317パフォーマンス理論A	選択	2	3			◎				
LATHE318パフォーマンス理論B	選択	2	3			◎				
LATHE321舞台芸術論A	選択	2	3			◎				
LATHE322舞台芸術論B	選択	2	3			◎				
LACOM303思想と芸術A	選択	2	3			◎				

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				フランス文学科2	フランス文学科1・2	フランス文学科4	フランス文学科1・2	フランス文学科3	フランス文学科4	フランス文学科4
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				フランス語圏の言語・文化についての広範な知識	フランス語圏の言語や文化についての個別的知識の習得	情報収集力	フランス語の実践的な運用能力、および知識をもとにした思考の相対化	多様な文化のあり方を追求する姿勢	問題提起力	論理的かつ説得的見解を述べる力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
LACOM304思想と芸術B	選択	2	3			◎				
LACOM305現代社会と芸術1A	選択	2	3			◎				
LACOM306現代社会と芸術1B	選択	2	3			◎				
LACOM307現代社会と芸術2A	選択	2	3			◎				
LACOM308現代社会と芸術2B	選択	2	3			◎				
LACOM309現代社会と芸術3A	選択	2	3			◎				
LACOM310現代社会と芸術3B	選択	2	3			◎				
LACOM311芸術表現論	選択	2	3			◎				
LACOM312アートマネジメント論	選択	2	3			◎				
教職に関する科目										
TCTEA911フランス語科指導法3	選択	2	2			○	◎		○	○
TCTEA912フランス語科指導法4	選択	2	2			○	◎		○	○
TCTEA913フランス語科指導法1	選択	2	3			○	◎		○	○
TCTEA914フランス語科指導法2	選択	2	3			○	◎		○	○

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

# フランス文学科

## (履修の方法)

指導の方針——フランス文学科は、次の3点を指導の眼目としている。

- (1) 現代的な方法と新鮮な感覚にもとづいて、フランス語学・文学の研究・教育を行い、的確な問題意識をつちかう。
- (2) フランス文化の多様性とその可能性を考察しつつ、豊かな創造性と批判精神を養う。
- (3) フランス文化の理解に必要なフランス語力の向上をはかり、徹底した語学教育を実践する。

## 〔1〕卒業までに必要な単位数

部 門		単位群	卒業に必要な単位数		
明治学院 共通科目	必修 ・ 選択必修	コア科目「キリスト教の基礎A・B」	①	2科目4単位	計28単位
		言語系科目群 「フランス語1A・1B・2A・2B」 「フランス語研究1A・1B・2A・2B」	②	8科目12単位	
		言語系科目群 「英語コミュニケーション1A・1B・2A・2B」	③	4科目4単位	
		人文科学系科目	④	1科目2単位	
	社会科学系科目	1科目2単位			
	情報科学系科目	1科目2単位			
	キャリア&グローバル教養系科目	1科目2単位			
選択		⑤	8単位	計8単位	
明治学院共通科目・学科科目より選択		⑥	18単位(注1)	計18単位	
学科科目	必修	基礎研究A・B(各2単位) フランス文学史A・B(各2単位) Exercices Pratiques1A・1B・2A・2B(各1単位) フランス語表現法1A・1B(各1単位) フランス学概説A・B(各2単位) フランスの歴史A・B(各2単位) 実践フランス語A・B(各1単位) 3年次演習(各2単位) 4年次演習(各2単位) 卒業論文(各6単位)	⑦	19科目34単位	計72単位
	選択必修	△：4科目4単位 ◇：9科目18単位 年次別科目一覧を参照すること。	⑧	13科目22単位	
	選択	(1) 学科科目※〔8〕学科科目の項を参照。 (2) 文学部共通科目 (3) 所定の文学部他学科の学科科目および教職に関する科目「フランス語科指導法1・2・3・4」を12単位まで含めることができる。 13単位目からは【⑥】に数えられる。 ※〔10〕文学部他学科の学科科目と〔11〕教職に関する科目の項を参照。	⑨ ⑩	16単位	
			合 計 126単位		

(注1) 明治学院共通科目・フランス文学科科目・文学部共通科目・文学部他学科の学科科目から自由に選択して履修できる。ただし、他学科科目については〔10〕の「文学部他学科の学科科目」の項で、「履修できない科目」に指定されているものを除く。

ディプロマ・ポリシーを観点とした卒業要件

1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数（126単位）」を取得する。
2. 幅広い教養およびフランス語圏にかんする基礎的知識と実践的に運用できるフランス語能力（読み、書き、聞き、話す）を身につけるために、「明治学院共通科目」「フランス学基礎科目」「フランス語科目」を履修して必要単位を取得する。
3. フランス語圏の言語・文化・文学・芸術・歴史・思想についての個別的で広汎な知識を身につけ、現代社会における多様な文化のあり方を追求する姿勢を身につけるために、「フランス学発展科目」を履修して必要単位を取得する。
4. 自分自身で問題を提起し、資料や情報を有効に探索・収集しながら、論理的かつ説得的に自らの見解を述べる力を身につけるために、「専門演習」「卒業論文」を履修して必要単位を取得する。

## 〔2〕 超過して修得した単位の扱い

①～⑩の各単位群の必要単位数を超過して修得した単位で、他の枠の単位群の単位として扱えるものは、下表のとおりである。

単位群	必要単位	超過単位の扱われる群	備 考
④	それぞれ2	⑤または⑥	
⑤	14	⑥	
⑦	34	⑥または⑨	「基礎研究A」と「基礎研究B」をそれぞれ2科目以上修得した場合の2科目めからと、「3年次演習」を必修のほかにも選択でも修得した場合。
⑧	22	⑥または⑨	「フランス語科目」のうち△を付した選択必修科目を5科目以上修得した場合の5科目めからの単位と、「フランス学発展科目」のうち◇を付した選択必修科目を10科目以上修得した場合の10科目めからの単位。
⑨、⑩	16	⑥	

## 〔3〕 年間履修上限単位数等について

- ・1年間に履修できる単位数の上限は、49単位とする（「教職に関する科目」に限り、16単位までの超過履修を認める）。ただし、夏季第1期、夏季第2期、春季講座に開講される授業および「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。
- ・転学科生と編入生は、各人の事情に応じて最も適した履修計画をたてるために、年度はじめに必ず学科主任教授と面談して指導を受け、これにしたがって教務課窓口で手続きを行うこと。転学科生にしても編入生にしても、それまでの修得単位の内容によっては、4年間で卒業できないことがあり得る。また、白金校舎と横浜校舎の両方で履修する必要がある場合など、希望どおりの履修ができるとはかぎらない。いずれにしても、教務課なり主任教授によく相談し、納得のいく履修を心がけるように。

## 〔4〕 複数回履修の制限について

原則、同一授業科目を複数回履修することはできない。

※学科で指定された科目は複数回履修できる。指定科目については「年次別科目一覧」の注を確認すること。

※他学科の科目の複数回履修については、各学科のページを確認すること。

## 〔5〕履修中止除外科目について

本履修要項中の学修の手引き「履修」の『7. 履修中止制度』において、履修中止ができない科目のうち、フランス文学科においては「各学科において定めている履修中止の申請ができない科目」はない。

※必修科目に該当する基礎研究A・B及び3年次演習については、必修科目1科目に加えて選択科目1科目を履修した場合に限り、2科目のうち1科目を履修中止可とする。必修科目なので単位修得漏れに十分注意すること。

## 〔6〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目1科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のD評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。該当者の発表は3月の卒業生発表と同時に、試験は3月に実施する。ただし、9月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

## 〔7〕明治学院共通科目

『明治学院共通科目』を参照のこと。

## 〔8〕学科科目

- 1・2年次配当科目（2年次再履修科目を除く）は横浜校舎、3・4年次配当科目および2年次再履修科目は白金校舎で履修・年度により開講される科目は少しずつ異なる。表にあるすべての科目が開講されているわけではないので注意。
- ・○を付した科目は必修科目である。
- ・「3年次演習」を除き、3年次の配当科目は4年次になってから履修してもよい。ただし、1年次配当科目および2年次配当科目はそれぞれ必ず配当年次に履修すること。
- ・学科科目(3)の中には、明学科目「フランス語研究3」として履修可能な科目もあるが、フランス文学科の学科科目（選択必修科目）として履修することが望ましい。
- ・「3・4年次演習」および「卒業論文」は通年科目（1年を通して講義され、年度の終わりに1回評価される）である。
- ・A・Bを付した科目は、○印のついた必修科目を除いて、片方のみ修得することも可能な学期科目であるが、A・Bを続けて履修することが教育効果上望ましい。
- ・△および◇を付した科目はともに選択必修科目である。△と◇では単位数が異なる。
- ・△のものは「フランス語科目」におかれている。  
△のついた科目の中から4科目を選択して修得すること。（たとえば、「仏会話1A」で1科目、「仏会話1B」で1科目として計算される）。フランス語既習者は『〔12〕フランス語既習者の履修』を参照すること。
- ・◇は「フランス学発展科目」におかれている。  
三科目群（「ことばと文学」、「思想と社会」、「芸術と文化」）の区別にかかわらず、◇のついた科目のなかから、9科目を選択する。
- ・科目によっては、学科が指定したクラス単位で授業が行なわれる。原則として、そのクラスを変更することはできない。

## フランス文学科 年次別科目一覧

1年次					
ナンバリング	科目名		単位数	開講	備考
<b>(1) フランス学基礎科目</b>					
LFEFB	101	○ フランス学概説A	2	学期	
	102	○ フランス学概説B	2	学期	
	103	○ フランスの歴史A	2	学期	
	104	○ フランスの歴史B	2	学期	
	105	フランス文化研究A	2	学期	(注1)
	106	フランス文化研究B	2	学期	(注1)
<b>(2) フランス語科目</b>					
LFELF	103	○ Exercices Pratiques1A	1	学期	
	104	○ Exercices Pratiques1B	1	学期	
	105	検定対策フランス語1A	1	学期	(注2)
	106	検定対策フランス語1B	1	学期	(注2)
	107	検定対策フランス語2A	1	学期	(注3)
	108	検定対策フランス語2B	1	学期	(注3)
	109	Communication niveau avancé	2	学期	(注4)
	111	○ 実践フランス語A	1	学期	
	112	○ 実践フランス語B	1	学期	

(注1) 担当教員が異なる場合に限り2度まで修得することができる。

(注2) 仏語検定用フランス語演習（5級・4級程度）。

(注3) 仏語検定用フランス語演習（3級程度）。

(注4) 中級程度。4度まで修得することができる。

2年次					
ナンバリング	科目名		単位数	開講	備考
<b>(1) フランス学基礎科目</b>					
LFEFB	201	○ フランス文学史A	2	学期	
	202	○ フランス文学史B	2	学期	
	203	○ 基礎研究A	2	学期	(注5)
	204	○ 基礎研究B	2	学期	(注5)
<b>(2) フランス語科目</b>					
LFELF	201	○ Exercices Pratiques2A	1	学期	
	202	○ Exercices Pratiques2B	1	学期	
	203	○ フランス語表現法1A	1	学期	
	204	○ フランス語表現法1B	1	学期	
<b>(6) 文学部共通科目</b>					
LECRS	201	異文化理解1	2	学期	
	202	異文化理解2	2	学期	

(注5) 複数履修できる。ただし、必修科目としての認定はA・B各1科目、計2科目のみである。2回目以降の修得単位は選択科目の扱いとなる。

3年次					
ナンバリング	科目名		単位数	開講	備考
<b>(2) フランス語科目</b>					
	319	検定対策フランス語3A	1	学期	(注6)
	320	検定対策フランス語3B	1	学期	(注6)
	321	Préparation au DELF A	1	学期	(注7)
	322	Préparation au DELF B	1	学期	(注7)
	323	Préparation au TCF A	1	学期	(注8)
	324	Préparation au TCF B	1	学期	(注8)
	301	△ フランス語講読2A	1	学期	
	302	△ フランス語講読2B	1	学期	
	307	△ フランス語表現法2A	1	学期	
	308	△ フランス語表現法2B	1	学期	
	309	△ 仏会話1A	1	学期	(注9)
	310	△ 仏会話1B	1	学期	(注9)
	311	△ 仏会話2A	1	学期	(注10)
	312	△ 仏会話2B	1	学期	(注10)
	303	△ Exercices Pratiques3A	1	学期	(注11)
	304	△ Exercices Pratiques3B	1	学期	(注11)
	305	△ Exercices Pratiques4A	1	学期	(注12)
	306	△ Exercices Pratiques4B	1	学期	(注12)
	313	△ 実用フランス語A	1	学期	
	314	△ 実用フランス語B	1	学期	
	315	△ 時事フランス語A	1	学期	
	316	△ 時事フランス語B	1	学期	
	317	△ 観光フランス語A	1	学期	
	318	△ 観光フランス語B	1	学期	
<b>(3) フランス学発展科目 (注13)</b>					
<b>①ことばと文学</b>					
LFFAL	301	◇ フランス語の諸相A	2	学期	
	302	◇ フランス語の諸相B	2	学期	
	303	◇ フランス語史A	2	学期	
	304	◇ フランス語史B	2	学期	
	305	◇ 現代翻訳論A	2	学期	
	306	◇ 現代翻訳論B	2	学期	
	307	◇ 中世・ルネサンス文学A	2	学期	
	308	◇ 中世・ルネサンス文学B	2	学期	
	309	◇ 17・18世紀文学A	2	学期	
	310	◇ 17・18世紀文学B	2	学期	
	311	◇ 近現代の文学A	2	学期	
	312	◇ 近現代の文学B	2	学期	
	313	◇ 詩と演劇A	2	学期	
	314	◇ 詩と演劇B	2	学期	
	315	◇ 小説と批評A	2	学期	
	316	◇ 小説と批評B	2	学期	
		317	◇ フランス学特講1A	2	学期

3年次					
ナンバリング		科目名	単位数	開講	備考
LFFAL	318	◇ フランス学特講1B	2	学期	
<b>②思想と社会</b>					
LFFAP	301	◇ 歴史記述論A	2	学期	
	302	◇ 歴史記述論B	2	学期	
	303	◇ フランス現代史A	2	学期	
	304	◇ フランス現代史B	2	学期	
	305	◇ 日仏比較論A	2	学期	
	306	◇ 日仏比較論B	2	学期	
	307	◇ フランコフォニー研究A	2	学期	
	308	◇ フランコフォニー研究B	2	学期	
	309	◇ フランス社会の諸相A	2	学期	
	310	◇ フランス社会の諸相B	2	学期	
	311	◇ 現代思想A	2	学期	
	312	◇ 現代思想B	2	学期	
	313	◇ 哲学と人間A	2	学期	
	314	◇ 哲学と人間B	2	学期	
	315	◇ 精神分析入門A	2	学期	
	316	◇ 精神分析入門B	2	学期	
	317	◇ フランス学特講2A	2	学期	
	318	◇ フランス学特講2B	2	学期	
<b>③芸術と文化</b>					
LFFAA	301	◇ 現代芸術A	2	学期	
	302	◇ 現代芸術B	2	学期	
	303	◇ 映画芸術A	2	学期	
	304	◇ 映画芸術B	2	学期	
	305	◇ 写真芸術A	2	学期	
	306	◇ 写真芸術B	2	学期	
	307	◇ 舞台表現論A	2	学期	
	308	◇ 舞台表現論B	2	学期	
	309	◇ 身体と芸術A	2	学期	
	310	◇ 身体と芸術B	2	学期	
	311	◇ フランス美術A	2	学期	
	312	◇ フランス美術B	2	学期	
	313	◇ 表象メディア論A	2	学期	
	314	◇ 表象メディア論B	2	学期	
	315	◇ フランスの音楽A	2	学期	
	316	◇ フランスの音楽B	2	学期	
	317	◇ フランス学特講3A	2	学期	
	318	◇ フランス学特講3B	2	学期	
<b>(4) 専門演習</b>					
LFSEM	301	○ 3年次演習	2	通年	(注14)
<b>(6) 文学部共通科目</b>					
LFLTJ	301	日本文学(専)A	2	学期	
	302	日本文学(専)B	2	学期	

3年次					
ナンバリング		科目名	単位数	開講	備考
LAGEN	101	中国文学A	2	学期	
	102	中国文学B	2	学期	
	103	ドイツ文学A	2	学期	
	104	ドイツ文学B	2	学期	
LFLTE	301	西洋文学A	2	学期	
	302	西洋文学B	2	学期	
LFCIN	301	異文化理解3	2	学期	
	302	異文化理解4	2	学期	
LXCRS	301	哲学(専)1	2	学期	(注15)
	302	哲学(専)2	2	学期	(注15)
LECRS	313	言語学A	2	学期	
	314	言語学B	2	学期	
LFLAT	301	ラテン語1A	2	学期	(注16)
	302	ラテン語1B	2	学期	(注16)
	303	ラテン語2A	2	学期	
	304	ラテン語2B	2	学期	
LECRS	315	小説技法A	2	学期	
	316	小説技法B	2	学期	
	317	翻訳論A	2	学期	
	318	翻訳論B	2	学期	
	319	Practical Career English A	2	学期	
	320	Practical Career English B	2	学期	
LAGEN	105	文化史A	2	学期	
	106	文化史B	2	学期	
	107	民俗学A	2	学期	
	108	民俗学B	2	学期	
LFIIA	301	AI問題入門	2	学期	

(注6) 仏語検定用フランス語演習(準2級・2級程度)。

(注7) DELF試験用フランス語演習(A2レベル程度)。

(注8) TCF試験用フランス語演習。

(注9) 中級程度。2A・Bとの同時履修可。

(注10) 上級程度。1A・Bとの同時履修可。

(注11) 中級程度。4A・Bとの同時履修可。

(注12) 上級程度。3A・Bとの同時履修可。

(注13) いずれの科目も同一名称のものを2回履修してよい。

ただし、同一名称科目の2回目の修得単位は選択科目の扱いとなる。

(注14)

- ・必修1科目のほかに選択1科目履修可。
- ・11月中旬から12月中旬にかけて募集を行い、所属を決定する。
- ・第一次募集分については可能なかぎり希望にそった所属の決定を行う。
- ・第二次募集分については、第一次募集決定後、定員に余裕のあるクラスについて募集する。

(注15) 「哲学(専)1・2」を履修するためには、明治学院共通科目の「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(論理学)の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の2科目(計4単位)を修得済みでなければならない。

(注16) 明治学院共通科目の「ラテン語研究A・B」を修得した者は、文学部共通科目「ラテン語1A・B」を履修できない。

4年次						
ナンバリング		科目名		単位数	開講	備考
<b>(4) 専門演習</b>						
LFSEM	401	○ 4年次演習		2	通年	(注17)
<b>(5) 卒業論文</b>						
LFMEM	401	○ 卒業論文		6	通年	(注18)

(注17)

- ・ 卒業論文の指導をかねる。
- ・ 11月中旬から12月上旬にかけて募集を行い、所属を決定する。
- ・ 提出される志望動機書をもとに所属の決定を行うが、動機内容やクラス人数によっては希望にそえないこともある。

(注18)

- ・ 4年次演習担当教員が指導教員となる。
- ・ 卒業論文は、フランスの文学、思想、言語、芸術、文化、歴史に関わるものを対象とする。
- ・ 指導教員と相談して論文題目を設定し、6月中の別に定める期日までに、所定の書式ファイルに記入し、指導教員に提出すること。
- ・ 提出した題目は原則として変更できない。万一変更する場合は、必ず指導教員と相談し、許可を得なければならない。無許可で変更すると失格になることがある。
- ・ 指導教員の指導、助言を受けながら、論文を作成すること。
- ・ 論文は指定日時に教務課窓口へ提出すること。(卒業論文要項を参照)
- ・ 提出締め切り時間はきわめて厳格であるから、十分に注意すること。
- ・ 提出論文について、所定の口頭試問を受けなければならない。

### 論文作成上の注意

- (1) 使用言語は日本語またはフランス語による。
- (2) 執筆にはパソコンを用い、日本語の場合にはA4判横書きで、本文〔序論・本論・結論〕が12,000字以上になるように書く。その際、フォントは11～12pt.サイズで、本文最終ページに総文字数を記すこと。フランス語の場合は、フォントサイズ11～12pt.でA4版1ページあたり25行を目安とする。詳細は指導教員に相談すること。
- (3) 本文のほかに、参考文献表・注・論文の概要をつけなければならない。概要は、日本語による論文の場合はフランス語で、フォントサイズ14pt.で1ページにつき18行を目安として2枚程度書くこと。フランス語による論文の場合は、日本語で2,000字程度にまとめること。
- (4) 論文は学科指定のA4版二つ穴リングファイルに綴じ、中表紙の所定の欄に、提出年度・指導教員名・論題・学籍番号と氏名などを記入すること。
- (5) 書式その他の注意事項の詳細は、5月にポートヘボン上で配布する卒業論文要項のファイルを見ること。

### 論文審査について

卒業論文の審査は、主査と副査の2名で行う。主査は指導教員とし、副査はフランス文学科所属の専任教員の中から主査が選出する。以下の項目を評価基準とし、総合的に判断する。

- ・ 対象を深く理解し、明快かつ説得的に書かれているか。
- ・ 論理的に構成されているか。
- ・ 用語や文章は的確で、表現力に優れているか。
- ・ 資料を適切に選択し、有効に活用しているか。
- ・ 論文としての独創性が認められるか。

### <卒業論文と9月卒業>

- ・在学5年目以上の学生が下記条件をすべて満たしている場合、卒業論文を9月卒業の申請科目にすることができる。
  - (1) 前年度までに「4年次演習」の単位を修得していること。
  - (2) 前年度までに最低1年は「卒業論文」の履修履歴があること。
  - (3) 卒業希望年度に、「卒業論文」の履修、あるいは、「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
  - (4) 指導教員または主任教授に、9月卒業のための「卒業論文」履修の許可を得ていること。
- ・9月卒業のための「卒業論文」履修希望者は、所定の「履修許可申込書」に指導教員または主任教授の署名捺印を受け、他の申請書類と合わせて、教務課に提出すること。
- ・履修申請者は、卒業論文を7月第1火曜日または水曜日に教務課に提出する。
- ・審査、口頭試問に合格した場合、春学期末に単位を修得できる。
- ・上記期日に未提出、あるいは審査結果が不合格になった場合、一般の学生と同じ1月の期日に再提出することで、3月卒業の可能性はある。
- ・卒業論文の単位を修得できても、他の卒業要件単位が春学期末に未修得であれば、卒業論文の単位は年度末の修得となる。
- ・レンヌ大学、エクサンプロヴァンス政治学院、コート・ダジュール大学への認定留学生で、9月卒業を希望する者は、留学出発前に指導教員および教務課に相談すること。

## 【9】大学独自の認証資格について

### 多文化共生ファシリテーター／サポーター認証について

本学科では多文化共生ファシリテーター／サポーター認証を取得可能である。明治学院共通科目と、フランス文学科が開講する科目のうち指定された科目を12単位以上修得した者が申請を行った場合に、「多文化共生サポーター」として認証される。対象となる科目については「内なる国際化プロジェクト」公式WEBサイト (<https://internal-il8n-meijigakuin.org/>) で確認すること。その上でさらに支援実践参加の学びを修めた学生は「多文化共生ファシリテーター」として認証される（詳細は上記サイトを参照のこと）。

## 【10】文学部他学科の学科科目

下記の科目を除き、文学部他学科の学科科目を⑥(明学科目および学科科目部門)の単位として18単位まで、また⑩(学科科目・選択科目部門)の単位として12単位まで、卒業要件単位に含めることができる。履修条件が付されている場合があるので、履修の際は各学科の項を参照すること。

### (1) 英文学科

基礎演習1・2	イギリス文学3年次演習	英語教育基礎論A・B
Listening and Pronunciation A・B	イギリス文学4年次演習	英語教育方法論A・B
Reading A・B	アメリカ文学3年次演習	英語教育実践論A・B
Listening and Speaking A・B	アメリカ文学4年次演習	英語教育評価論A・B
Academic Reading A・B	英語学3年次演習	Current Topics in ELT A・B
Academic Writing A・B	英語学4年次演習	英語教育3年次演習
Topics in British Culture A・B	Academic English Skills A・B	英語教育4年次演習
Topics in American Culture A・B	Advanced Academic Writing	卒業論文
Topics in Linguistics A・B		

### (2) 芸術学科 音楽学コース

西洋音楽通史P・S	音楽学基礎演習	音楽分析演習
音楽概論	音楽学資料講読	音楽学研究1A・1B・2A・2B
音楽理論演習1A・1B	音響表現論演習A・B	楽書演習A・B
音楽理論演習2		

#### 芸術学科 映像芸術学コース

映像芸術学演習1・2・3	映像理論演習	映像学文献講読A・B
--------------	--------	------------

#### 芸術学科 美術史学コース

日本・東洋美術通史P・S	デッサンA・B	西洋美術史演習
西洋美術史資料講読A・B	西洋美術史研究A・B	日本・東洋美術史演習

#### 芸術学科 芸術メディア論コース

メディア・コミュニケーション論序説P・S	芸術メディア論2年次演習1A・1B・2A・2B	芸術メディア論文献講読1A・1B・2A・2B
メディア文化社会論序説P・S	芸術メディア論3年次演習1・2	

#### 芸術学科 演劇身体表現コース

演劇概論P・S	演劇身体表現文献講読1A・1B・2A・2B	コンテンポラリーダンス論A・B
演劇身体表現論2年次演習1・2	西洋演劇研究A・B	ミュージカル研究A・B
演劇身体表現論3年次演習1・2	日本演劇研究A・B	

#### 芸術学科 総合芸術学コース

キリスト教芸術P・S
------------

#### 芸術学科 各コース共通

芸術学概論P・S	卒業論文	卒論ゼミナール
----------	------	---------

※学芸員課程は、芸術学科以外の学生は履修できません。(P.153参照)

## 〔11〕教職に関する科目

教職に関する科目のうち、「フランス語科指導法1・2・3・4」の科目（8単位）を単位群⑩の単位として卒業要件単位に含めることができる。

教職課程の履修については別冊の『教職課程履修要項』を参照すること。

## 〔12〕フランス語既習者の履修

高等学校（帰国生徒の場合はそれにあたるもの）でフランス語を修得し十分な学力を身につけた者は、1年次で明治学院共通科目のフランス語および学科科目（2）フランス語科目のなかの「Exercices Pratiques 1A・B」の単位を下記のクラスで履修すること。ただし、通常クラスを希望する者は、主任教授の許可を得たうえで、通常クラスを履修することができる。1年次末に全員を対象とした「学年末クラス分け試験」があるので、2年次以降は既習者用の特設クラスは設けていない。

科 目 名		履修クラス名	
<b>(1) 明治学院共通科目</b>			
MGFRE101	フランス語1A	㊦MGFRE101	フランス語1A
MGFRE102	フランス語1B	㊦MGFRE102	フランス語1B
MGFRE103	フランス語2A	㊦MGFRE103	フランス語2A
MGFRE104	フランス語2B	㊦MGFRE104	フランス語2B
<b>(2) フランス語科目</b>			
LFELF103	Exercices Pratiques 1A	㊦LFELF103	Exercices Pratiques 1A
LFELF104	Exercices Pratiques 1B	㊦LFELF104	Exercices Pratiques 1B

## 〔13〕再履修クラス

フランス文学科では次の必修科目の再履修クラスを開講する。

科 目 名		再履修クラス名		開講校地
<b>(1) フランス学基礎科目</b>				
LFEFB201	フランス文学史A	LFEFB201	㊦フランス文学史A	白金
LFEFB202	フランス文学史B	LFEFB202	㊦フランス文学史B	
LFEFB203	基礎研究A	LFEFB203	㊦基礎研究A	
LFEFB204	基礎研究B	LFEFB204	㊦基礎研究B	
<b>(2) フランス語科目</b>				
LFELF103	Exercices Pratiques1A	LFELF103	㊦Exercices Pratiques1A	横浜
LFELF104	Exercices Pratiques1B	LFELF104	㊦Exercices Pratiques1B	
LFELF111	実践フランス語A	LFELF111	㊦実践フランス語A	
LFELF112	実践フランス語B	LFELF112	㊦実践フランス語B	
LFELF201	Exercices Pratiques2A	LFELF201	㊦Exercices Pratiques2A	白金
LFELF202	Exercices Pratiques2B	LFELF202	㊦Exercices Pratiques2B	
LFELF203	フランス語表現法1A	LFELF203	㊦フランス語表現法1A	
LFELF204	フランス語表現法1B	LFELF204	㊦フランス語表現法1B	
<b>(3) 明治学院共通科目・フランス語</b>				
MGFRE101	フランス語1A	MGFRE101	㊦フランス語1A	横浜
MGFRE102	フランス語1B	MGFRE102	㊦フランス語1B	
MGFRE103	フランス語2A	MGFRE103	㊦フランス語2A	
MGFRE104	フランス語2B	MGFRE104	㊦フランス語2B	
MGFRE211	フランス語研究1A	MGFRE211	㊦フランス語研究1A	白金
MGFRE212	フランス語研究1B	MGFRE212	㊦フランス語研究1B	

科 目 名		再履修クラス名		開講校地
MGFRE213	フランス語研究2A	MGFRE213	㊦フランス語研究2A	白金
MGFRE214	フランス語研究2B	MGFRE214	㊦フランス語研究2B	

2年次配当科目である「フランス文学史A・B」「基礎研究A・B」「Exercices Pratiques 2A・B」「フランス語表現法1A・B」「フランス語研究1A・B」「フランス語研究2A・B」の再履修者は、原則として白金校舎で開講される各再履修者クラスを受講すること。白金校舎での受講ができない場合は、授業開始日までにフランス文学科共同研究室から許可を得ること。

# 芸術学科



## 文学部の目標と方針

### 人材養成上の目的・教育目標

文学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

文学部においては、さまざまな時代や状況においてなされた人間の創造行為や表現活動の諸相を学生に教授し、他者を理解するとともにまた自らを知る力を培う。そうして、新たな文化を構想する知的分析力や創造力をもった人材を養成してゆく。その過程において、問題を発見する力やそれを伝達する言語能力の涵養も重視し、将来自らが関わる社会のさまざまな局面において、柔軟かつ斬新な思考を展開できる人間を育てる。

### 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

- 1 人類の歴史・文化・社会および自然・健康に関する基礎的な教養を身につけている。
- 2 言語や文化・歴史、あるいはさまざまな表現ジャンルの芸術に関する体系的な知識を有している。
- 3 個別専門的な領域における新たな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力を有し、またそれを明快に伝達する表現能力を備えている。
- 4 さまざまな時代・環境における他者の営みを理解し、その認識をより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

### 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、文学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

- 1 各学科の専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につける授業を、初年次から多く設置する。
- 2 体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、個別特殊な課題を扱う授業を多く開講し、具体的な課題を思考し、ともに議論する機会を学生に授ける。
- 3 さまざまな言語や文化、あるいは表現活動に触れることによって、自らを他へと開いてゆく経験を与える。
- 4 自らの視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養う過程として、少人数のゼミや卒業論文制作などを重視する。

## 芸術学科の目標と方針

### 人材養成上の目的・教育目標

文学部芸術学科は、文学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、芸術学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

芸術学科は音楽学コース、映像芸術学コース、美術史学コース、芸術メディア論コース、演劇身体表現コース、総合芸術学コースの六つのコースで構成されている。いずれのコースにおいても、いわゆる実技者養成を目的とはせず、芸術に関する理論、歴史、それにまつわるコミュニケーションのあり方などを幅広く、かつ深く学ぶ環境を整える。学生それぞれの芸術に対する興味の芽生えを大切に育て、人間・文化・社会に対する知的的好奇心と批評的視野を養う教育を通して、芸術・表現活動に対する観察力、自らと他者の関わりへの洞察力、社会における問題を発見し深く考察する思考力、それを様々な表現媒体によって伝達する表現力、柔軟かつ斬新な発想をもって現実に向き合う実践力などを培い、さまざまな時代、状況における人間の創造行為や表現活動の諸相を理解して、新たな文化を構想する分析力や創造力をもった人材を養成することを目標とする。

### 卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部芸術学科は、文学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、芸術学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに124単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

具体的な到達目標は、次のとおりである。

- 1 人類の芸術・表現活動の歴史および、文化・社会との関わりに関する基礎的な教養を身につけている。
- 2 芸術に関する総合的な知識を獲得した上で、自らが専攻する個別専門領域における体系的な知識、あるいは領域横断的な知識を有している。
- 3 芸術についての学びを通し、既存概念にとらわれない幅広い知的的好奇心や、様々な対象を自ら見て、聴いて、感じ、考え、理解する柔軟な感性を養い、専攻領域におけるあらたな問題提起と、その解決を提案する分析力および構想力、またそれを効果的に伝達する表現能力を備えている。
- 4 芸術学科で学んだ知識を基に時代・環境を越えて他者の営みを理解し、様々な表現媒体を活用したコミュニケーション力を活かしてより良い社会の構築に結びつける志向をもっている。

### 教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部芸術学科は、文学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、芸術学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

芸術学科では、専攻領域における研究を目的とした専門教育と、芸術一般にわたる教養を身につけることを目的とした教養教育という2つの領域をカバーする授業を提供する。4年間のカリキュラムの流れは以下のように編成する。

学修成果については、授業への参画意欲を重視し、各段階および領域において必要な理論的・実践的な思考の深化や能力の蓄積を、レポート、試験、演習等を通して総合的に評価する。

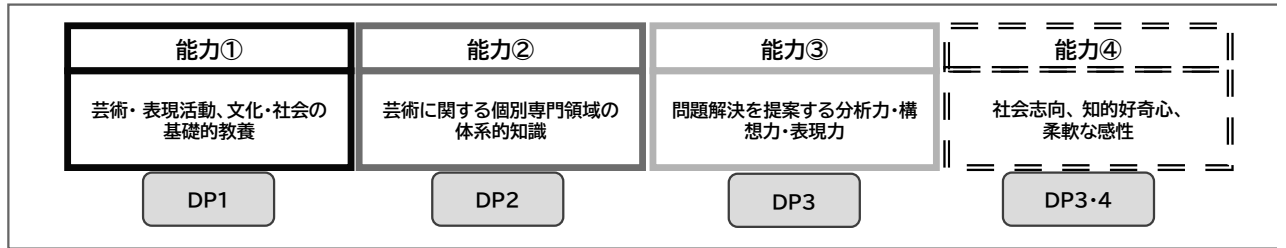
- 1 1年次には、様々な芸術領域における専門科目の理解に必要な基本的な知識・技能を身につけるために、幅広く入門的な講義を設置する。学生各自が芸術全般に関する基礎力を獲得すると共に、自主的に専攻コースの選択ができるよう科目の配置・指導を行う。
- 2 2年次以降は、学生が自らの専攻コースを選択する。体系的な知識を教授する講義科目と同時並行的に、専門的な課題を扱う授業を多く開講し、演習や講読、少人数での文献講読やゼミナール形式の授業などを通して、具体的な課題を思考し、考えたことを表現・発表する機会を積極的に設ける。

- 3 3年次では、各専攻コースの専門的知識を深めることを目的とした「研究」「演習」科目を中心に授業を配置すると共に、さまざまなトピックを専門的に扱う「特講」や、社会における芸術・文化・表現活動に広く触れる機会を設け、芸術を通して自らを他へと開いてゆく経験を与える。
- 4 専門5コース（音楽学・映像芸術学・美術史学・芸術メディア論・演劇身体表現）の場合、4年次で卒業論文が必須となる。ゼミおよび卒論制作においては、学生たちが独自の視点から問題を提起し、またそれを的確に表現する力を養うために、指導教員は密接なコミュニケーションをもって卒業指導を行う。一方、総合芸術学コースでは卒業論文を課されないが、学生は各自の視点を持ち、教養分野における知識を幅広く充実させるために、総合芸術学コースおよび専門5コースから横断的に授業を履修し卒業要件を満たす。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター/サポーターの認証資格取得も可能である。

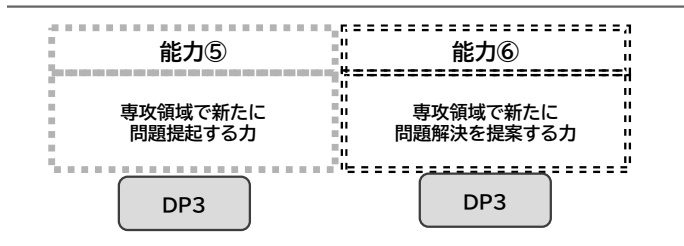
LA 芸術学科 カリキュラムツリー(コース別①)

※ ・下図は、能力要件表で◎を設定した科目のみ表示しています。  
 ・下線の科目は、必修科目です(選択必修科目には下線を引いておりませんのでご注意ください。)



	音楽学コース関係科目	映像芸術学コース関係科目	美術史学コース関係科目	
4年	<p>能力⑤</p> <p>LAGRA401卒業論文 LAGRA402卒論ゼミナール</p>	<p>能力⑤</p> <p>LAGRA401卒業論文 LAGRA402卒論ゼミナール</p>	<p>能力⑤</p> <p>LAGRA401卒業論文 LAGRA402卒論ゼミナール</p>	
3年	<p>能力③</p> <p>LAMUS301音楽学研究1A LAMUS302音楽学研究1B LAMUS303音楽学研究2A LAMUS304音楽学研究2B</p> <p>能力②</p> <p>LAMUS305音楽分析演習 LAMUS306音楽学特講1A LAMUS307音楽学特講1B LAMUS308音楽学特講2A LAMUS309音楽学特講2B LAMUS310音楽学特講3A LAMUS311音楽学特講3B LAMUS312音楽学特講4 LAMUS313音楽学特講5 LAMUS314音楽学特講6 LAMUS315音楽学特講7</p> <p>能力①</p> <p>LAMUS207楽書演習A LAMUS208楽書演習B</p>	<p>能力③</p> <p>LAFIL310映像芸術学特講1A LAFIL311映像芸術学特講1B LAFIL312映像芸術学特講2A LAFIL313映像芸術学特講2B LAFIL314映像芸術学特講3A LAFIL315映像芸術学特講3B</p> <p>能力②</p> <p>LAFIL301映像理論演習 LAFIL302映像学文献講読A LAFIL303映像学文献講読B LAFIL304映画史演習 LAFIL306映画史特講1A LAFIL307映画史特講1B LAFIL308映画史特講2A LAFIL309映画史特講2B</p> <p>能力①</p> <p>LAFIL305映像文化研究</p>	<p>能力⑤</p> <p>LAFAH209現代美術論A LAFAH210現代美術論B</p> <p>能力④</p> <p>LAFAH301西洋美術史研究A LAFAH302西洋美術史研究B LAFAH303西洋美術史特講1A LAFAH304西洋美術史特講1B LAFAH305西洋美術史特講2A LAFAH306西洋美術史特講2B LAFAH307日本・東洋美術史研究A LAFAH308日本・東洋美術史研究B LAFAH309日本美術史特講1A LAFAH310日本美術史特講1B LAFAH311日本美術史特講2A LAFAH312日本美術史特講2B LAFAH207日本近代美術史A LAFAH208日本近代美術史B</p> <p>能力③</p> <p>LAFAH205美術史の理論と方法A LAFAH206美術史の理論と方法B LAFAH313西洋美術史演習 LAFAH314日本・東洋美術史演習</p>	<p>文学部共通科目</p> <p>能力③</p> <p>LECRS315小説技法A LECRS316小説技法B LECRS317翻訳論A LECRS318翻訳論B LECRS319Practical Career English A</p> <p>LECRS320Practical Career English B LFIA301AI問題入門</p> <p>能力①</p> <p>LFLTJ301日本文学(専)A LFLTJ302日本文学(専)B LAGEN101中国文学A LAGEN102中国文学B LAGEN103ドイツ文学A LAGEN104ドイツ文学B LFLTE301西洋文学A LFLTE302西洋文学B LFCIN301異文化理解3 LFCIN302異文化理解4 LXCRS301哲学(専)1 LXCRS302哲学(専)2</p> <p>LECRS313言語学A LECRS314言語学B LFLAT301ラテン語1A LFLAT302ラテン語1B LFLAT303ラテン語2A LFLAT304ラテン語2B LAGEN105文化史A LAGEN106文化史B LAGEN107民俗学A LAGEN108民俗学B</p>
2年	<p>能力④</p> <p>LAMUS205音楽表現論演習A LAMUS206音楽表現論演習B</p> <p>能力③</p> <p>LAMUS201音楽学基礎演習</p> <p>能力②</p> <p>LAMUS203音楽理論演習2</p> <p>能力①</p> <p>LAMUS202音楽学資料講読</p>	<p>能力②</p> <p>LAFIL201映像芸術学演習1 LAFIL202映像芸術学演習2 LAFIL203映像芸術学演習3</p>	<p>能力③</p> <p>LAFAH201西洋美術史資料講読A LAFAH202西洋美術史資料講読B LAFAH203日本・東洋美術史資料講読A LAFAH204日本・東洋美術史資料講読B</p> <p>能力①</p> <p>LAFAH105デッサンA LAFAH106デッサンB</p>	<p>能力①</p> <p>LECRS201異文化理解1 LECRS202異文化理解2</p>
1年	<p>能力④</p> <p>LAMUS103音楽概論</p> <p>能力②</p> <p>LAMUS104音楽理論演習1A LAMUS105音楽理論演習1B</p> <p>能力①</p> <p>LAMUS101西洋音楽通史P LAMUS102西洋音楽通史S</p>	<p>能力③</p> <p>LAFIL103映像基礎研究P LAFIL104映像基礎研究S LAFIL105映像芸術学序説P LAFIL106映像芸術学序説S</p> <p>能力②</p> <p>LAFIL101映画史通説P LAFIL102映画史通説S</p>	<p>能力①</p> <p>LAFAH101西洋美術通史P LAFAH102西洋美術通史S LAFAH103日本・東洋美術通史P LAFAH104日本・東洋美術通史S</p>	
	<p>各コース共通科目</p> <p>能力②</p> <p>LAART101芸術学概論P LAART102芸術学概論S</p>			

明治学院共通科目  
 言語系科目群・基礎教養科目群・MG教養科目群・国際総合科目群・単位認定科目群



文学部他学科の学科科目

能力④

LFELF301フランス語講読2A LFELF302フランス語講読2B LFELF316時事フランス語B LFELF317観光フランス語A LFELF318観光フランス語B

能力③

LECRS311Intercultural Communication A LEAES305通訳技法A LFELF307フランス語表現法2A LFELF313実用フランス語A LFELF322Préparation au DELF B  
 LECRS312Intercultural Communication B LEAES306通訳技法B LFELF308フランス語表現法2B LFELF314実用フランス語B LFELF323Préparation au TCF A  
 LEAES301Business English A LFELF303Exercices Pratiques 3A LFELF309仏会話1A LFELF315時事フランス語A LFELF324Préparation au TCF B  
 LEAES302Business English B LFELF304Exercices Pratiques 3B LFELF310仏会話1B LFELF319検定対策フランス語3A LFFAL301フランス語の諸相A  
 LEAES303通訳技法A LFELF305Exercices Pratiques 4A LFELF311仏会話2A LFELF320検定対策フランス語3B LFFAL302フランス語の諸相B  
 LEAES304通訳技法B LFELF306Exercices Pratiques 4B LFELF312仏会話2B LFELF321Préparation au DELF A

能力②

LEBRL301イギリス詩A LEAML305アメリカ演劇A LELIN309意味論A LFFAL303フランス語史A LFFAP303フランス現代史A LFFAA305写真芸術A  
 LEBRL302イギリス詩B LEAML306アメリカ演劇B LELIN310意味論B LFFAL304フランス語史B LFFAP304フランス現代史B LFFAA306写真芸術B  
 LEBRL303イギリス小説A LEAML307アメリカ文学史A LELIN311語用論A LFFAL305現代翻訳論A LFFAP305日仏比較論A LFFAA307舞台表現論A  
 LEBRL304イギリス小説B LEAML308アメリカ文学史B LELIN312語用論B LFFAL306現代翻訳論B LFFAP306日仏比較論B LFFAA308舞台表現論B  
 LEBRL305イギリス演劇A LEAML309アメリカ文学批評A LELIN313心理言語学A LFFAL307中世・ルネサンス文学A LFFAP307フランコフォニー研究A LFFAA309身体と芸術A  
 LEBRL306イギリス演劇B LEAML310アメリカ文学批評B LELIN314心理言語学B LFFAL308中世・ルネサンス文学B LFFAP308フランコフォニー研究B LFFAA310身体と芸術B  
 LEBRL307イギリス文学史A LEAML311アメリカ文学特講A LELIN315社会言語学A LFFAL309 17・18世紀文学A LFFAP309フランス社会の諸相A LFFAA311フランス美術A  
 LEBRL308イギリス文学史B LEAML312アメリカ文学特講B LELIN316社会言語学B LFFAL310 17・18世紀文学B LFFAP310フランス社会の諸相B LFFAA312フランス美術B  
 LEBRL309イギリス文学批評A LEAML313アメリカ文化研究A LELIN317英語学特講A LFFAL311近現代の文学A LFFAP311現代思想A LFFAA313表象メディア論A  
 LEBRL310イギリス文学批評B LEAML314アメリカ文化研究B LELIN318英語学特講B LFFAL312近現代の文学B LFFAP312現代思想B LFFAA314表象メディア論B  
 LEBRL311イギリス文学特講A LELIN301音声学A LECRS301英米宗教学A LFFAL313詩と演劇A LFFAP313哲学と人間A LFFAA315フランスの音楽A  
 LEBRL312イギリス文学特講B LELIN302音声学B LECRS302英米宗教学B LFFAL314詩と演劇B LFFAP314哲学と人間B LFFAA316フランスの音楽B  
 LEBRL313イギリス文化研究A LEAML314アメリカ文化研究A LELIN303英語史A LECRS305英米児童文学A LFFAL315小説と批評A LFFAP317フランス学特講2A LFFAA317フランス学特講3A  
 LEBRL314イギリス文化研究B LEAML315アメリカ文化研究B LELIN304英語史B LECRS306英米児童文学B LFFAL316小説と批評B LFFAP318フランス学特講2B LFFAA318フランス学特講3B  
 LEAML301アメリカ詩A LELIN305音韻論A LECRS307イギリス研究A LFFAL317フランス学特講1A LFFAA301現代芸術A  
 LEAML302アメリカ詩B LELIN306音韻論B LECRS308アメリカ研究A LFFAL318フランス学特講1B LFFAA302現代芸術B  
 LEAML303アメリカ小説A LELIN307統語論A LECRS309アメリカ研究A LFFAP301歴史記述論A LFFAA303映画芸術A  
 LEAML304アメリカ小説B LELIN308統語論B LECRS310アメリカ研究B LFFAP302歴史記述論B LFFAA304映画芸術B

能力①

LECRS303英語聖書A LECRS304英語聖書B LFFAP315精神分析入門A LFFAP316精神分析入門B

能力③

LFELF201Exercices Pratiques 2A LFELF202Exercices Pratiques 2B

能力①

LEBRL201イギリス文学概論A LEBRL202イギリス文学概論B LEAML201アメリカ文学概論A LEAML202アメリカ文学概論B LELIN201英語学概論A LELIN202英語学概論B  
 LFEFB201フランス文学史A LFEFB202フランス文学史B

能力④

LEETE203TESOL Seminar(短期留学) LFELF109Communication niveau avancé

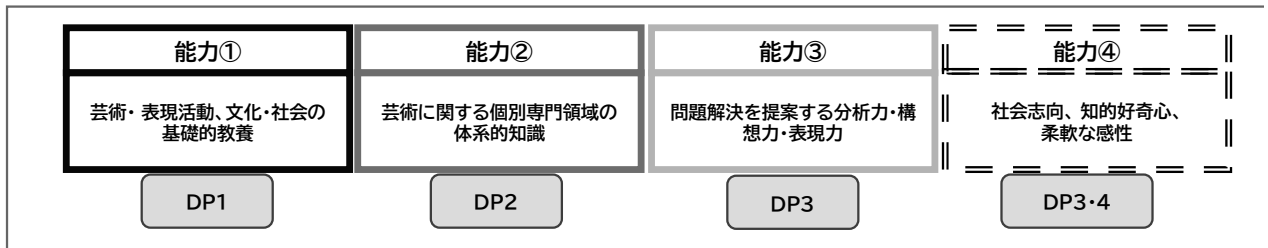
能力③

LEBES106英文法A LEAES101英語オラコミュニケーションA LEAES105英語文章作成法A LFELF105検定対策フランス語1A  
 LEBES107英文法B LEAES102英語オラコミュニケーションB LEAES106英語文章作成法B LFELF106検定対策フランス語1B  
 LEBES108Writing A LEAES103英語文章読解法A LFELF103Exercices Pratiques 1A LFELF107検定対策フランス語2A  
 LEBES109Writing B LEAES104英語文章読解法B LFELF104Exercices Pratiques 1B LFELF108検定対策フランス語2B

能力①

LEBRL101イギリス文学入門 LEAML101アメリカ文学入門 LELIN101英語学入門 LFEFB101フランス学概説A LFEFB102フランス学概説B  
 LFEFB103フランスの歴史A LFEFB104フランスの歴史B LFEFB105フランス文化研究A LFEFB106フランス文化研究B

LA 芸術学科 カリキュラムツリー(コース別②) ※・下図は、能力要件表で◎を設定した科目のみ表示しています。  
 ・下線の科目は、必修科目です(選択必修科目には下線を引いておりませんのでご注意ください。)



<b>4年</b>	芸術メディア論コース関係科目	演劇身体表現コース関係科目	総合芸術学コース関係科目
<b>3年</b>	<p style="text-align: center;"><b>能力⑤</b></p> <p>LAGRA401卒業論文 LAGRA402卒論ゼミナール</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力⑤</b></p> <p>LAGRA401卒業論文 LAGRA402卒論ゼミナール</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力③</b></p> <p>LAGRA401卒業論文 LAGRA402卒論ゼミナール</p>
<b>2年</b>	<p style="text-align: center;"><b>能力④</b></p> <p>LAMED301芸術メディア論3年次演習1 LAMED302芸術メディア論3年次演習2 LAMED307デジタルアート論A LAMED308デジタルアート論B</p> <p style="text-align: center;"><b>能力②</b></p> <p>LAMED303芸術メディア論文献講読1A LAMED304芸術メディア論文献講読1B LAMED305芸術メディア論文献講読2A LAMED306芸術メディア論文献講読2B LAMED309メディア実践論A LAMED310メディア実践論B LAMED311ポピュラーカルチャー論A LAMED312ポピュラーカルチャー論B LAMED313建築・都市空間論A LAMED314建築・都市空間論B LAMED315デザイン論A LAMED316デザイン論B LAMED317メディア産業論A LAMED318メディア産業論B LAMED319芸術メディア論特講1A LAMED320芸術メディア論特講1B LAMED321芸術メディア論特講2A LAMED322芸術メディア論特講2B</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LATHE301演劇身体表現論3年次演習1 LATHE302演劇身体表現論3年次演習2 LATHE303演劇身体表現文献講読1A LATHE304演劇身体表現文献講読1B LATHE305演劇身体表現文献講読2A LATHE306演劇身体表現文献講読2B LATHE307西洋演劇研究A LATHE308西洋演劇研究B LATHE309日本演劇研究A LATHE310日本演劇研究B LATHE311演劇学A LATHE312演劇学B LATHE313バレエ研究A LATHE314/バレエ研究B LATHE315コンテンポラリーダンス論A LATHE316コンテンポラリーダンス論B LATHE317パフォーマンス理論A LATHE318パフォーマンス理論B LATHE319ミュージカル研究A LATHE320ミュージカル研究B LATHE321舞台芸術論A LATHE322舞台芸術論B</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力②</b></p> <p>LACOM311芸術表現論 LACOM312アートマネジメント論</p> <p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LACOM301キリスト教芸術P LACOM302キリスト教芸術S LACOM303思想と芸術A LACOM304思想と芸術B LACOM305現代社会と芸術1A LACOM306現代社会と芸術1B LACOM307現代社会と芸術2A LACOM308現代社会と芸術2B LACOM309現代社会と芸術3A LACOM310現代社会と芸術3B</p>
<b>1年</b>	<p style="text-align: center;"><b>能力③</b></p> <p>LAMED201芸術メディア論2年次演習1A LAMED202芸術メディア論2年次演習1B LAMED203芸術メディア論2年次演習2A LAMED204芸術メディア論2年次演習2B</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LATHE201演劇身体表現論2年次演習1 LATHE202演劇身体表現論2年次演習2</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LATHE201演劇身体表現論2年次演習1 LATHE202演劇身体表現論2年次演習2</p>
	<p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LAMED101メディア・コミュニケーション論序説P LAMED102メディア・コミュニケーション論序説S LAMED103メディア文化社会論序説P LAMED104メディア文化社会論序説S</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LATHE101演劇概論P LATHE102演劇概論S LATHE103身体表現論概説P LATHE104身体表現論概説S</p>	<p style="text-align: center;"><b>能力①</b></p> <p>LECRS201異文化理解1 LECRS202異文化理解2</p>
	<p style="text-align: center;">各コース共通科目</p> <p style="text-align: center;"><b>能力②</b></p> <p>LAART101芸術学概論P LAART102芸術学概論S</p>		

明治学院共通科目  
 言語系科目群・基盤教養科目群・MG教養科目群・国際総合科目群・単位認定科目群

能力⑤

専攻領域で新たに  
問題提起する力

DP3

能力⑥

専攻領域で新たに  
問題解決を提案する力

DP3

文学部他学科の学科学目

能力④

LFELF301フランス語講読2A LFELF302フランス語講読2B LFELF316時事フランス語B LFELF317観光フランス語A LFELF318観光フランス語B

能力③

LECRS311Intercultural Communication A	LEAES305通訳技法A	LFELF307フランス語表現法2A	LFELF313実用フランス語A	LFELF322Préparation au DELF B
LECRS312Intercultural Communication B	LEAES306通訳技法B	LFELF308フランス語表現法2B	LFELF314実用フランス語B	LFELF323Préparation au TCF A
LEAES301Business English A	LFELF303Exercices Pratiques 3A	LFELF309仏会話1A	LFELF315時事フランス語A	LFELF324Préparation au TCF B
LEAES302Business English B	LFELF304Exercices Pratiques 3B	LFELF310仏会話1B	LFELF319検定対策フランス語3A	LFELF301フランス語の諸相A
LEAES303通訳技法A	LFELF305Exercices Pratiques 4A	LFELF311仏会話2A	LFELF320検定対策フランス語3B	LFELF302フランス語の諸相B
LEAES304通訳技法B	LFELF306Exercices Pratiques 4B	LFELF312仏会話2B	LFELF321Préparation au DELF A	

能力②

LEBRL301イギリス詩A	LEAML305アメリカ演劇A	LELIN309意味論A	LFAL303フランス語史A	LFFAP303フランス現代史A	LFFAA305写真芸術A
LEBRL302イギリス詩B	LEAML306アメリカ演劇B	LELIN310意味論B	LFAL304フランス語史B	LFFAP304フランス現代史B	LFFAA306写真芸術B
LEBRL303イギリス小説A	LEAML307アメリカ文学史A	LELIN311語用論A	LFAL305現代翻訳論A	LFFAP305日仏比較論A	LFFAA307舞台表現論A
LEBRL304イギリス小説B	LEAML308アメリカ文学史B	LELIN312語用論B	LFAL306現代翻訳論B	LFFAP306日仏比較論B	LFFAA308舞台表現論B
LEBRL305イギリス演劇A	LEAML309アメリカ文学批評A	LELIN313心理言語学A	LFAL307中世・ルネサンス文学A	LFFAP307フロンティア研究A	LFFAA309身体と芸術A
LEBRL306イギリス演劇B	LEAML310アメリカ文学批評B	LELIN314心理言語学B	LFAL308中世・ルネサンス文学B	LFFAP308フロンティア研究B	LFFAA310身体と芸術B
LEBRL307イギリス文学史A	LEAML311アメリカ文学特講A	LELIN315社会言語学A	LFAL309 17-18世紀文学A	LFFAP309フランス社会の諸相A	LFFAA311フランス美術A
LEBRL308イギリス文学史B	LEAML312アメリカ文学特講B	LELIN316社会言語学B	LFAL310 17-18世紀文学B	LFFAP310フランス社会の諸相B	LFFAA312フランス美術B
LEBRL309イギリス文学批評A	LEAML313アメリカ文化研究A	LELIN317英語学特講A	LFAL311近現代の文学A	LFFAP311現代思想A	LFFAA313表象メディア論A
LEBRL310イギリス文学批評B	LEAML314アメリカ文化研究B	LELIN318英語学特講B	LFAL312近現代の文学B	LFFAP312現代思想B	LFFAA314表象メディア論B
LEBRL311イギリス文学特講A	LELIN301音声学A	LECRS301英米宗教文学A	LFAL313詩と演劇A	LFFAP313哲学と人間A	LFFAA315フランスの音楽A
LEBRL312イギリス文学特講B	LELIN302音声学B	LECRS302英米宗教文学B	LFAL314詩と演劇B	LFFAP314哲学と人間B	LFFAA316フランスの音楽B
LEBRL313イギリス文化研究A	LELIN303英語史A	LECRS305英米児童文学A	LFAL315小説と批評A	LFFAP317フランス学特講2A	LFFAA317フランス学特講3A
LEBRL314イギリス文化研究B	LELIN304英語史B	LECRS306英米児童文学B	LFAL316小説と批評B	LFFAP318フランス学特講2B	LFFAA318フランス学特講3B
LEAML301アメリカ詩A	LELIN305音韻論A	LECRS307イギリス研究A	LFAL317フランス学特講1A	LFFAA301現代芸術A	
LEAML302アメリカ詩B	LELIN306音韻論B	LECRS308イギリス研究B	LFAL318フランス学特講1B	LFFAA302現代芸術B	
LEAML303アメリカ小説A	LELIN307統語論A	LECRS309アメリカ研究A	LFFAP301歴史記述論A	LFFAA303映画芸術A	
LEAML304アメリカ小説B	LELIN308統語論B	LECRS310アメリカ研究B	LFFAP302歴史記述論B	LFFAA304映画芸術B	

能力①

LECRS303英語聖書A LECRS304英語聖書B LFFAP315精神分析入門A LFFAP316精神分析入門B

能力③

LFELF201Exercices Pratiques 2A LFELF202Exercices Pratiques 2B

能力①

LEBRL201イギリス文学概論A LEBRL202イギリス文学概論B LEAML201アメリカ文学概論A LEAML202アメリカ文学概論B LELIN201英語学概論A LELIN202英語学概論B LFEFB201フランス文学史A LFEFB202フランス文学史B

能力④

LEETE203TESOL Seminar(短期留学) LFELF109Communication niveau avancé

能力③

LEBES106英文法A	LEAES101英語フレーズコミュニケーションA	LEAES105英語文章作成法A	LFELF105検定対策フランス語1A
LEBES107英文法B	LEAES102英語フレーズコミュニケーションB	LEAES106英語文章作成法B	LFELF106検定対策フランス語1B
LEBES108Writing A	LEAES103英語文章読解法A	LFELF103Exercices Pratiques 1A	LFELF107検定対策フランス語2A
LEBES109Writing B	LEAES104英語文章読解法B	LFELF104Exercices Pratiques 1B	LFELF108検定対策フランス語2B

能力①

LEBRL101イギリス文学入門 LFEFB103フランスの歴史A LEAML101アメリカ文学入門 LFEFB104フランスの歴史B LELIN101英語学入門 LFEFB105フランス文化研究A LFEFB101フランス学概説A LFEFB102フランス学概説B

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
<b>(1)各コース共通科目</b>									
LAART101芸術学概論P	必修	2	1	○	◎				
LAART102芸術学概論S	必修	2	1	○	◎				
<b>(2)音楽学コース関係科目</b>									
LAMUS101西洋音楽通史P	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LAMUS102西洋音楽通史S	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LAMUS103音楽概論	選択必修or選択	2	1	○	○		◎		
LAMUS104音楽理論演習1A	選択必修or選択	1	1	○	◎		○		
LAMUS105音楽理論演習1B	選択必修or選択	1	1	○	◎		○		
LAMUS201音楽学基礎演習	選択必修or選択	2	2		○	◎	○		
LAMUS202音楽学資料講読	選択必修or選択	2	2	◎	○		○		
LAMUS203音楽理論演習2	選択必修or選択	1	2	○	◎		○		
LAMUS205音響表現論演習A	選択	1	2	○	○		◎		
LAMUS206音響表現論演習B	選択	1	2	○	○		◎		
LAMUS301音楽学研究1A	選択必修or選択	2	3		○	◎	○	○	
LAMUS302音楽学研究1B	選択必修or選択	2	3		○	◎	○	○	
LAMUS303音楽学研究2A	選択必修or選択	2	3		○	◎	○	○	
LAMUS304音楽学研究2B	選択必修or選択	2	3		○	◎	○	○	
LAMUS305音楽分析演習	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAMUS207楽書演習A	選択必修or選択	1	3	◎	○	○			
LAMUS208楽書演習B	選択必修or選択	1	3	◎	○	○			
LAMUS306音楽学特講1A	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS307音楽学特講1B	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS308音楽学特講2A	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS309音楽学特講2B	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS310音楽学特講3A	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS311音楽学特講3B	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS312音楽学特講4	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS313音楽学特講5	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS314音楽学特講6	選択	2	3	○	◎		○		
LAMUS315音楽学特講7	選択	2	3	○	◎		○		
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
<b>(3)映像芸術学コース関係科目</b>									
LAFIL101映画史通説P	選択必修or選択	2	1		◎	○		○	
LAFIL102映画史通説S	選択必修or選択	2	1		◎	○		○	
LAFIL103映像基礎研究P	選択必修or選択	2	1		○	◎	○		
LAFIL104映像基礎研究S	選択必修or選択	2	1		○	◎	○		
LAFIL105映像芸術学序説P	選択	2	1	○	○	◎			
LAFIL106映像芸術学序説S	選択	2	1	○	○	◎			
LAFIL201映像芸術学演習1	選択必修or選択	2	2		◎	○	○		
LAFIL202映像芸術学演習2	選択必修or選択	2	2		◎	○	○		
LAFIL203映像芸術学演習3	選択必修or選択	2	2		◎	○	○		
LAFIL301映像理論演習	選択必修or選択	4	3		◎	○	○		
LAFIL302映像学文献講読A	選択必修or選択	1	3		◎	○	○		
LAFIL303映像学文献講読B	選択必修or選択	1	3		◎	○	○		
LAFIL304映画史演習	選択必修or選択	4	3		◎	○	○		
LAFIL305映像文化研究	選択必修or選択	4	3	◎		○	○		
LAFIL306映画史特講1A	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL307映画史特講1B	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
LAFIL308映画史特講2A	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL309映画史特講2B	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LAFIL310映像芸術学特講1A	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL311映像芸術学特講1B	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL312映像芸術学特講2A	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL313映像芸術学特講2B	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL314映像芸術学特講3A	選択	2	3		○	◎	○		
LAFIL315映像芸術学特講3B	選択	2	3		○	◎	○		
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(4)美術史学コース関係科目									
LFAFH101西洋美術通史P	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LFAFH102西洋美術通史S	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LFAFH103日本・東洋美術通史P	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LFAFH104日本・東洋美術通史S	選択必修or選択	2	1	◎	○				
LFAFH201西洋美術史資料講読A	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LFAFH202西洋美術史資料講読B	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LFAFH203日本・東洋美術史資料講読A	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LFAFH204日本・東洋美術史資料講読B	選択必修or選択	1	2			◎	○		
LFAFH105デッサンA	選択	1	2	◎		○			
LFAFH106デッサンB	選択	1	2	◎		○			
LFAFH301西洋美術史研究A	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH302西洋美術史研究B	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH205美術史の理論と方法A	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LFAFH206美術史の理論と方法B	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LFAFH303西洋美術史特講1A	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH304西洋美術史特講1B	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH305西洋美術史特講2A	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH306西洋美術史特講2B	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH307日本・東洋美術史研究A	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH308日本・東洋美術史研究B	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH309日本美術史特講1A	選択必修or選択	2	3			○	◎		
LFAFH310日本美術史特講1B	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LFAFH311日本美術史特講2A	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LFAFH312日本美術史特講2B	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LFAFH207日本近代美術史A	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LFAFH208日本近代美術史B	選択必修or選択	2	3	○	○		◎		
LFAFH313西洋美術史演習	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LFAFH314日本・東洋美術史演習	選択必修or選択	2	3			◎	○		
LFAFH209現代美術論A	選択	2	3					◎	○
LFAFH210現代美術論B	選択	2	3					◎	○
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(5)芸術メディア論コース関係科目									
LAMED101メディア・コミュニケーション論序説P	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED102メディア・コミュニケーション論序説S	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED103メディア文化社会論序説P	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED104メディア文化社会論序説S	選択必修or選択	2	1	◎	○	○	○		
LAMED201芸術メディア論2年次演習1A	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED202芸術メディア論2年次演習1B	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED203芸術メディア論2年次演習2A	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
LAMED204芸術メディア論2年次演習2B	選択必修or選択	1	2	○	○	◎	○		
LAMED301芸術メディア論3年次演習1	選択必修or選択	2	3		○	○	◎	○	
LAMED302芸術メディア論3年次演習2	選択必修or選択	2	3		○	○	◎	○	
LAMED303芸術メディア論文献講読1A	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED304芸術メディア論文献講読1B	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED305芸術メディア論文献講読2A	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED306芸術メディア論文献講読2B	選択必修or選択	1	3	○	◎		○		
LAMED307デジタルアート論A	選択必修or選択	2	3		○	○	◎		
LAMED308デジタルアート論B	選択必修or選択	2	3		○	○	◎		
LAMED309メディア実践論A	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED310メディア実践論B	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED311ポピュラーカルチャー論A	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED312ポピュラーカルチャー論B	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED313建築・都市空間論A	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED314建築・都市空間論B	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED315デザイン論A	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED316デザイン論B	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED317メディア産業論A	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED318メディア産業論B	選択必修or選択	2	3	○	◎		○		
LAMED319芸術メディア論特講1A	選択	2	3	○	◎		○		
LAMED320芸術メディア論特講1B	選択	2	3	○	◎		○		
LAMED321芸術メディア論特講2A	選択	2	3	○	◎		○		
LAMED322芸術メディア論特講2B	選択	2	3	○	◎		○		
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(6)演劇身体表現コース関係科目									
LATHE101演劇概論P	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LATHE102演劇概論S	選択必修or選択	2	1	◎	○		○		
LATHE103身体表現論概説P	選択必修or選択	2	1	◎			○		
LATHE104身体表現論概説S	選択必修or選択	2	1	◎			○		
LATHE201演劇身体表現論2年次演習1	選択必修or選択	2	2	◎	○	○		○	
LATHE202演劇身体表現論2年次演習2	選択必修or選択	2	2	◎	○	○		○	
LATHE301演劇身体表現論3年次演習1	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE302演劇身体表現論3年次演習2	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE303演劇身体表現文献講読1A	選択必修or選択	1	3	◎	○				
LATHE304演劇身体表現文献講読1B	選択必修or選択	1	3	◎	○				
LATHE305演劇身体表現文献講読2A	選択必修or選択	1	3	◎	○				
LATHE306演劇身体表現文献講読2B	選択必修or選択	1	3	◎	○				
LATHE307西洋演劇研究A	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE308西洋演劇研究B	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE309日本演劇研究A	選択必修or選択	2	3	◎					○
LATHE310日本演劇研究B	選択必修or選択	2	3	◎					○
LATHE311演劇学A	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE312演劇学B	選択必修or選択	2	3	◎		○			
LATHE313パレエ研究A	選択必修or選択	2	3	◎				○	
LATHE314パレエ研究B	選択必修or選択	2	3	◎				○	
LATHE315コンテンポラリーダンス論A	選択	2	3	◎				○	○
LATHE316コンテンポラリーダンス論B	選択	2	3	◎				○	○
LATHE317パフォーマンス理論A	選択	2	3	◎				○	○
LATHE318パフォーマンス理論B	選択	2	3	◎				○	○
LATHE319ミュージカル研究A	選択	2	3	◎				○	

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
LATHE320ミュージカル研究B	選択	2	3	◎				○	
LATHE321舞台芸術論A	選択	2	3	◎		○			
LATHE322舞台芸術論B	選択	2	3	◎		○			
LAGRA401卒業論文	選択必修	6	4		○	○		◎	○
LAGRA402卒論ゼミナール	選択必修	2	4		○	○		◎	○
(7)総合芸術学コース関係科目									
LACOM301キリスト教芸術P	選択必修or選択	2	3	◎	○				
LACOM302キリスト教芸術S	選択必修or選択	2	3	◎	○				
LACOM303思想と芸術A	選択必修or選択	2	3	◎	○				
LACOM304思想と芸術B	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM305現代社会と芸術1A	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM306現代社会と芸術1B	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM307現代社会と芸術2A	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM308現代社会と芸術2B	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM309現代社会と芸術3A	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM310現代社会と芸術3B	選択必修or選択	2	3	◎	○		○		
LACOM311芸術表現論	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
LACOM312アートマネジメント論	選択必修or選択	2	3		◎	○	○		
(8)文学部共通科目									
LFLTJ301日本文学(専)A	選択	2	3	◎		○			
LFLTJ302日本文学(専)B	選択	2	3	◎		○			
LAGEN101中国文学A	選択	2	3	◎		○	○		
LAGEN102中国文学B	選択	2	3	◎		○	○		
LAGEN103ドイツ文学A	選択	2	3	◎	○		○		
LAGEN104ドイツ文学B	選択	2	3	◎	○		○		
LFLTE301西洋文学A	選択	2	3	◎		○	○		
LFLTE302西洋文学B	選択	2	3	◎		○	○		
LECRS201異文化理解1	選択	2	2	◎			○		
LECRS202異文化理解2	選択	2	2	◎			○		
LFCIN301異文化理解3	選択	2	3	◎			○		
LFCIN302異文化理解4	選択	2	3	◎			○		
LXCRS301哲学(専)1	選択	2	3	◎		○			
LXCRS302哲学(専)2	選択	2	3	◎		○			
LECRS313言語学A	選択	2	3	◎		○			
LECRS314言語学B	選択	2	3	◎		○			
LFLAT301ラテン語1A	選択	2	3	◎			○		
LFLAT302ラテン語1B	選択	2	3	◎			○		
LFLAT303ラテン語2A	選択	2	3	◎			○		
LFLAT304ラテン語2B	選択	2	3	◎			○		
LECRS315小説技法A	選択	2	3			◎	○		
LECRS316小説技法B	選択	2	3			◎	○		
LECRS317翻訳論A	選択	2	3			◎	○		
LECRS318翻訳論B	選択	2	3			◎	○		
LECRS319Practical Career English A	選択	2	3			◎	○		
LECRS320Practical Career English B	選択	2	3			◎	○		
LAGEN105文化史A	選択	2	3	◎		○			
LAGEN106文化史B	選択	2	3	◎		○			
LAGEN107民俗学A	選択	2	3	◎	○	○			
LAGEN108民俗学B	選択	2	3	◎	○	○			
LFIIA301AI問題入門	選択	2	3	○		◎			

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
文学部他学科の学科科目									
LEBRL101イギリス文学入門	選択	2	1	◎			○		
LEBRL201イギリス文学概論A	選択	2	2	◎			○		
LEBRL202イギリス文学概論B	選択	2	2	◎			○		
LEAML101アメリカ文学入門	選択	2	1	◎			○		
LEAML201アメリカ文学概論A	選択	2	2	◎			○		
LEAML202アメリカ文学概論B	選択	2	2	◎			○		
LELIN101英語学入門	選択	2	1	◎			○		
LELIN201英語学概論A	選択	2	2	◎	○				
LELIN202英語学概論B	選択	2	2	◎	○				
LEBES106英文法A	選択	1	1			◎	○		
LEBES107英文法B	選択	1	1			◎	○		
LEBES108Writing A	選択	1	1			◎	○		
LEBES109Writing B	選択	1	1			◎	○		
LEAES101英語オラルコミュニケーションA	選択	2	1			◎	○		
LEAES102英語オラルコミュニケーションB	選択	2	1			◎	○		
LEAES103英語文章読解法A	選択	2	1			◎	○		
LEAES104英語文章読解法B	選択	2	1			◎	○		
LEAES105英語文章作成法A	選択	2	1			◎	○		
LEAES106英語文章作成法B	選択	2	1			◎	○		
LEBRL301イギリス詩A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL302イギリス詩B	選択	2	3	○	◎				
LEBRL303イギリス小説A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL304イギリス小説B	選択	2	3	○	◎				
LEBRL305イギリス演劇A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL306イギリス演劇B	選択	2	3	○	◎				
LEBRL307イギリス文学史A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL308イギリス文学史B	選択	2	3	○	◎				
LEBRL309イギリス文学批評A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL310イギリス文学批評B	選択	2	3	○	◎				
LEBRL311イギリス文学特講A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL312イギリス文学特講B	選択	2	3	○	◎				
LEBRL313イギリス文化研究A	選択	2	3	○	◎				
LEBRL314イギリス文化研究B	選択	2	3	○	◎				
LEAML301アメリカ詩A	選択	2	3	○	◎				
LEAML302アメリカ詩B	選択	2	3	○	◎				
LEAML303アメリカ小説A	選択	2	3	○	◎				
LEAML304アメリカ小説B	選択	2	3	○	◎				
LEAML305アメリカ演劇A	選択	2	3	○	◎				
LEAML306アメリカ演劇B	選択	2	3	○	◎				
LEAML307アメリカ文学史A	選択	2	3	○	◎				
LEAML308アメリカ文学史B	選択	2	3	○	◎				
LEAML309アメリカ文学批評A	選択	2	3		◎	○			
LEAML310アメリカ文学批評B	選択	2	3		◎	○			
LEAML311アメリカ文学特講A	選択	2	3		◎			○	
LEAML312アメリカ文学特講B	選択	2	3		◎			○	
LEAML313アメリカ文化研究A	選択	2	3		◎			○	
LEAML314アメリカ文化研究B	選択	2	3		◎			○	
LELIN301音声学A	選択	2	3	○	◎				
LELIN302音声学B	選択	2	3	○	◎				
LELIN303英語史A	選択	2	3	○	◎				

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
LELIN304英語史B	選択	2	3	○	◎				
LELIN305音韻論A	選択	2	3	○	◎				
LELIN306音韻論B	選択	2	3	○	◎				
LELIN307統語論A	選択	2	3	○	◎				
LELIN308統語論B	選択	2	3	○	◎				
LELIN309意味論A	選択	2	3	○	◎				
LELIN310意味論B	選択	2	3	○	◎				
LELIN311語用論A	選択	2	3	○	◎				
LELIN312語用論B	選択	2	3	○	◎				
LELIN313心理言語学A	選択	2	3	○	◎				
LELIN314心理言語学B	選択	2	3	○	◎				
LELIN315社会言語学A	選択	2	3	○	◎				
LELIN316社会言語学B	選択	2	3	○	◎				
LELIN317英語学特講A	選択	2	3	○	◎				
LELIN318英語学特講B	選択	2	3	○	◎				
LECRS301英米宗教文学A	選択	2	3	○	◎				
LECRS302英米宗教文学B	選択	2	3	○	◎				
LECRS303英語聖書A	選択	2	3	◎	○				
LECRS304英語聖書B	選択	2	3	◎	○				
LECRS305英米児童文学A	選択	2	3	○	◎				
LECRS306英米児童文学B	選択	2	3	○	◎				
LECRS307イギリス研究A	選択	2	3		◎		○		
LECRS308イギリス研究B	選択	2	3		◎		○		
LECRS309アメリカ研究A	選択	2	3		◎		○		
LECRS310アメリカ研究B	選択	2	3		◎		○		
LECRS311Intercultural Communication A	選択	2	3			◎			○
LECRS312Intercultural Communication B	選択	2	3			◎			○
LEAES301Business English A	選択	2	3			◎			○
LEAES302Business English B	選択	2	3			◎			○
LEAES303翻訳技法A	選択	2	3			◎			○
LEAES304翻訳技法B	選択	2	3			◎			○
LEAES305通訳技法A	選択	2	3			◎			○
LEAES306通訳技法B	選択	2	3			◎			○
LEETE203TESOL Seminar(短期留学)	選択	2	1	○			◎		
LFEFB101フランス学概説A	選択	2	1	◎			○		
LFEFB102フランス学概説B	選択	2	1	◎			○		
LFEFB103フランスの歴史A	選択	2	1	◎			○		
LFEFB104フランスの歴史B	選択	2	1	◎			○		
LFEFB105フランス文化研究A	選択	2	1	◎			○		
LFEFB106フランス文化研究B	選択	2	1	◎			○		
LFEFB201フランス文学史A	選択	2	2	◎			○		
LFEFB202フランス文学史B	選択	2	2	◎			○		
LFELF103Exercices Pratiques 1A	選択	1	1			◎			○
LFELF104Exercices Pratiques 1B	選択	1	1			◎			○
LFELF201Exercices Pratiques 2A	選択	1	2			◎			○
LFELF202Exercices Pratiques 2B	選択	1	2			◎			○
LFELF301フランス語講読2A	選択	1	3	○	○	○	◎		
LFELF302フランス語講読2B	選択	1	3	○	○	○	◎		
LFELF303Exercices Pratiques 3A	選択	1	3			◎			○
LFELF304Exercices Pratiques 3B	選択	1	3			◎			○
LFELF305Exercices Pratiques 4A	選択	1	3			◎			○
LFELF306Exercices Pratiques 4B	選択	1	3			◎			○

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
LFELF307フランス語表現法2A	選択	1	3			◎			○
LFELF308フランス語表現法2B	選択	1	3			◎			○
LFELF309仏会話1A	選択	1	3			◎			○
LFELF310仏会話1B	選択	1	3			◎			○
LFELF311仏会話2A	選択	1	3			◎			○
LFELF312仏会話2B	選択	1	3			◎			○
LFELF313実用フランス語A	選択	1	3			◎			○
LFELF314実用フランス語B	選択	1	3			◎			○
LFELF315時事フランス語A	選択	1	3			◎			○
LFELF316時事フランス語B	選択	1	3				◎		○
LFELF317観光フランス語A	選択	1	3				◎		○
LFELF318観光フランス語B	選択	1	3				◎		○
LFELF105検定対策フランス語1A	選択	1	1			◎			○
LFELF106検定対策フランス語1B	選択	1	1			◎			○
LFELF107検定対策フランス語2A	選択	1	1			◎			○
LFELF108検定対策フランス語2B	選択	1	1			◎			○
LFELF319検定対策フランス語3A	選択	1	3			◎			○
LFELF320検定対策フランス語3B	選択	1	3			◎			○
LFELF321Préparation au DELF A	選択	1	3			◎			○
LFELF322Préparation au DELF B	選択	1	3			◎			○
LFELF323Préparation au TCF A	選択	1	3			◎			○
LFELF324Préparation au TCF B	選択	1	3			◎			○
LFELF109Communication niveau avancé	選択	2	1				◎		○
LFFAL301フランス語の諸相A	選択	2	3			◎	○		
LFFAL302フランス語の諸相B	選択	2	3			◎	○		
LFFAL303フランス語史A	選択	2	3		◎	○			
LFFAL304フランス語史B	選択	2	3		◎	○			
LFFAL305現代翻訳論A	選択	2	3		◎	○			
LFFAL306現代翻訳論B	選択	2	3		◎	○			
LFFAL307中世・ルネサンス文学A	選択	2	3		◎		○		
LFFAL308中世・ルネサンス文学B	選択	2	3		◎		○		
LFFAL309 17・18世紀文学A	選択	2	3		◎		○		
LFFAL310 17・18世紀文学B	選択	2	3		◎		○		
LFFAL311近現代の文学A	選択	2	3		◎		○		
LFFAL312近現代の文学B	選択	2	3		◎		○		
LFFAL313詩と演劇A	選択	2	3		◎		○		
LFFAL314詩と演劇B	選択	2	3		◎		○		
LFFAL315小説と批評A	選択	2	3		◎		○		
LFFAL316小説と批評B	選択	2	3		◎		○		
LFFAL317フランス学特講1A	選択	2	3		◎		○		
LFFAL318フランス学特講1B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP301歴史記述論A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP302歴史記述論B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP303フランス現代史A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP304フランス現代史B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP305日仏比較論A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP306日仏比較論B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP307フランコフォニー研究A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP308フランコフォニー研究B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP309フランス社会の諸相A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP310フランス社会の諸相B	選択	2	3		◎		○		

学士力				知識・理解		汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				芸術学科1	芸術学科2	芸術学科3	芸術学科3・4	芸術学科3	芸術学科3
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				芸術・表現活動、文化・社会の基礎的教養	芸術に関する個別専門領域の体系的知識	問題解決を提案する分析力・構想力・表現力	社会志向、知的好奇心、柔軟な感性	専攻領域で新たに問題提起する力	専攻領域で新たに問題解決を提案する力
授業科目名	必修 選択	単位	年次	能力に最も関連する科目=◎、能力に関連する科目=○					
LFFAP311現代思想A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP312現代思想B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP313哲学と人間A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP314哲学と人間B	選択	2	3		◎		○		
LFFAP315精神分析入門A	選択	2	3	◎			○		
LFFAP316精神分析入門B	選択	2	3	◎			○		
LFFAP317フランス学特講2A	選択	2	3		◎		○		
LFFAP318フランス学特講2B	選択	2	3		◎		○		
LFFAA301現代芸術A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA302現代芸術B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA303映画芸術A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA304映画芸術B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA305写真芸術A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA306写真芸術B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA307舞台表現論A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA308舞台表現論B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA309身体と芸術A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA310身体と芸術B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA311フランス美術A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA312フランス美術B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA313表象メディア論A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA314表象メディア論B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA315フランスの音楽A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA316フランスの音楽B	選択	2	3	○	◎				
LFFAA317フランス学特講3A	選択	2	3	○	◎				
LFFAA318フランス学特講3B	選択	2	3	○	◎				

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

## 芸術学科

### (履修の方法)

指導の方針——価値の多様化が—芸術にあっても—とどまるところを知らぬげに見える今日、主体的な享受をすすめて創造者と享受者一般との有効・適切な橋渡しに任じる人材が育つよう、本学科は——

- (1) 専門性を深める個別的芸術学の研究・教育を主軸とし、
- (2) そのなかで、個別を包みこむ基本的な問題意識をも培い、
- (3) 加えて可能な限り学際的な視野をあわせて与えることにつとめたい。

さらに研究者の進路をめざす者には、そのために必要な基礎となるものを修得させる。

芸術が術 *ars* であるからには、その *ars* に触れる上で不可欠な実習は行うが、実技者養成を目的とする実技指導は行わない。

### (所属コースについて)

本学科は、音楽学コース、映像芸術学コース、美術史学コース、芸術メディア論コース、演劇身体表現コース、総合芸術学コースの6コースによって構成される。学生は全員、1年次の秋学期の定められた期間に2年次以降どのコースに属したいか希望を提出する。コースの定員は総合芸術学コースを除き各約30名とし、定員を超過した場合は所定の審査に基づき決定される。なお、期限までにコース希望を提出しなかった場合は自動的に総合芸術学コース所属となるので注意すること。

また、各コースで1年次配当の必修科目が複数設定されているため、2年次からの所属コースを見越して、1年次から履修計画をたてることが望ましい。

所属コースの変更は、原則として2年次の秋学期の定められた期間に、定められた条件を満たす場合に限り申請することができ、所定の審査の上、決定される。なお、例外的に3年次の秋学期の定められた期間に、定められた条件を満たす場合に限り、申請を受け付ける場合がある。その場合も、決定は所定の審査を経てなされる。

## 【1】卒業までに必要な単位数

部 門		単位群	卒業に必要な単位数			
明治学院 共通科目	必修 ・ 選択必修	コア科目「キリスト教の基礎A・B」	①	2科目4単位	計24単位	
		言語系科目群 「英語コミュニケーション1A・1B・2A・2B」	②	4科目4単位 (注1)		
		言語系科目群 「〇〇語1A・1B・2A・2B」 (フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、 ロシア語、韓国語から1言語選択)	③	4科目4単位 (注1)		
		言語系科目群 「〇〇語研究1A・1B・2A・2B」から2科目 (「〇〇語1A・1B・2A・2B」と同一言語を選択)	④	2科目4単位 (注1)		
		人文科学系科目	⑤	1科目2単位(注2)		
	社会科学系科目	1科目2単位(注2)				
	キャリア&グローバル教養系科目	1科目2単位(注2)				
	明治学院・Do for Others教養系科目	1科目2単位(注2)				
	選択		⑥	6単位(注3)		計6単位
	明治学院共通科目・学科科目より選択			⑦		20単位(注4)
学科科 目 (注5)	必修 ・ 選択必修	音楽学コース	⑧	44単位	計74単位	
		映像芸術学コース		46単位		
		美術史学コース		46単位		
		芸術メディア論コース		44単位		
		演劇身体表現コース		44単位		
		総合芸術学コース		32単位		
	選択 (注6)	音楽学コース	⑨	30単位(注7)		
		映像芸術学コース		28単位(注7)		
		美術史学コース		28単位(注7)		
		芸術メディア論コース		30単位(注7)		
		演劇身体表現コース		30単位(注7)		
		総合芸術学コース		42単位(注7)		
合 計				124単位		

(注1) 必修の英語(4単位)および選択必修のフランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語(同一言語で8単位)以外の外国語を修得した場合は、⑥または⑦の単位に算入される。

なお、留学生については、日本語4単位(日本語1A・1B・2A・2B)とフランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、韓国語から1言語で8単位を修得すること。「英語コミュニケーション」については、選択科目として履修可能とする。

選択必修科目として選んだ言語を大学入学以前に既に学習している場合は、必ず教務課窓口にご相談すること。相談の結果、許可された者は、「〇〇語」1A・1B・2A・2Bではなく「〇〇語」3A・3B・4A・4Bを履修し、2年次に「〇〇語研究」3A・3B・4A・4Bから2科目4単位を修得すること。

(注2) ⑤の選択必修は、人文科学系科目、社会科学系科目、キャリア&グローバル教養系科目、明治学院・Do for Others教養系科目からそれぞれ2単位修得すること。3単位以上の単位は、⑥の単位として扱われる。

(注3) ⑥の選択6単位は、明治学院共通科目から修得すること。7単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。

(注4) ⑦は、明治学院共通科目、芸術学科科目(文学部共通科目を含む)、文学部他学科の学科科目から20単位修得すること。ただし、『文学部他学科の学科科目』の項に記載の科目を除く。

(注5) 必修科目、選択必修科目、選択科目については、『[7] 学科科目』の項を参照すること。

(注6) ⑨の学科科目(選択科目)中に、文学部共通科目と文学部他学科の学科科目を合わせて16単位まで含めること

ができる。ただし、『文学部他学科の学科科目』の項に記載の科目を除く。なお、文学部共通科目と文学部他学科の学科科目を合わせて17単位以上修得した場合、17単位めからは⑦の単位として扱われる。

(注7)《音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コース》

⑨の学科科目(選択科目)は、30単位修得すること。31単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。

《映像芸術学コース・美術史学コース》

⑨の学科科目(選択科目)は、28単位修得すること。29単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。

《総合芸術学コース》

⑨の学科科目(選択科目)は、42単位修得すること。43単位以上の単位は、⑦の単位として扱われる。

## ディプロマシー・ポリシーを観点とした卒業要件

1. 所定の期間在学し、「卒業までに必要な単位数(124単位)」を修得する。
2. 人類の芸術・表現活動の歴史および、文化・社会との関わりに関する基礎的な教養を身につけるために、「明治学院共通科目」「必修科目(コース必修科目・各コース共通科目)」を履修して必要単位を修得する。
3. 芸術に関する総合的な知識を獲得した上で、自らが専攻する個別専門領域における体系的な知識、あるいは領域横断的な知識を身につけ、既存概念にとらわれない幅広い知的好奇心や柔軟な感性を養い、あらたな問題提起とその解決を提案する分析力および構想力、またそれを効果的に伝達する表現能力を身につけるために、「コース必修科目」「コース選択必修科目」「コース選択科目」を履修して必要単位を修得する。

《音楽学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング	科目名	単位	開講	年次	備考
⑧ 必修科目	コース共通	LAART	101・102 芸術学概論P・S	2・2	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	音楽学コース	LAMUS	101・102 西洋音楽通史P・S	2・2	学期	1	
			103 音楽概論	2	学期	1	
			104・105 音楽理論演習1A・B	1・1	学期	1	
			201 音楽学基礎演習	2	通年	2	
			202 音楽学資料講読	2	通年	2	
			203 音楽理論演習2	1	学期	2	
			301・302 音楽学研究1A・B	2・2	学期	3	
			303・304 音楽学研究2A・B	2・2	学期	3	
	LAGRA	401 卒業論文	6	通年	4		
402 卒論ゼミナール		2	通年	4			
必修科目 合計				35単位			
⑧ 選択必修科目	音 ㉑	LAFIL	101・102 映画史通説P・S	2・2	学期	1	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
		LFAFH	101・102 西洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			103・104 日本・東洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
		LAMED	101・102 メディア・コミュニケーション論序説P・S	2・2	学期	1	
	LATHE	103・104 身体表現論概説P・S	2・2	学期	1		
	音 ㉒	LAMUS	207・208 楽書演習A・B	1・1	学期	3	1科目1単位は必修 2科目めからは選択1
選択必修科目 合計				9単位			
⑨ 選択科目	選択1	音楽学コース関係科目		14～30単位		選択科目30単位に、「選択2」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「⑦明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。	
		映像芸術学コース関係科目					
		美術史学コース関係科目					
		芸術メディア論コース関係科目					
		演劇身体表現コース関係科目					
		総合芸術学コース関係科目					
	選択2	文学部共通科目		16単位まで			
文学部他学科の学科科目							
選択科目2 小計							
選択科目 合計				30単位			
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計				74単位			
⑦ 明治学院共通科目および学科科目				24単位			

《映像芸術学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング	科目名	単位	開講	年次	備考	
⑧ 必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論P・S	2・2	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	映像芸術学コース	LAFIL	101・102	映画史通説P・S	2・2	学期	1	
			103・104	映像基礎研究P・S	2・2	学期	1	
			301	映像理論演習	4	通年	3	
			302・303	映像学文献講読A・B	1・1	学期	3	
	LAGRA	401	卒業論文	6	通年	4		
		402	卒論ゼミナール	2	通年	4		
必修科目 合計				26単位				
⑧ 選択必修科目	映 ㉑	LAMUS	101・102	西洋音楽通史P・S	2・2	学期	1	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
		LAFAH	101・102	西洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			103・104	日本・東洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
		LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説P・S	2・2	学期	1	
	LATHE	103・104	身体表現論概説P・S	2・2	学期	1		
	映 ㉒	LAFIL	201	映像芸術学演習1	2	通年	2	2科目4単位は必修 3科目めからは選択1
			202	映像芸術学演習2	2	通年	2	
			203	映像芸術学演習3	2	通年	2	
	映 ㉓	LAFIL	304	映画史演習	4	通年	3	1科目4単位は必修 2科目めからは選択1
			305	映像文化研究	4	通年	3	
	映 ㉔	LAFIL	306・307	映画史特講1A・B	2・2	学期	3	2科目4単位は必修 3科目めからは選択1
			308・309	映画史特講2A・B	2・2	学期	3	
	選択必修科目 合計				20単位			
⑨ 選択科目	選択1	音楽学コース関係科目		12～28単位			選択科目28単位に、「選択2」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「⑦明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。	
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
	選択2	文学部共通科目		16単位まで				
文学部他学科の学科科目								
選択科目2小計								
選択科目 合計				28単位				
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計				74単位				
⑦ 明治学院共通科目および学科科目				24単位				

《美術史学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング	科目名	単位	開講	年次	備考	
⑧ 必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論P・S	2・2	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	美術史学コース	LAFAH	101・102	西洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			103・104	日本・東洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			201・202	西洋美術史資料講読A・B	1・1	学期	2	
			203・204	日本・東洋美術史資料講読A・B	1・1	学期	2	
	LAGRA	401	卒業論文	6	通年	4		
		402	卒論ゼミナール	2	通年	4		
必修科目 合計				24単位				
⑧ 選択必修科目	美 ㉠	LAMUS	101・102	西洋音楽通史P・S	2・2	学期	1	2科目4単位は必修 3科目めからは選択1
		LAFIL	101・102	映画史通説P・S	2・2	学期	1	
		LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説P・S	2・2	学期	1	
		LATHE	103・104	身体表現論概説P・S	2・2	学期	1	
	美 ㉡	LAFAH	301・302	西洋美術史研究A・B	2・2	学期	3	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
			205・206	美術史の理論と方法A・B	2・2	学期	3	
			303・304	西洋美術史特講1A・B	2・2	学期	3	
			305・306	西洋美術史特講2A・B	2・2	学期	3	
	美 ㉢	LAFAH	307・308	日本・東洋美術史研究A・B	2・2	学期	3	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
			309・310	日本美術史特講1A・B	2・2	学期	3	
			311・312	日本美術史特講2A・B	2・2	学期	3	
			207・208	日本近代美術史A・B	2・2	学期	3	
	美 ㉣	LAFAH	313	西洋美術史演習	2	通年	3	1科目2単位は必修 2科目めからは選択1
			314	日本・東洋美術史演習	2	通年	3	
選択必修科目 合計				22単位				
⑨ 選択科目	選択1	音楽学コース関係科目		12～28単位			選択科目28単位に、「選択2」分野の単位を16単位まで含めることができる。規定単位以上修得した場合は、「⑦明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。	
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
	選択2	文学部共通科目		16単位まで				
		文学部他学科の学科科目						
選択科目2 小計								
選択科目 合計				28単位				
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計				74単位				
⑦ 明治学院共通科目および学科科目				24単位				

《芸術メディア論コース 学科科目》

	種別	ナンバリング	科目名	単位	開講	年次	備考	
⑧ 必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論P・S	2・2	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	芸術メディア論コース	LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説P・S	2・2	学期	1	
			103・104	メディア文化社会論序説P・S	2・2	学期	1	
			201・202	芸術メディア論2年次演習1A・B	1・1	学期	2	
			203・204	芸術メディア論2年次演習2A・B	1・1	学期	2	
	LAGRA	401	卒業論文	6	通年	4		
		402	卒論ゼミナール	2	通年	4		
必修科目 合計				24単位				
⑧ 選択必修科目	× ㉒	LAMUS	101・102	西洋音楽通史P・S	2・2	学期	1	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
		LAFIL	101・102	映画史通説P・S	2・2	学期	1	
		LAFAH	101・102	西洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			103・104	日本・東洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
		LATHE	103・104	身体表現論概説P・S	2・2	学期	1	
	× ㉓	LAMED	301	芸術メディア論3年次演習1	2	通年	3	1科目2単位は必修 2科目以上の履修は不可
			302	芸術メディア論3年次演習2	2	通年	3	
	× ㉔	LAMED	303・304	芸術メディア論文献講読1A・B	1・1	学期	3	2科目2単位は必修 3科目めからは選択1
			305・306	芸術メディア論文献講読2A・B	1・1	学期	3	
	× ㉕	LAMED	307・308	デジタルアート論A・B	2・2	学期	3	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
			309・310	メディア実践論A・B	2・2	学期	3	
			311・312	ポピュラーカルチャー論A・B	2・2	学期	3	
			313・314	建築・都市空間論A・B	2・2	学期	3	
			315・316	デザイン論A・B	2・2	学期	3	
			317・318	メディア産業論A・B	2・2	学期	3	
	選択必修科目 合計				20単位			
	⑨ 選択科目	選択1	音楽学コース関係科目		14～30単位	選択科目30単位に、「選択2」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「㉖明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。		
映像芸術学コース関係科目								
美術史学コース関係科目								
芸術メディア論コース関係科目								
演劇身体表現コース関係科目								
総合芸術学コース関係科目								
選択科目1 小計								
選択2		文学部共通科目		16単位まで				
	文学部他学科の学科科目							
選択科目2 小計		16単位まで						
選択科目 合計				30単位				
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計				74単位				
㉖ 明治学院共通科目および学科科目				24単位				

## 《演劇身体表現コース 学科科目》

	種別	ナンバリング	科目名	単位	開講	年次	備考	
⑧ 必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論P・S	2・2	学期	1	卒業論文と卒論ゼミナールは一度履修すると、単位を修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
	演劇身体表現コース	LATHE	101・102	演劇概論P・S	2・2	学期	1	
			103・104	身体表現論概説P・S	2・2	学期	1	
			201	演劇身体表現論2年次演習1	2	通年	2	
			202	演劇身体表現論2年次演習2	2	通年	2	
	LAGRA	401	卒業論文	6	通年	4		
		402	卒論ゼミナール	2	通年	4		
必修科目 合計				24単位				
⑧ 選択必修科目	演 ④	LAMUS	101・102	西洋音楽通史P・S	2・2	学期	1	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
		LAFIL	101・102	映画史通説P・S	2・2	学期	1	
		LAFAH	101・102	西洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			103・104	日本・東洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
	LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説P・S	2・2	学期	1		
	演 ⑤		301	演劇身体表現論3年次演習1	2	通年	3	1科目2単位は必修 2科目めからは選択1
			302	演劇身体表現論3年次演習2	2	通年	3	
	演 ⑥	LATHE	303・304	演劇身体表現文献講読1 A・B	1・1	学期	3	2科目2単位は必修 3科目めからは選択1
			305・306	演劇身体表現文献講読2 A・B	1・1	学期	3	
	演 ⑦		307・308	西洋演劇研究A・B	2・2	学期	3	4科目8単位は必修 5科目めからは選択1
			309・310	日本演劇研究A・B	2・2	学期	3	
			311・312	演劇学A・B	2・2	学期	3	
			313・314	バレエ研究A・B	2・2	学期	3	
	選択必修科目 合計				20単位			
⑨ 選択科目	選択1	音楽学コース関係科目		14～30単位			選択科目30単位に、 「選択2」分野の単位を16単位まで含めることができる。 規定単位以上修得した場合は、「⑦明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。	
		映像芸術学コース関係科目						
		美術史学コース関係科目						
		芸術メディア論コース関係科目						
		演劇身体表現コース関係科目						
		総合芸術学コース関係科目						
	選択2	文学部共通科目		16単位まで				
文学部他学科の学科科目								
選択科目2 小計								
選択科目 合計				30単位				
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕総計				74単位				
⑦ 明治学院共通科目および学科科目				24単位				

《総合芸術学コース 学科科目》

	種別	ナンバリング	科目名	単位	開講	年次	備考	
⑧ 必修科目	コース共通	LAART	101・102	芸術学概論P・S	2・2	学期	1	
	総合芸術学コース	LACOM	301・302	キリスト教芸術P・S	2・2	学期	3	
	必修科目 合計				8単位			
⑧ 選択必修科目	総 ㉔	LAMUS	101・102	西洋音楽通史P・S	2・2	学期	1	6科目12単位は必修 7科目めからは選択1
		LAFIL	101・102	映画史通説P・S	2・2	学期	1	
		LAFAH	101・102	西洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
			103・104	日本・東洋美術通史P・S	2・2	学期	1	
		LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説P・S	2・2	学期	1	
		LATHE	103・104	身体表現論概説P・S	2・2	学期	1	
	総 ㉕	LACOM	303・304	思想と芸術A・B	2・2	学期	3	6科目12単位は必修 7科目めからは選択1
			305・306	現代社会と芸術1A・B	2・2	学期	3	
			307・308	現代社会と芸術2A・B	2・2	学期	3	
			309・310	現代社会と芸術3A・B	2・2	学期	3	
			311	芸術表現論	2	学期	3	
			312	アートマネジメント論	2	学期	3	
選択必修科目 合計				24単位				
⑨ 選択科目	選択1	音楽学コース関係科目※		26～42単位	選択科目42単位に、「選択2」分野の単位を16単位まで含めることができる。規定単位以上修得した場合は、「⑦明治学院共通科目および学科科目」の単位として扱われる。※卒業論文と卒論ゼミナールを除く。			
		映像芸術学コース関係科目※						
		美術史学コース関係科目※						
		芸術メディア論コース関係科目※						
		演劇身体表現コース関係科目※						
		総合芸術学コース関連科目						
		選択科目1 小計						
	選択2	文学部共通科目		16単位まで				
文学部他学科の学科科目								
選択科目2 小計								
選択科目 合計				42単位				
学科科目〔必修科目・選択必修科目・選択科目〕 総計				74単位				

⑦ 明治学院共通科目および学科科目	24単位	
-------------------	------	--

## 〔2〕年間履修上限単位数等について

1年間に履修できる単位数は下表のとおりである。

年次	単位	備考
第1年次	48単位	学芸員課程関係科目中必修科目11科目を含まない。
第2年次	48単位	
第3年次	48単位	
第4年次以上	48単位	

- ・1年間に履修できる単位数の上限は、48単位とする。ただし、夏季第1期・夏季第2期・春季講座に開講される授業および「TESOL Seminar（短期留学）」の単位は、この中に含めない。
- ・編入生および転学科生の履修方法は個々の事情によって異なるので、年度始めに教務課の指導を受けること。特に、転学科生の場合、新学科では転学科をしたことによる履修における特別な処置を約束するものではないことを承知しておくこと。従って、場合によっては、4年間では卒業できないこと、白金校舎と横浜校舎両方の科目の履修の必要から自分の希望するような履修ができないこと、などが起こり得る。

## 〔3〕複数回履修の制限について

原則、同一授業科目を複数回履修することはできない。

※学科で指定された科目は複数回履修できる。指定科目については「年次別科目一覧」の注を確認すること。

※他学科の科目の複数回履修については、各学科のページを確認すること。

## 〔4〕履修中止除外科目について

本履修要項中の学修の手引き「履修」の『7. 履修中止制度』において、履修中止ができない科目のうち、「必修のうちの芸術学科必修科目」と「各学科において定めている履修中止の申請ができない科目」は以下のとおりである。これらの科目は所属するコースに関係なく中止できない。

各コース 共通科目	LAART	101・102	芸術学概論P・S			
音楽学 コース 関係科目	LAMUS	101・102	西洋音楽通史P・S	LAMUS	103	音楽概論
	LAMUS	104・105	音楽理論演習1A・B	LAMUS	201	音楽学基礎演習
	LAMUS	202	音楽学資料講読	LAMUS	203	音楽理論演習2
	LAMUS	301・302	音楽学研究1A・B	LAMUS	303・304	音楽学研究2A・B
	LAMUS	305	音楽分析演習	LAGRA	401	卒業論文
	LAGRA	402	卒論ゼミナール			
映像芸術学 コース 関係科目	LAFIL	101・102	映画史通説P・S	LAFIL	103・104	映像基礎研究P・S
	LAFIL	301	映像理論演習	LAFIL	302・303	映像学文献講読A・B
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
美術史学 コース 関係科目	LFAFH	101・102	西洋美術通史P・S	LFAFH	103・104	日本・東洋美術通史P・S
	LFAFH	201・202	西洋美術史資料講読A・B	LFAFH	203・204	日本・東洋美術史資料講読A・B
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
芸術 メディア論 コース 関係科目	LAMED	101・102	メディア・コミュニケーション論序説P・S	LAMED	103・104	メディア文化社会論序説P・S
	LAMED	201・202	芸術メディア論2年次演習1A・B	LAMED	203・204	芸術メディア論2年次演習2A・B
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール

演劇 身体表現 コース 関係科目	LATHE	101・102	演劇概論P・S	LATHE	103・104	身体表現論概説P・S
	LATHE	201	演劇身体表現論2年次演習1	LATHE	202	演劇身体表現論2年次演習2
	LAGRA	401	卒業論文	LAGRA	402	卒論ゼミナール
総合芸術学 コース 関係科目	LACOM	301・302	キリスト教芸術P・S			
学芸員課程 関係科目	LACUR	401	博物館実習			

## 〔5〕再試験

卒業年次生のうち、卒業に必要な単位数を学科科目1科目（卒業論文は除く）の範囲内で満たすことができなかった学生につき、当該年度のD評価の科目を対象として再試験の機会を設ける場合がある。該当者の発表は3月の卒業生発表と同時に、試験は3月に実施する。ただし、9月卒業申請者に対する再試験は実施しない。

## 〔6〕明治学院共通科目

『明治学院共通科目』を参照のこと。

## 〔7〕学科科目

- ・卒業論文、卒論ゼミナール、演習（音楽理論演習1A・B、音楽理論演習2、音響表現論演習A・B、楽書演習A・B、芸術メディア論2年次演習1A・B、芸術メディア論2年次演習2A・Bを除く）、および音楽学資料講読、映像文化研究は通年科目、それ以外はセメスター科目である。
- ・※を付した科目は必修科目、音①～③、映①～④、美①～④、メ①～④、演①～④、総①～③類は選択必修科目である。
- ・P、Sを付した科目は、基幹となる通史または概説科目であり、両科目必修に指定されているコースを選択する場合はもちろん、そうでない場合も、PとS両方を修得することが強く望まれる。
- ・A、Bを付した科目は、コースまたは課程によって両科目必修に指定されていない限り、片方のみの修得が可能である。しかし、A・Bを続けて修得することが教育効果上特に望ましい場合があるので、担当教員の指導に注意すること。
- ・⑧（必修科目（選択必修科目を含む）部門）を音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コースは44単位、映像芸術学コース・美術史学コースは46単位、総合芸術学コースは32単位、⑨（選択科目部門）を音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コースは30単位、映像芸術学コース・美術史学コースは28単位、総合芸術学コースは42単位修得すること。選択科目を、音楽学コース・芸術メディア論コース・演劇身体表現コースは31単位以上、映像芸術学コース・美術史学コースは29単位以上、総合芸術学コースは43単位以上修得した場合は、⑦（明治学院共通科目および学科科目部門）の単位として扱われる。

## 芸術学科 年次別科目一覧

1年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
各コース共通科目				
LAART	101	※ 芸術学概論P	2	学期
	102	※ 芸術学概論S	2	学期
音楽学コース関係科目				
LAMUS	101	※ 西洋音楽通史P	2	学期
	102	※ 西洋音楽通史S	2	学期
	103	※ 音楽概論	2	学期
	104	※ 音楽理論演習1A	1	学期
	105	※ 音楽理論演習1B	1	学期
映像芸術学コース関係科目				
LAFIL	101	※ 映画史通説P	2	学期
	102	※ 映画史通説S	2	学期
	103	※ 映像基礎研究P	2	学期
	104	※ 映像基礎研究S	2	学期
	105	映像芸術学序説P	2	学期
	106	映像芸術学序説S	2	学期
美術史学コース関係科目				
LAFAH	101	※ 西洋美術通史P	2	学期
	102	※ 西洋美術通史S	2	学期
	103	※ 日本・東洋美術通史P	2	学期
	104	※ 日本・東洋美術通史S	2	学期
芸術メディア論コース関係科目				
LAMED	101	※ メディア・コミュニケーション論序説P	2	学期
	102	※ メディア・コミュニケーション論序説S	2	学期
	103	※ メディア文化社会論序説P	2	学期
	104	※ メディア文化社会論序説S	2	学期
演劇身体表現コース関係科目				
LATHE	101	※ 演劇概論P	2	学期
	102	※ 演劇概論S	2	学期
	103	※ 身体表現論概説P	2	学期
	104	※ 身体表現論概説S	2	学期

2年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
音楽学コース関係科目				
LAMUS	201	※ 音楽学基礎演習	2	通年
	202	※ 音楽学資料講読	2	通年
	203	※ 音楽理論演習2	1	学期
	205	音響表現論演習A (注1)	1	学期
	206	音響表現論演習B (注1)	1	学期
映像芸術学コース関係科目				
LAFIL	201	映⑩ 映像芸術学演習1	2	通年
	202	映⑩ 映像芸術学演習2	2	通年

2年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LAFIL	203	映⑩ 映像芸術学演習3	2	通年
美術史学コース関係科目				
LFAFH	201	※ 西洋美術史資料講読A	1	学期
	202	※ 西洋美術史資料講読B	1	学期
	203	※ 日本・東洋美術史資料講読A	1	学期
	204	※ 日本・東洋美術史資料講読B	1	学期
	105	デッサンA	1	学期
	106	デッサンB	1	学期
芸術メディア論コース関係科目				
LAMED	201	※ 芸術メディア論2年次演習1A	1	学期
	202	※ 芸術メディア論2年次演習1B	1	学期
	203	※ 芸術メディア論2年次演習2A	1	学期
	204	※ 芸術メディア論2年次演習2B	1	学期
演劇身体表現コース関係科目				
LATHE	201	※ 演劇身体表現論2年次演習1	2	通年
	202	※ 演劇身体表現論2年次演習2	2	通年
文学部共通科目				
LECRS	201	異文化理解1	2	学期
	202	異文化理解2	2	学期

(注1) 音響表現論演習Bの履修は、音響表現論演習Aを履修していることが前提である。従って、「B」の履修は前年度までに「A」の単位を修得しているか、同じ年度に「A・B」の両方を履修する場合にのみ可能である。

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
音楽学コース関係科目				
LAMUS	301	※ 音楽学研究1A	2	学期
	302	※ 音楽学研究1B	2	学期
	303	※ 音楽学研究2A	2	学期
	304	※ 音楽学研究2B	2	学期
	305	※ 音楽分析演習	2	通年
	207	音⑩ 楽書演習A	1	学期
	208	音⑩ 楽書演習B	1	学期
	306	音楽学特講1A	2	学期
	307	音楽学特講1B	2	学期
	308	音楽学特講2A	2	学期
	309	音楽学特講2B	2	学期
	310	音楽学特講3A	2	学期
	311	音楽学特講3B	2	学期
	312	音楽学特講4	2	学期
	313	音楽学特講5	2	学期
	314	音楽学特講6	2	学期
	315	音楽学特講7	2	学期
映像芸術学コース関係科目				
LAFIL	301	※ 映像理論演習	4	通年

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LAFIL	302	※ 映像学文献講読A	1	学期
	303	※ 映像学文献講読B	1	学期
	304	映C 映画史演習	4	通年
	305	映C 映像文化研究	4	通年
	306	映D 映画史特講1A	2	学期
	307	映D 映画史特講1B	2	学期
	308	映D 映画史特講2A	2	学期
	309	映D 映画史特講2B	2	学期
	310	映像芸術学特講1A	2	学期
	311	映像芸術学特講1B	2	学期
	312	映像芸術学特講2A	2	学期
	313	映像芸術学特講2B	2	学期
	314	映像芸術学特講3A	2	学期
	315	映像芸術学特講3B	2	学期
美術史学コース関係科目				
LAFAH	301	美B 西洋美術史研究A (注2)	2	学期
	302	美B 西洋美術史研究B (注2)	2	学期
	205	美B 美術史の理論と方法A	2	学期
	206	美B 美術史の理論と方法B	2	学期
	303	美B 西洋美術史特講1A	2	学期
	304	美B 西洋美術史特講1B	2	学期
	305	美B 西洋美術史特講2A	2	学期
	306	美B 西洋美術史特講2B	2	学期
	307	美C 日本・東洋美術史研究A (注2)	2	学期
	308	美C 日本・東洋美術史研究B (注2)	2	学期
	309	美C 日本美術史特講1A	2	学期
	310	美C 日本美術史特講1B	2	学期
	311	美C 日本美術史特講2A	2	学期
	312	美C 日本美術史特講2B	2	学期
	207	美C 日本近代美術史A	2	学期
	208	美C 日本近代美術史B	2	学期
	313	美D 西洋美術史演習 (注2)	2	通年
	314	美D 日本・東洋美術史演習 (注2)	2	通年
	209	現代美術論A	2	学期
	210	現代美術論B	2	学期
芸術メディア論コース関係科目				
LAMED	301	メB 芸術メディア論3年次演習1 (注3)	2	通年
	302	メB 芸術メディア論3年次演習2 (注3)	2	通年
	303	メC 芸術メディア論文献講読1A	1	学期
	304	メC 芸術メディア論文献講読1B	1	学期
	305	メC 芸術メディア論文献講読2A	1	学期
	306	メC 芸術メディア論文献講読2B	1	学期
	307	メD デジタルアート論A	2	学期
	308	メD デジタルアート論B	2	学期

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LAMED	309	メ⑩ メディア実践論A	2	学期
	310	メ⑩ メディア実践論B	2	学期
	311	メ⑩ ポピュラーカルチャー論A	2	学期
	312	メ⑩ ポピュラーカルチャー論B	2	学期
	313	メ⑩ 建築・都市空間論A	2	学期
	314	メ⑩ 建築・都市空間論B	2	学期
	315	メ⑩ デザイン論A	2	学期
	316	メ⑩ デザイン論B	2	学期
	317	メ⑩ メディア産業論A	2	学期
	318	メ⑩ メディア産業論B	2	学期
	319	芸術メディア論特講1A	2	学期
	320	芸術メディア論特講1B	2	学期
	321	芸術メディア論特講2A	2	学期
	322	芸術メディア論特講2B	2	学期
<b>演劇身体表現コース関係科目2</b>				
LATHE	301	演⑧ 演劇身体表現論3年次演習1	2	通年
	302	演⑧ 演劇身体表現論3年次演習2	2	通年
	303	演⑨ 演劇身体表現文献講読1A	1	学期
	304	演⑨ 演劇身体表現文献講読1B	1	学期
	305	演⑨ 演劇身体表現文献講読2A	1	学期
	306	演⑨ 演劇身体表現文献講読2B	1	学期
	307	演⑩ 西洋演劇研究A	2	学期
	308	演⑩ 西洋演劇研究B	2	学期
	309	演⑩ 日本演劇研究A	2	学期
	310	演⑩ 日本演劇研究B	2	学期
	311	演⑩ 演劇学A	2	学期
	312	演⑩ 演劇学B	2	学期
	313	演⑩ バレエ研究A	2	学期
	314	演⑩ バレエ研究B	2	学期
	315	コンテンポラリーダンス論A	2	学期
	316	コンテンポラリーダンス論B	2	学期
	317	パフォーマンス理論A	2	学期
	318	パフォーマンス理論B	2	学期
	319	ミュージカル研究A	2	学期
	320	ミュージカル研究B	2	学期
	321	舞台芸術論A	2	学期
	322	舞台芸術論B	2	学期
<b>総合芸術学コース関係科目</b>				
LACOM	301	※ キリスト教芸術P	2	学期
	302	※ キリスト教芸術S	2	学期
	303	総⑧ 思想と芸術A	2	学期
	304	総⑧ 思想と芸術B	2	学期
	305	総⑧ 現代社会と芸術1A	2	学期
	306	総⑧ 現代社会と芸術1B	2	学期

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LACOM	307	総⑩ 現代社会と芸術2A	2	学期
	308	総⑩ 現代社会と芸術2B	2	学期
	309	総⑩ 現代社会と芸術3A	2	学期
	310	総⑩ 現代社会と芸術3B	2	学期
	311	総⑩ 芸術表現論	2	学期
	312	総⑩ アートマネジメント論	2	学期
学芸員課程関係科目 (注4)				
LACUR	301	生涯学習概論	2	学期
	302	博物館概論	2	学期
	303	博物館学各論A	2	学期
	304	博物館学各論B	2	学期
	305	博物館資料保存論	2	学期
	306	博物館展示論	2	学期
	307	博物館教育論A	2	学期
	308	博物館教育論B	2	学期
	309	視聴覚教育メディア論A	2	学期
	310	視聴覚教育メディア論B	2	学期
文学部共通科目				
LFLTJ	301	日本文学(専)A	2	学期
	302	日本文学(専)B	2	学期
LAGEN	101	中国文学A	2	学期
	102	中国文学B	2	学期
	103	ドイツ文学A	2	学期
	104	ドイツ文学B	2	学期
LFLTE	301	西洋文学A	2	学期
	302	西洋文学B	2	学期
LFCIN	301	異文化理解3	2	学期
	302	異文化理解4	2	学期
LXCRS	301	哲学(専)1(注5)	2	学期
	302	哲学(専)2(注5)	2	学期
LECRS	313	言語学A	2	学期
	314	言語学B	2	学期
LFLAT	301	ラテン語1A(注6)	2	学期
	302	ラテン語1B(注6)	2	学期
	303	ラテン語2A	2	学期
	304	ラテン語2B	2	学期
LECRS	315	小説技法A	2	学期
	316	小説技法B	2	学期
	317	翻訳論A	2	学期
	318	翻訳論B	2	学期
	319	Practical Career English A	2	学期
	320	Practical Career English B	2	学期
LAGEN	105	文化史A	2	学期
	106	文化史B	2	学期

3年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
LAGEN	107	民俗学A	2	学期
	108	民俗学B	2	学期
LFIIA	301	AI問題入門	2	学期

(注2) 卒業論文で西洋美術史を専攻する予定の学生は西洋美術史演習と西洋美術史研究A・Bを、日本・東洋美術史を専攻する予定の学生は、日本・東洋美術史演習と日本・東洋美術史研究A・Bを3年次で履修することが望ましい。

(注3) メ⑩を付した芸術メディア論3年次演習1、芸術メディア論3年次演習2は、2科目中1科目修得すること。2科目以上の履修は不可とする。

(注4) 生涯学習概論、博物館概論、博物館学各論A・B、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論A・B、視聴覚教育メディア論A・B、博物館実習は単位を修得しても卒業要件単位とならない。詳細は学芸員の項を参照のこと。

(注5) 哲学(専)1・2を履修するためには、明治学院共通科目「MGPHI」(哲学)、「MGETH」(倫理学)、「MGLOG」(倫理学)の中から、ナンバリングのアルファベットが同一の2科目(計4単位)を修得済みでなければならない。

(注6) 明治学院共通科目の「ラテン語研究A・B」を修得したものは、「ラテン語1A・B」を履修できない。

4年次				
ナンバリング		科目名	単位数	開講
<b>音楽学コース関係科目</b>				
LAGRA	401	※卒業論文(注7・8)	6	通年
	402	※卒論ゼミナール(注7)	2	通年
<b>映像芸術学コース関係科目</b>				
LAGRA	401	※卒業論文(注7・8)	6	通年
	402	※卒論ゼミナール(注7)	2	通年
<b>美術史学コース関係科目</b>				
LAGRA	401	※卒業論文(注7・8)	6	通年
	402	※卒論ゼミナール(注7)	2	通年
<b>芸術メディア論コース関係科目</b>				
LAGRA	401	※卒業論文(注7・8)	6	通年
	402	※卒論ゼミナール(注7)	2	通年
<b>演劇身体表現コース関係科目</b>				
LAGRA	401	※卒業論文(注7・8)	6	通年
	402	※卒論ゼミナール(注7)	2	通年
<b>学芸員課程関係科目(注4)</b>				
LACUR	401	博物館実習(注9)	3	学期

(注7) 芸術学科卒業論文、卒業ゼミナールについて

- ① 両科目の履修の可否は所定の審査により決定される。審査の結果、履修が認められない場合は、総合芸術学コース所属となる。
- ② 履修した場合、この2科目両方を修得しなければ、卒業が認められない。また、単位が修得できなかった場合、次年度以降も継続履修となる。
- ③ ①で示した審査は、履修前年度の秋学期に予定している。同時期に留学などで審査を受けることが難しい者は、所属コースの教員に指示を仰ぐこと。
- ④ 総合芸術学コース所属者は両科目を履修できない。

(注8) 芸術学科卒業論文について

- ① 卒業論文は、芸術の諸分野に関するテーマで、「卒論ゼミナール」担当の教員の指導のもとに書く。芸術学科共同研究室が配布する「卒業論文要項」を参照の上、作成すること。
- ② 卒業論文は、指定の日時に教務課に提出する。
- ③ 提出された論文の審査は、主査と副査の2名が行なう。審査の後、口頭試問を行なう。
- ④ 論文は以下の項目を評価基準として、総合的に判断される。
  1. 論文としての構成・体裁が整っているか。
  2. 研究の焦点が明確で、研究内容が具体的で説得力を持っているか。
  3. 資料を適切に用い、引用を適切に行っているか。
  4. 用語や文章は的確で表現力が優れているか。
  5. 論文としての独創性が認められるか。

(注9) 履修条件については、学芸員の項 (P.153) を参照のこと。

### 卒業論文未提出者・不合格者の9月卒業について

\* 在学5年目以上の学生が、下記条件を満たしている場合、9月卒業の申請科目に「卒業論文」を含めることができる。

- ① 前年度までに「卒論ゼミナール」の単位を修得済であること。
- ② 前年度までに得た「卒業論文」の評価が「D」(提出したが不合格) または「N」(未提出) であること。
- ③ 卒業希望年度に「卒業論文」と春学期科目の履修で卒業見込みが立つこと。
- ④ 卒論指導担当者(それが不可能の場合は学科主任) に9月卒業を前提とした卒業論文履修者として、履修の許可を得ていること。

\* 申請者は、卒業論文を7月第一火または水曜日に教務課へ提出し、審査のうえ合格した場合、春学期末に単位を修得できる。

\* 上記期日に未提出または審査結果が不合格の場合、一般の学生と同じ1月の期日に改めて提出することで、3月卒業の可能性はある。

\* 卒業論文を上記期日に提出し審査に合格した場合でも、他の卒業要件単位が春学期末に未修得ならば、卒業論文は年度末に単位を修得することになる。

\* 希望者は、教務課指定の履修許可書に卒論指導担当者の署名と捺印を受け、他の申請書類とあわせて白金校舎の教務課に提出すること。

## 【8】大学独自の認証資格について

### 内なる国際化プロジェクト

文化、宗教、民族性など、多様な価値観を理解する学生をはぐくむこと、そして外国につながる人々を包摂した共生社会の担い手として、人権問題などに対して鋭い洞察力を持った学生をはぐくむことを目的としています。(『内なる国際化プロジェクト』冊子より)

- ・このプロジェクトを通じ、所定の教室での学びを修めた学生は「多文化共生サポーター」として認証される。その上でさらに、支援実践参加の学びを修めた学生は「多文化共生ファシリテーター」として認証される。
- ・【教室での学び】 明治学院共通科目と文学部が開講する科目のうち、指定された科目を12単位以上修得した者が申請を行った場合に「多文化共生サポーター」として認証される。開講科目はプロジェクト公式WEBサイト (<https://internal-i18n-meijigakuin.org/>) で確認すること。
- ・【支援実践参加の学び】 「多文化共生ファシリテーター」の認証に必要な支援実践の場への参加を希望する者は、3)・4) 「多文化共生各論1・2」を必ず履修すること。

## 【9】文学部他学科の学科科目

下記の科目を除き、文学部他学科の学科科目を⑦（明治学院共通科目および学科科目）の単位として24単位まで、また⑨（学科科目・選択科目）の単位として16単位まで、卒業要件単位に含めることができる。履修条件が付されている場合があるので、履修の際は各学科の項を参照すること。

### 【履修できない文学部他学科の学科科目】

#### 〔英文学科〕

基礎演習1・2	Listening and Pronunciation A・B	Reading A・B
Topics in American Culture A・B	Topics in British Culture A・B	Topics in Linguistics A・B
Academic Writing A・B	Academic Reading A・B	Listening and Speaking A・B
英語教育基礎論A・B	英語教育方法論A・B	英語教育実践論A・B
英語教育評価論A・B	Current Topics in ELT A・B	Academic English Skills A・B
Advanced Academic Writing	イギリス文学3年次演習	アメリカ文学3年次演習
英語学3年次演習	英語教育3年次演習	イギリス文学4年次演習
アメリカ文学4年次演習	英語学4年次演習	英語教育4年次演習
卒業論文		

#### 〔フランス文学科〕

実践フランス語A・B	基礎研究A・B	フランス語表現法1A・B
3年次演習	4年次演習	卒業論文

# 学 芸 員

本学文学部芸術学科は、学科設立の趣旨にもとづき、学芸員課程を併設する。

## 学芸員の職務

学芸員とは博物館におかれる専門的職員である。博物館とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して、教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（公民館、図書館を除く）をいう。

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業について専門的事項をつかさどる。

## 学芸員の資格を得るには

博物館法に基づく学芸員の資格は、以下の3項に挙げる条件のうち、いずれかを満たす者に与えられる。

- (1) 学士の学位を有する者で大学において文部科学省令に定める博物館に関する科目及び単位を修得した者
- (2) 大学に2年以上在学し、(1)の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補（これに相当する職等を含む）の職にあった者
- (3) 文部科学大臣が文部科学省令で定めるところにより(1)(2)に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められた者

上記の条件(1)を満たす学芸員の資格を付与するため、文学部芸術学科に、つぎの専門教育科目をおく。

博物館法に定める科目名		配当年次	開講	本学で開講している科目名（単位）			本学に必要な 修得単位数
文部科学省令 に定められた 必修科目	生涯学習概論	3年次	学期	LACUR	301	生涯学習概論(2単位)	2単位
	博物館概論	3年次	学期	LACUR	302	博物館概論(2単位)	2単位
	博物館経営論	3年次	学期	LACUR	303	博物館学各論A(2単位)	2単位
	博物館資料論	3年次	学期	LACUR	304	博物館学各論B(2単位)	2単位
	博物館資料保存論	3年次	学期	LACUR	305	博物館資料保存論(2単位)	2単位
	博物館展示論	3年次	学期	LACUR	306	博物館展示論(2単位)	2単位
	博物館教育論	3年次	学期	LACUR	307・308	博物館教育論A・B(2単位)	2科目4単位
	博物館情報・メディア論	3年次	学期	LACUR	309・310	視聴覚教育メディア論A・B(2単位)	2科目4単位
本学が定める 選択必修 科目	美術史	1年次	学期	LFAH	101・102	西洋美術通史P・S(各2単位)	美術史・文化史・民俗学の3区分のうち、2区分以上から8単位以上
		1年次	学期	LFAH	103・104	日本・東洋美術通史P・S(各2単位)	
		3年次	学期	LFAH	301・302	西洋美術史研究A・B(各2単位)	
		3年次	学期	LFAH	307・308	日本・東洋美術史研究A・B(各2単位)	
	文化史	3年次	学期	LAGEN	105・106	文化史A・B(各2単位)	
	民俗学	3年次	学期	LAGEN	107・108	民俗学A・B(各2単位)	

(注) 生涯学習概論、博物館概論、博物館学各論A・B、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論A・B、視聴覚教育メディア論A・B、博物館実習の各科目は卒業単位には含まれない。

### 履修に関する注意

1. 芸術学科以外の学生は本課程を履修できない。
2. 本課程の履修を希望する学生は、2年次の秋学期に行われる説明会に出席しなければならない。事前の申し出なくこれを欠席した場合は、本課程を履修する権利を失う。
3. 実習機関の実習生受け入れ能力は限られているため、課程を履修できる人数を2年次の秋学期に選抜試験等によって制限することがある。
4. 選択必修科目は大学が定める科目区分3区分（美術史、文化史、民俗学）のうち、2区分以上8単位以上を修得すること。  
※博物館法に定める科目区分の科目と、本学で開講している科目名とは異なるので注意すること。
5. 生涯学習概論、博物館概論、博物館学各論A・B、博物館資料保存論、博物館展示論、博物館教育論A・B、視聴覚教育メディア論A・Bは必ず3年次で履修しなければならない。3年次でこの科目の単位を修得していない場合には、4年次に行われる博物館実習を履修する権利を失う。
6. 選択必修科目のうち8単位も、3年次終了までに修得することが望ましい。
7. 必修科目に関しては、学科の年間履修上限単位を越えて履修することができる。
8. 見学や実習にかかる交通費等の諸経費は自己負担となる。

# 諸資格



# 社会福祉主事任用資格

## 社会福祉主事任用資格が取得できる学科

社会福祉主事任用資格は、情報数理学科を除くすべての学科の学生が取得することができます。

## 社会福祉主事の職務

国、地方公共団体、社会福祉法人など社会福祉事業を営む者は、福祉サービスを必要としている人たちが心身ともに健やかに育成され、または社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が与えられ、その年齢、環境、心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供できるようにしなければなりません。このことに基づき、地方公共団体は、福祉に関する事務所を設置しており、ここには社会福祉主事をおくよう社会福祉法において義務づけられています。

社会福祉主事は、その事務所において生活保護法、児童福祉法、母子及び父子並びに寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、及び知的障害者福祉法の定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務としています。

## 社会福祉主事任用資格を得るには

18歳以上の者で、人格高潔で思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ以下のいずれかに該当する者が任用資格を得られます。任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会福祉主事にはなれません。

1. 大学において、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者
2. 都道府県知事の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
3. 社会福祉士
4. 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者
5. 前各号に掲げる者と同等以上の能力を有すると認められる者として厚生労働省令で定めるもの

本学学生は、次ページに挙げる『社会福祉法に定める科目』を3科目以上修得することで、社会福祉主事任用資格を得ることができます。『社会福祉法に定める科目』に対し、『本学で開講している科目』を表記していますので、これらの科目を修得してください。

『本学で開講している科目』について、その科目を履修することができる学科を「○」で示しています。各科目の履修に際しては条件が付される場合もあります。詳しくは所属学部履修要項でご確認ください。なお表では学科名称に略称を用いています。(LE：英文学科、LF：フランス文学科、LA：芸術学科、EE：経済学科、EB：経営学科、EG：国際経営学科、SG：社会学科、SW：社会福祉学科、JU：法律学科、JC：消費情報環境法学科、JP：政治学科、JG：グローバル法学科、KS：国際学科、KC：国際キャリア学科、PS：心理学科、PE：教育発達学科)

本資格の取得要件を満たしている方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

## 社会福祉主事の資格に関する科目（2023年度生以降）

社会福祉法に定める科目名	本学で開講している科目名	履修できる学科																
		LE	LF	LA	EE	EB	EG	SG	SW	JU	JC	JP	JG	KS	KC	PS	PE	
社会福祉概論	SWBAS101 社会福祉学概論A SWBAS102 社会福祉学概論B								○									
	MGSWS101 社会福祉学1 MGSWS102 社会福祉学2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
社会福祉援助技術論	SWSWP201 ソーシャルワーク1A								○									
社会福祉調査論	SWBAS204 社会福祉調査 SWSWP205 社会福祉調査								※4									
	SGRES101 社会調査の基礎							○										
	J-ST200 社会調査論										○							
	KSECO213 社会調査法 KSGEN224 社会調査法													※1				
社会保障論	SWSPA201 社会保障論A SWSPA202 社会保障論B								○									
	公的扶助論	SWSPA305 公的扶助論A							○	○								
児童福祉論	SWAVF203 児童福祉論A SWAVF301 児童福祉論B								○									
	PEDSP304 子ども家庭福祉																○	
家庭福祉論	SWAVF307 家庭福祉論							○	○									
身体障害者福祉論	SWAVF206 身体障害者福祉論							○	○									
知的障害者福祉論	SWAVF207 知的障害者福祉論							○	○									
老人福祉論	SWAVF204 高齢者福祉論A SWAVF303 高齢者福祉論B								○	○								
	地域福祉論	SWAVF309 地域福祉論A							○	○								
法学	MGLAW101 法学(日本国憲法を含む)1 MGLAW102 法学(日本国憲法を含む)2	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○		
	KSPOL209 法学原論													○				
	民法	J-CIL201 民法A J-CIL202 民法B				○	○	○	○	○			○				○	
J-CIL111 民法総則1 J-CIL112 民法総則2										○	○	○	○					
行政法		J-PUL221 行政法A J-PUL222 行政法B				○	○	○	○	○								
		J-PUL221 行政法1-1 J-PUL222 行政法1-2									○	○	○	○				
	J-PUL321 行政法2-1 J-PUL322 行政法2-2									○	○	○	○					
	経済学	EBBUS102 経済学概論1 EBBUS103 経済学概論2						○	○	○	○	○	○	○				
EEPOL301 財政学1 EEPOL302 財政学2					○	○	○			○	○	○						
EEPOL201 ミカ経済政策 EEPOL202 マカ経済政策					○	○	○					○						
KSECO216 ミカ経済学 KSECO217 マカ経済学														○				
社会政策		EEISS301 労働経済学1 EEISS302 労働経済学2				○	○	○										
		SWSPA204 社会政策論A SWSPA205 社会政策論B								○								
	心理学	SWOPN202 心理学概論 SWBAS205 心理学概論								※2								
PEBAP101 心理学総論																	○	
社会学		SGBAS101 社会学概論A SGBAS102 社会学概論B	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	SWOPN101 社会学概論 SWBAS105 社会学概論								※3									
	KSPOL208 社会学原論													○				
	教育学	TCBAS902 教育の思想と歴史 PEBAR102 教育原論	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		○		
医学一般		SWUCL305 医学知識							○								○	
リハビリテーション論	PEDSP305 リハビリテーション論																○	

(注1) 『本学で開講している科目』がない『社会福祉法に定める科目』は上記の表に掲載していません。

(注2) 『本学で開講している科目』において、科目名の後にA・B、1・2が付されている科目は、2科目セットで修得しなければ『社会福祉法に定める科目』1科目と数えることができません。

(注3) 『社会福祉法に定める科目』の同じ区分で、本学で開講している科目を複数科目修得しても、1科目と数えます。(例えば、社会福祉学科生が「社会福祉学概論A・B」と「社会福祉学1・2」の合計4科目を修得した場合は、『社会福祉法に定める科目』の『社会福祉概論』1科目の修得と数えます。)

(注4) 『社会福祉学1・2』および「法学(日本国憲法を含む)1・2」は、明治学院共通科目にある科目を履修してください。

(注5) ※1の科目について、KSECO213 社会調査法は2023年度生までが履修可能で、KSGEN224 社会調査法は2024年度生以降が履修可能です。

(注6) ※2の科目について、SWOPN202 心理学概論は2024年度生までが履修可能で、SWBAS205 心理学概論は2025年度生以降が履修可能です。

(注7) ※3の科目について、SWOPN101 社会学概論は2024年度生までが履修可能で、SWBAS105 社会学概論は2025年度生以降が履修可能です。

(注8) ※4の科目について、SWBAS204 社会福祉調査は2024年度生までが履修可能で、SWSWP205 社会福祉調査は2025年度生以降が履修可能です。

# 学部学科等の 科目群・学問分野コード表

(2026年4月1日時点)



文学部		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
LEBES	英文学科	英語基礎科目
LEAES		英語発展科目（A群・B群）
LEBRL		イギリス文学コース科目
LEAML		アメリカ文学コース科目
LELIN		英語学コース科目
LECRS		関連科目・文学部共通科目
LEETE		英語教育科目
LEGRA		卒業論文
LFEFB	フランス文学科	フランス学基礎科目
LFELF		フランス語科目
LFFAL		フランス学発展科目（ことばと文学）
LFFAP		フランス学発展科目（思想と社会）
LFFAA		フランス学発展科目（芸術と文化）
LFSEM		専門演習
LFMEM		卒業論文
LFLTJ		文学部共通科目（日本文学（専））
LFLTE		文学部共通科目（西洋文学）
LFCIN		文学部共通科目（異文化理解）
LFLAT		文学部共通科目（ラテン語）
LFIIA		文学部共通科目（AI問題入門）
LFPLF		教職に関する科目
LAART		芸術学科
LAMUS	音楽学コース関係科目	
LAFIL	映像芸術学コース関係科目	
LFAFH	美術史学コース関係科目	
LAMED	芸術メディア論コース関係科目	
LATHE	演劇身体表現コース関係科目	
LACOM	総合芸術学コース関係科目	
LAGEN	文学部共通科目	
LACUR	学芸員課程科目	
LXCRS	文学部共通	
TCBAS	教職課程	教育の基礎的理解に関する科目
TCTEA		教科及び教科の指導法に関する科目
TCTHE		道徳、総合的な学習の時間などの指導、生徒指導、教育相談に関する科目
TCPRA		教育実践に関する科目
TCUNI		大学が独自に設定する科目
TCKNO		その他の教職関連科目

経済学部		
科目群 コード	学部・学科等	科目群名称
EEELM	経済学科	入門専門科目
EETHQ		基礎専門科目（経済理論・計量科目群）
EEPOL		基礎専門科目（公共政策科目群）
EEMON		基礎専門科目（金融経済科目群）
EEORG		基礎専門科目（市場・組織・制度の経済分析科目群）
EEISS		基礎専門科目（現代の経済環境科目群）
EEGLO		基礎専門科目（国際経済の理論と実際科目群）
EEHIS		基礎専門科目（経済社会と経済思想の歴史科目群）
EECAS		基礎専門科目（事例研究・フィールド科目群）
EEMST		情報数理・統計科目
EELNG		専門外国語科目
EEPRA		実習科目
EESEM		演習・卒業論文
EBBUS	経営学科	経営学科目群
EBMKT		マーケティング科目群
EBACC		会計学科目群
EBSEM		演習科目群
EGALL	国際経営学科	基礎演習
EGEBC		専門外国語Ⅰ
EGACA		専門外国語Ⅱ
EGPSA		Preparation for Study Abroad
EGSAB		Study Abroad
EGM&S		専門科目Ⅰ（Management & Strategy）・Ⅱ
EGA&F		専門科目Ⅰ（Accounting & Finance）・Ⅱ
EGT&I		専門科目Ⅰ（Trade & Industry）・Ⅱ
EGBCR		BCR（Business Communication & Research）
EGSEM		演習・卒業論文

社会学部		
科目群 コード	学部・学科等	科目群名称
SGSEM	社会学科	社会学科演習科目
SGBAS		社会学科基礎科目
SGRES		社会調査関連科目
SGMDC		表現・実践関連科目
SGLEC		社会学科専門・講義科目
SGINT		内なる国際化関連科目
SGJPN		留学生向け日本語科目
SGGRA		卒業論文
SGQUA		社会教育士・社会教育主事任用資格関連科目
SWBAS		社会福祉学科
SWSPA	第2群（制度・政策）	
SWUCL	第3群（対象者理解）	
SWSWP	第4群（方法・技術）	
SWAVF	第5群（分野）	
WSPL	第6群（特講）	
SWSEP	第7群（実習・演習・卒論）	
SWOPN	第8群（自由科目）	

法学部			
法学部では科目ナンバリング「④連続番号の上1桁目（10の位）」を科目分野の細目分類に割り当てている。科目細目の分類および名称は以下の通り。			
科目群コード	学部・学科等	科目群名称	科目細目
J-LTH	法学部共通	基礎法学	0：入門・総論 1：法哲学・法理学 2：法制史 3：法思想史 4：法社会学 5：比較法 6：英米法 7：大陸法 8：その他外国法 9：その他
J-PUL		公法学	0：入門・総論 1：憲法 2：行政法 3：租税法 4：政策法務 5：比較憲法・EU法 6：公法演習
J-INL		国際法学	0：入門 1：総論 2：国際公法 3：国際私法 4：国際人権・国籍法 5：国際取引法 6：国際経済法 7：国際民事手続法 9：その他
J-SOL		社会法学	0：入門 1：総論 2：労働法 3：社会保障法
J-CRL		刑事法学	0：入門 1：刑法総論 2：刑法各論 3：刑事訴訟法 4：犯罪学 5：刑事政策 6：刑事法演習
J-CIL		民事法学	0：入門 1：民法総則 2：物権法 3：債権法 4：家族法 5：民事訴訟法・手続法 6：民事執行法・紛争処理法制 7：倒産法 8：民事法演習
J-COL		商事法学	0：入門 1：総論 2：商法 3：会社法 4：金融法・証券法・保険法
J-NFL		新領域法学	0：消費者法 1：情報・メディア法 2：環境法 3：競争法・知的財産法 4：成年後見法制 5：信託法 6：不動産法
J-GLS		グローバル法学研究	0：入門・総論 1：海外法学学習 2：Global Legal Studies
J-POL		政治学	0：入門・総論 1：地方自治 2：政治過程論 3：公共政策・行政学 4：政治理論・政治思想史 5：政治史 6：政治文明論・政治社会学 7：現代日本政治 8：比較政治 9：その他
J-INR		国際関係論	0：国際政治学 1：国際政治経済論 2：国際関係史 3：国際組織論 4：国外政治 9：その他
J-ARS		地域研究	0：グローバリゼーション 1：異文化理解
J-HSI		人文社会情報学	0：情報社会学 1：情報メディア 2：マスコミ論 3：広報メディア
J-FLE		外国語教育	0：英語一般 1：法学英語
J-SAS		留学支援	0：受入留学生科目 1：留学準備講座
J-EBA		経済・経営学	0：経済学 1：会計学
J-STS		統計科学	0：社会統計学
J-ICT		情報科学	0：情報処理 1：情報技術と法
J-ENS		環境科学	0：環境科学 1：持続可能な社会
J-SET		演習・卒業論文	0：1・2年次演習 1：専門演習 2：演習 3：卒業論文 4：演習・卒業論文 9：その他
J-REA		文献講読	0：外国語文献講読 1：専門書講読 2：時事英語
J-IFV		インターンシップ・ フィールドワーク・ ボランティア	0：インターンシップ 1：フィールドワーク 2：ボランティア
J-CAS		キャリア支援	0：キャリアデザイン講座 1：キャリア形成
J-SLC		特講・講座	0：法律学特講 1：政治学特講 2：総合講座 3：国連大学講座 4：特殊講義
J-ETC	その他	0：法医学 1：リスク評価管理	

国際学部		
科目群 コード	学部・学科等	科目群名称
KSGEN	国際学科	学科基礎科目、演習・卒業論文・実習
KSEIS		専門外国語
KSCSO		学科講義科目（文化）
KSECO		学科講義科目（経済）
KSPOL		学科講義科目（政治）
KSREG		地域研究系科目
KCAEP		国際キャリア学科
KCGEN	講義科目（学際的科目）	
KCCUL	講義科目（文化）	
KCSOC	講義科目（社会）	
KCECO	講義科目（経済）	
KCPOL	講義科目（政治）	
KCSEM	演習・実習	

心理学部		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
PSCR	心理学科	基礎科目（講義科目）
PSCR		基礎科目（実験・実習科目）
PSCR		基礎科目（演習科目）
PSADL		専門科目（講義科目）
PSADP		専門科目（実験・実習科目）
PSADS		専門科目（演習科目）
PSADT		専門科目（卒業論文）
PEAAR		教育発達学科
PEBAR	基礎科目（全コースで必修）	
PEBAP	基礎科目（全コースで選択必修）	
PECAP	教職基礎科目（全コースで選択必修）	
PEDAO	探究科目（全コースで選択）	
PEDCP	探究科目（児童発達コースは選択必修）	
PEDSP	探究科目（特別支援コースは選択必修）	
PEDTP	探究科目（特別支援コースと児童発達コースは選択必修）	
PEDIP	探究科目（国際教育コースは選択必修）	
PEDJP	探究科目（国際教育コースと児童発達コースは選択必修）	
PEEAO	教職専門科目（全コースで選択）	
PEFAO	応用科目（全コースで選択）	
PEFSP	応用科目（特別支援コースは選択必修）	
PEFIP	応用科目（国際教育コースは選択必修）	
PEGAO	卒業研究（全コースで選択）	

情報数理学部		
<p>情報数理学部では、科目ナンバリング「④連続番号」の上1桁目（10の位）が0のものは必修科目、1のものは卒業要件上注意を要するコース必修または選択必修科目、2のものはその他の選択必修科目、すなわち履修上の優先順位の目安を表している。また、「④連続番号」の上2桁目（1の位）が奇数のものは春学期開講、偶数のものは秋学期開講、0のものは通年あるいは開講時期が不定の科目を表す。</p>		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
MSFCL	情報数理学部	1年次必修（講義）
MSFCE		1年次必修（演習）
MSBAL		基礎科目群A（講義）
MSBAE		基礎科目群A（演習）
MSBBL		基礎科目群B（講義）
MSBBE		基礎科目群B（演習）
MSSIL		社会と情報
MSPBL		PBL
MSGRS		卒業研究
MSMQL		数理・量子情報コース
MSADL		AI・データサイエンスコース
MSSSL		情報システム・セキュリティコース

(参考) 各コードの意味

FCL = Freshers' Compulsory subjects (Lecture)

FCE = Freshers' Compulsory subjects (Exercise)

BAL = Basic subjects A (Lecture)

BAE = Basic subjects A (Exercise)

BBL = Basic subjects B (Lecture)

BBE = Basic subjects B (Exercise)

SIL = Society and Informatics (Lecture)

PBL = Project Based Learning

GRS = Graduation Research (Seminar)

MQL = Mathematical and Quantum informatics course (Lecture)

ADL = AI and Data science course (Lecture)

SSL = information System and Security course (Lecture)

明治学院共通科目		
科目群 コード	学部・学科等	科目群名称
MGCHR	明治学院 共通科目	明治学院・Do for Others教養系科目（キリスト教関連科目）
MGENG		言語系科目群（英語）
MGFRE		言語系科目群（フランス語）
MGCHN		言語系科目群（中国語）
MGGER		言語系科目群（ドイツ語）
MGSPN		言語系科目群（スペイン語）
MGRUS		言語系科目群（ロシア語）
MGKOR		言語系科目群（韓国語）
MGJPN		言語系科目群（日本語）
MGITA		言語系科目群（イタリア語）
MGARB		言語系科目群（アラビア語）
MGTHA		言語系科目群（タイ語）
MGGRE		言語系科目群（ギリシア語）
MGLAT		言語系科目群（ラテン語）
MGCOM		情報科学系科目
MGSIG		言語系科目群（手話）
MGEUC		人文科学系科目（ヨーロッパ）
MGASC		人文科学系科目（アジア）
MGPHI		人文科学系科目（哲学）
MGETH		人文科学系科目（倫理学）
MGLOG		人文科学系科目（論理学）
MGLIN		人文科学系科目（言語科学）
MGPSY		人文科学系科目（心理学）
MGEDU		人文科学系科目（教育学）
MGART		人文科学系科目（芸術学）
MGJPL		人文科学系科目（日本文学）
MGJPS		人文科学系科目（日本文化）
MGLAW		社会科学系科目（法学）
MGPOS		社会科学系科目（政治学）
MGSOC		社会科学系科目（社会学）
MGSWS		社会科学系科目（社会福祉学）
MGECON		社会科学系科目（経済学）
MGSTA		社会科学系科目（統計学）
MGHIS		社会科学系科目（歴史学）
MGGEO		社会科学系科目（人文地理学）
MGANT		社会科学系科目（文化人類学）

科目群 コード	学部・学科等	科目群名称
MGSOS	明治学院 共通科目	社会科学系科目（社会科学）
MGMAT		自然科学系科目（数学）
MGPHY		自然科学系科目（物理学）
MGCHE		自然科学系科目（化学）
MGBIO		自然科学系科目（生物学）
MGLIS		自然科学系科目（生命科学）
MGHSS		健康・スポーツ科学系科目
MGIND		キャリア&グローバル教養系科目（学際的科目） 明治学院・Do for Others教養系科目（学際的科目）
MGMGS		明治学院・Do for Others教養系科目（明治学院研究）
MGENV		キャリア&グローバル教養系科目（環境学）
MGSUS		キャリア&グローバル教養系科目（サステナビリティ学）
MGVOL		キャリア&グローバル教養系科目（ボランティア学） 明治学院・Do for Others教養系科目（ボランティア学）
MGLCD		キャリア&グローバル教養系科目（ライフデザイン・キャリアデザイン）
MGSEM		キャリア&グローバル教養系科目（演習科目）
MGPIO		明治学院・Do for Others教養系科目（オルガン実習）
MGINT		ISP系科目（英語で行う科目）
MGCCS		キャリア&グローバル教養系科目（異文化コミュニケーション）
MGACW		キャリア&グローバル教養系科目（アカデミック・ライティング）
MGRES		短期・中期留学認定科目
MGITS		海外インターンシップ関連科目
MGAID		情報科学系科目
MGUHM	海外協定校連携科目	



2026年度生用 明治学院大学履修要項  
【文学部】

2026年4月1日発行 明治学院大学  
東京都港区白金台1-2-37／横浜市戸塚区上倉田町1518

学籍番号

氏名

